

板橋区子ども・子育て支援に関する
ニ ー ズ 調 査

報 告 書

平成30年8月

板 橋 区

目次

| | |
|---------------------------------|----|
| 第1章 調査の概要 | 1 |
| 1. 調査実施の目的 | 3 |
| 2. 調査の種類 | 3 |
| 3. 調査方法と回収状況 | 3 |
| 4. 調査項目 | 4 |
| 5. 調査結果を見る上での注意事項 | 4 |
| 第2章 調査結果の詳細 | 5 |
| 1. 就学前児童保護者調査 | 7 |
| 1. 子どもと家族の状況 | 9 |
| (1) 子どもの年齢 | 9 |
| (2) きょうだいの人数と末子の年齢 | 9 |
| (3) 同居・近居の状況 | 10 |
| (4) 子育てを主に行っている人 | 10 |
| (5) 子育てを主に行っている人の健康状態 | 11 |
| (6) 居住地区 | 12 |
| (7) 日頃、子どもをみてもらえる親族や友人・知人 | 12 |
| 2. 保護者の就労状況 | 13 |
| (1) 母親の就労状況 | 13 |
| (2) 父親の就労状況 | 17 |
| (3) 家庭類型 | 20 |
| (4) 未就労の保護者の就労希望 | 21 |
| (5) 就労希望がありながら、現在働いていない理由 | 23 |
| (6) 母親の出産前後の就労状況 | 24 |
| (7) 支援環境が整っていた場合の就労継続状況 | 25 |
| 3. 産後ケア事業の認知度、利用度 | 26 |
| (1) 産後ケア事業の認知状況 | 26 |
| (2) 産後ケア事業の利用状況 | 26 |
| (3) 産後ケア事業の利用希望 | 27 |
| 4. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況 | 27 |
| (1) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況 | 27 |
| (2) 利用している教育・保育事業 | 30 |
| (3) 教育・保育事業の利用状況 | 31 |
| (4) 教育・保育事業の利用希望 | 34 |
| (5) 教育・保育事業の実施場所 | 35 |
| (6) 教育・保育事業を利用している理由 | 36 |
| (7) 教育・保育事業を利用していない理由 | 37 |
| (8) 利用したいと考える教育・保育事業 | 38 |

| | |
|----------------------------------|----|
| (9) 一番利用希望の高い教育・保育事業 | 38 |
| (10) 利用したいと考える教育・保育事業の日数と時間 | 39 |
| (11) 教育・保育事業の利用希望場所 | 40 |
| 5. 地域の子育て支援事業の利用状況 | 41 |
| (1) 地域の親子の交流スペースの利用状況 | 41 |
| (2) 地域の親子の交流スペースの今後の利用希望 | 42 |
| (3) 子育て支援施設を利用する上での希望移動手段 | 43 |
| (4) 子育て支援施設を利用する上での許容できる移動時間 | 43 |
| (5) 子育て支援サービスの認知度・利用度 | 44 |
| 6. 土曜・休日の教育・保育事業の利用希望 | 47 |
| (1) 土曜日の教育・保育事業の利用希望 | 47 |
| (2) 日曜日・祝日の教育・保育事業の利用希望 | 48 |
| (3) 土曜・休日に毎週ではなく、たまに利用したい理由 | 50 |
| (4) 幼稚園利用者の長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望 | 50 |
| (5) 長期休暇期間中、毎日ではなく、たまに利用したい理由 | 52 |
| 7. 病気の際の対応 | 52 |
| (1) 病気やけがで通常の教育・保育事業が利用できなかった経験 | 52 |
| (2) 通常の教育・保育事業が利用できなかった場合の対処 | 53 |
| (3) 病児・病後児のための保育施設等の利用希望 | 56 |
| (4) 病児・病後児のための保育施設として望ましい事業形態 | 57 |
| (5) 病児・病後児のための保育施設を利用したいとは思わない理由 | 57 |
| (6) 父母のいずれかが仕事を休んで看護する希望 | 58 |
| (7) 子どもを休んでみることは考えられない理由 | 59 |
| 8. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりの利用状況 | 60 |
| (1) 不定期の教育・保育事業の利用状況 | 60 |
| (2) 不定期の教育・保育事業の利用希望 | 61 |
| (3) 不定期の教育・保育事業の望ましい事業形態 | 62 |
| (4) 宿泊を伴う一時預かり | 63 |
| 9. 小学校就学後の休日や放課後の過ごし方 | 65 |
| (1) 子どもの放課後の過ごし方 | 65 |
| (2) 子どもの休日の過ごし方 | 66 |
| 10. 子育てと職場の両立支援制度 | 68 |
| (1) 母親の育児休業取得状況 | 68 |
| (2) 父親の育児休業取得状況 | 70 |
| (3) 育児休業取得後の職場復帰 | 72 |
| (4) 育児休業の希望取得期間 | 72 |
| (5) 職場復帰のタイミング | 73 |
| (6) 職場復帰時の子どもの年齢 | 74 |
| (7) 希望時期に職場復帰しなかった理由 | 75 |
| (8) 育児休業を取得した人の育児給付金受給状況 | 76 |

| | |
|---------------------------------|-----|
| (9) 育児休業中の状況 | 76 |
| (10) 母親の短時間勤務制度の利用状況 | 77 |
| (11) 父親の短時間勤務制度の利用状況 | 78 |
| 1 1. 子育て全般について | 80 |
| (1) 子育てについて感じる事 | 80 |
| (2) 子育てをする上で、気軽に相談できる人や場所 | 80 |
| (3) 子どもへの虐待に関する意識 | 81 |
| (4) 子どもに対して無意識のうちに行っているかもしれないこと | 82 |
| (5) 希望どおりの子育て支援サービスの利用 | 82 |
| (6) 子どもと接する時間 | 83 |
| (7) 仕事、家庭、プライベートの優先度 | 83 |
| 1 2. 調査票の回答者について | 85 |
| (1) 回答者の続柄 | 85 |
| (2) 回答者の年代 | 85 |
| (3) 教育・保育事業への負担感 | 86 |
| (4) 世帯収入 | 87 |
| (5) 世帯収入に対する教育・保育事業への支出の負担感 | 87 |
| (6) 現在の暮らし向き | 88 |
| (7) 生活の中で負担に感じる費用 | 88 |
| (8) 自由意見 | 89 |
| 2. 小学生児童保護者調査 | 91 |
| 1. 子どもと家族の状況 | 93 |
| (1) 子どもの学年 | 93 |
| (2) きょうだいの人数と末子の年齢 | 93 |
| (3) 同居・近居の状況 | 94 |
| (4) 子育てを主に行っている人 | 94 |
| (5) 子育てを主に行っている人の健康状態 | 95 |
| (6) 居住地区 | 95 |
| (7) 日頃、子どもをみてもらえる親族や友人・知人 | 96 |
| 2. 保護者の就労状況 | 97 |
| (1) 母親の就労状況 | 97 |
| (2) 父親の就労状況 | 101 |
| (3) 家庭類型 | 103 |
| (4) 未就労の保護者の就労希望 | 104 |
| (5) 就労希望がありながら、現在働いていない理由 | 106 |
| 3. 子どもの生活習慣 | 107 |
| (1) 子どもの基本的な生活習慣の習得度 | 107 |
| (2) 子どもに身につけてほしい生活習慣 | 108 |
| (3) 日頃、心がけていること | 109 |
| (4) 起床・夕食・就寝時間 | 109 |

| | |
|--------------------------------|-----|
| 4. 子どもの進学希望 | 111 |
| (1) 子どもの進学先についての希望 | 111 |
| (2) 子どもの現実的な進学先 | 111 |
| (3) 子どもの現実的な進学先を選んだ理由 | 112 |
| 5. 子どもの休日や放課後の過ごし方 | 113 |
| (1) 子どもの放課後の過ごし方 | 113 |
| (2) 子どもの休日の過ごし方 | 114 |
| 6. 子育て支援サービスの認知度・利用度・満足度 | 116 |
| (1) 子育て支援サービスの認知度・利用度 | 116 |
| (2) 子育て支援サービスの満足度 | 119 |
| (3) 重点的に取り組むべき事業 | 120 |
| 7. 子育て全般について | 121 |
| (1) 子育てについて感じること | 121 |
| (2) 子育てをするうえで、気軽に相談できる人や場所 | 121 |
| (3) 子どもへの虐待に関する意識 | 122 |
| (4) 子どもに対して無意識のうちにしているかもしれないこと | 123 |
| (5) 希望どおりの子育て支援サービスの利用 | 123 |
| (6) 子どもと接する時間 | 124 |
| (7) 仕事、家庭、プライベートの優先度 | 124 |
| 8. 調査票の回答者について | 126 |
| (1) 回答者の続柄 | 126 |
| (2) 回答者の年代 | 126 |
| (3) 子育て支援サービスへの負担感 | 127 |
| (4) 世帯収入 | 128 |
| (5) 世帯収入に対する教育・保育事業への支出の負担感 | 129 |
| (6) 現在の暮らし向き | 129 |
| (7) 生活の中で負担に感じる費用 | 130 |
| (8) 自由意見 | 131 |

※「調査結果の分析」については、別冊にて掲載しています。

第1章



調査の概要

1. 調査実施の目的

保護者の生活状況や子育て支援サービスの利用状況および要望等を把握し、「いたばし子ども未来応援宣言2025」各編の改定に反映させることを目的として実施した。

2. 調査の種類

| 調査名 | 調査対象 |
|------------------|---------------------|
| 1. 就学前児童保護者アンケート | 現在就学していない子どもがいる保護者 |
| 2. 小学生児童保護者アンケート | 現在小学校に通学する子どもがいる保護者 |

3. 調査方法と回収状況

調査地域：板橋区全域

調査対象：① 就学前児童保護者アンケート 現在就学していない子どもがいる保護者

調査対象：② 小学生児童保護者アンケート 現在小学校に通学する子どもがいる保護者

抽出方法：① 就学前児童保護者アンケート

平成24年4月2日～平成30年4月1日生まれの子どもを住民基本台帳から無作為抽出

抽出方法：② 小学生児童保護者アンケート

平成18年4月2日～平成24年4月1日生まれの子どもを住民基本台帳から無作為抽出

調査方法：保護者宛に郵送し、保護者に対しWebでの回答もしくは郵送返信を依頼

調査期間：平成30年5月1日（火）～5月31日（木）

<回収状況>

| 調査名 | 発送数 | 回収数 | | 総回収数 | 回収率 |
|------------------|--------|--------|------|--------|-------|
| | | 郵送 | Web | | |
| 1. 就学前児童保護者アンケート | 2,000件 | 738件 | 376件 | 1,114件 | 55.7% |
| 2. 小学生児童保護者アンケート | 1,000件 | 390件 | 170件 | 560件 | 56.0% |
| 合計 | 3,000件 | 1,128件 | 546件 | 1,674件 | 55.8% |

4. 調査項目

| 調査名 | 調査項目 |
|------------------|---|
| 1. 就学前児童保護者アンケート | 1. 子どもと家族の状況 2. 保護者の就労状況 3. 産後ケア事業の認知度・利用度 4. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況 5. 地域の子育て支援事業の利用状況 6. 土曜・休日の教育・保育事業の利用希望 7. 病気の際の対応 8. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりの利用状況 9. 小学校就学後の休日や放課後の過ごし方 10. 子育てと職場の両立支援制度 11. 子育て全般について 12. 調査票の回答者について |
| 2. 小学生児童保護者アンケート | 1. 子どもと家族の状況 2. 保護者の就労状況 3. 子どもの生活習慣 4. 子どもの進学希望 5. 子どもの休日や放課後の過ごし方 6. 子育て支援サービスの認知度・利用度・満足度 7. 子育て全般について 8. 調査票の回答者について |

5. 調査結果を見る上での注意事項

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- ・百分率（%）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。したがって、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合がある。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、%の合計が100%を超える場合がある。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- ・回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合がある。

第2章



調査結果の詳細

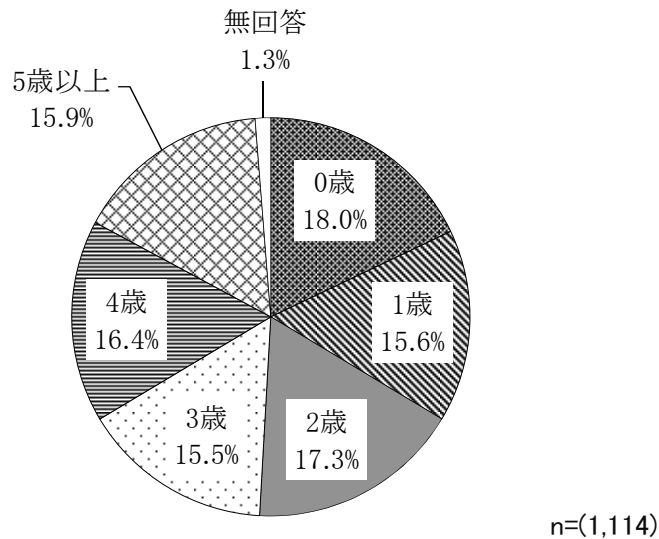
1. 就学前兒童保護者調查

1. 子どもと家族の状況

(1) 子どもの年齢

問1 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください（口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字）。

「0歳」が18.0%で最も高くなっている。

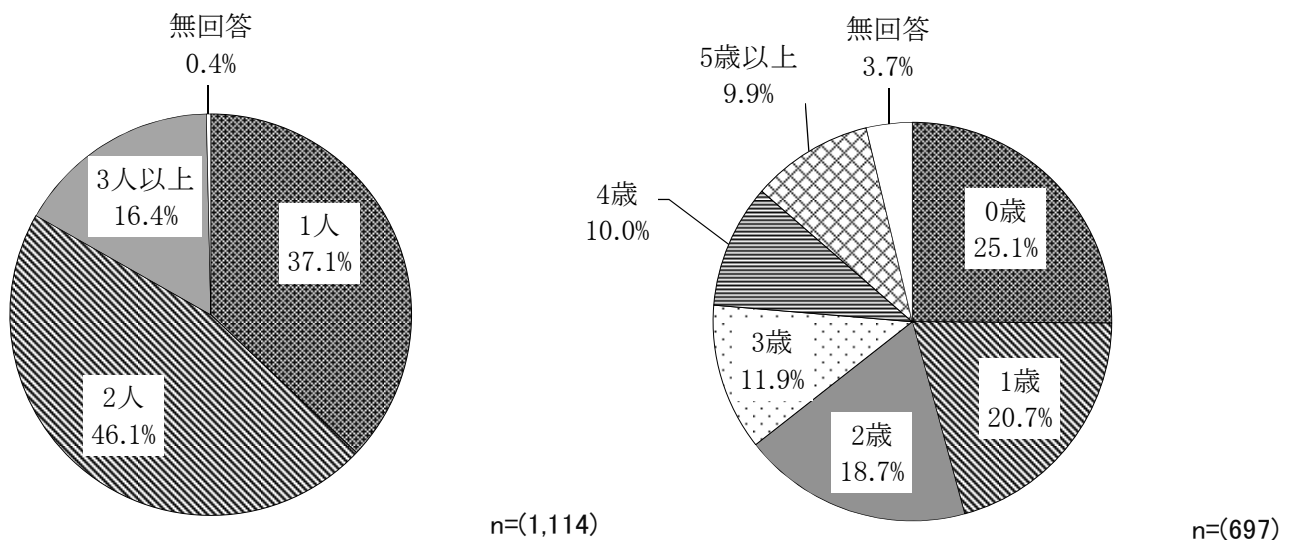


(2) きょうだいの人数と末子の年齢

問2 宛名のお子さんを含め、お子さんは何人いますか。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください（口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字）。

きょうだいの人数は「2人」が46.1%で最も高くなっている。

末子の年齢は「0歳」が25.1%で最も高くなっている。

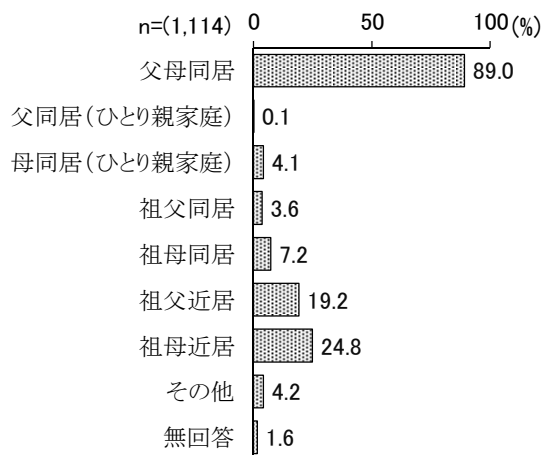


第2章 調査結果の詳細
1. 就学前児童保護者調査

(3) 同居・近居の状況

問3 宛名のお子さんとの同居・近居（おおむね30分以内程度に行き来できる範囲）の状況についてお答えください。続柄は宛名のお子さんからみた関係です。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

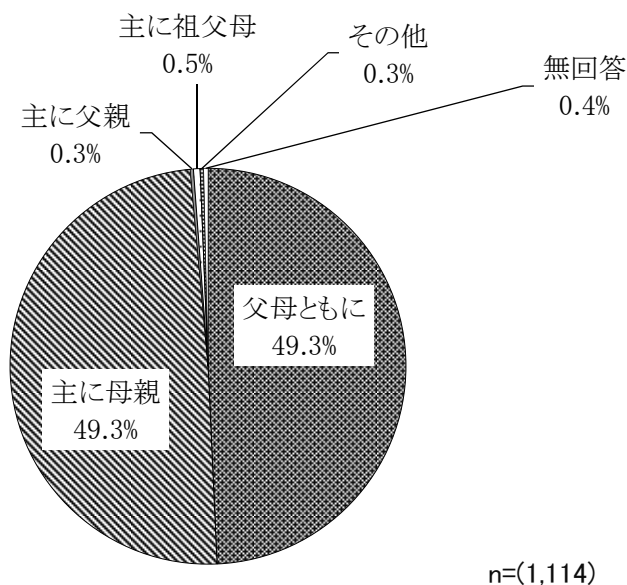
「父母同居」が89.0%で最も高くなっている。



(4) 子育てを主に行っている人

問4 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

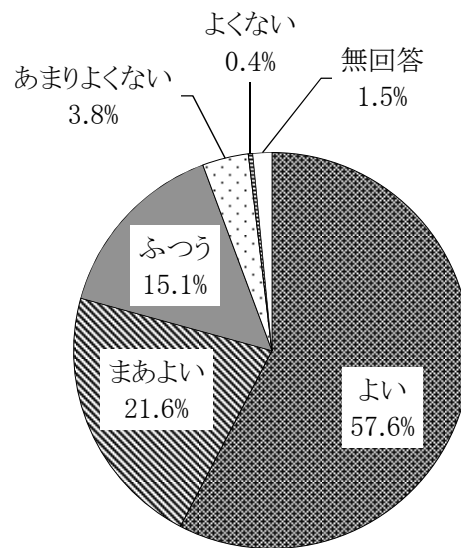
「父母ともに」と「主に母親」がそれぞれ49.3%で最も高くなっている。



(5) 子育てを主に行っている人の健康状態

問4-1 主に宛名のお子さんの子育てを行っている方の健康状態について、もっとも近いものはどれですか。当てはまる番号1つに○をつけてください(問4で「1. 父母ともに」もしくは「4. 主に祖父母」と答えた方は一日の中で宛名のお子さんと一緒にいらっしゃる時間が長い方の健康状態をお答えください)。

「よい」が57.6%で最も高くなっている。



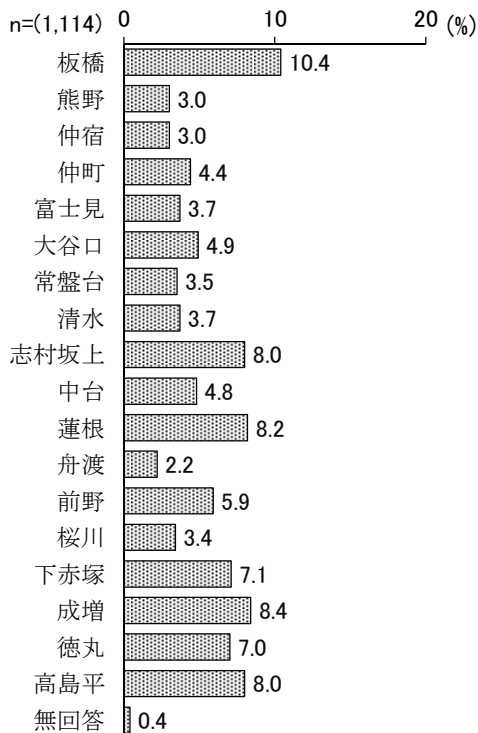
n=(1,114)

第2章 調査結果の詳細
1. 就学前児童保護者調査

(6) 居住地区

問5 お住まいの地区（地域センターの管轄）として当てはまる番号1つに○をつけてください。お住まいの地区がわからない場合は、同封の「地域センター管轄一覧」でご確認ください。

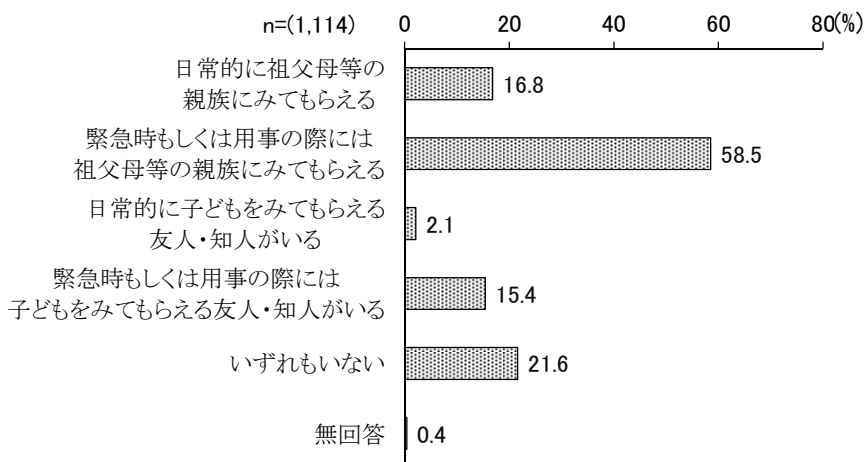
「板橋」が10.4%、「成増」が8.4%、「蓮根」が8.2%などとなっている。



(7) 日頃、子どもをみてもらえる親族や友人・知人

問6 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が58.5%で最も高くなっている。一方、「いずれもない」は21.6%である。



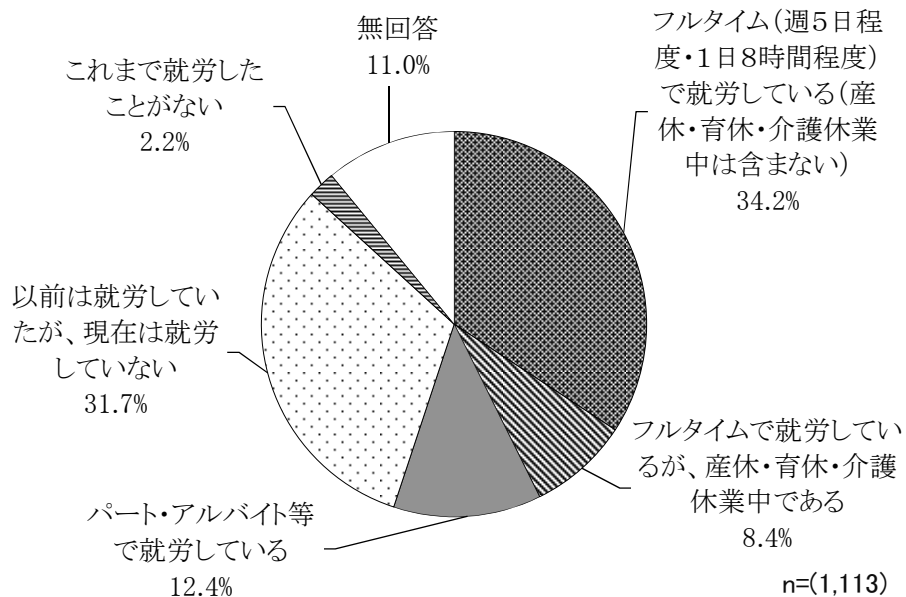
2. 保護者の就労状況

(1) 母親の就労状況

問7 現在の就労状況（自営業や家族従事者を含む）をうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけ、該当する口内には数字を24時間制でご記入ください。「1. フルタイム就労で就労している」または「3. パート・アルバイト等で就労している」に○をつけた方は24時間制で家を出る時間と帰宅時間の当てはまる番号1つにも○をつけてください。

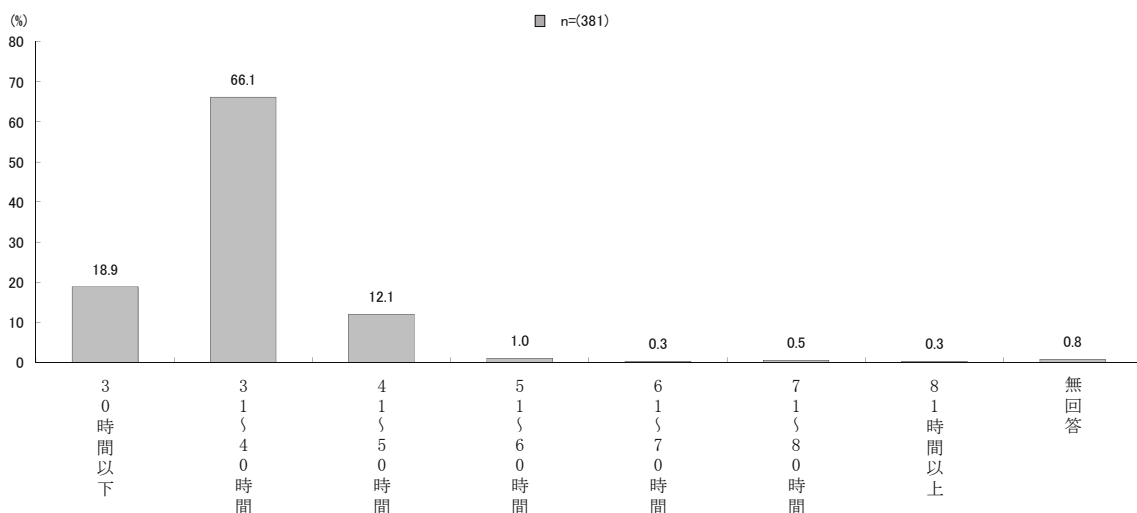
① 就労状況

「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）で就労している（産休・育休・介護休業中は含まない）」が34.2%で最も高く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が31.7%となっている。



② 【フルタイム】1週当たりの就労時間

「31~40時間」が66.1%で最も高くなっている。

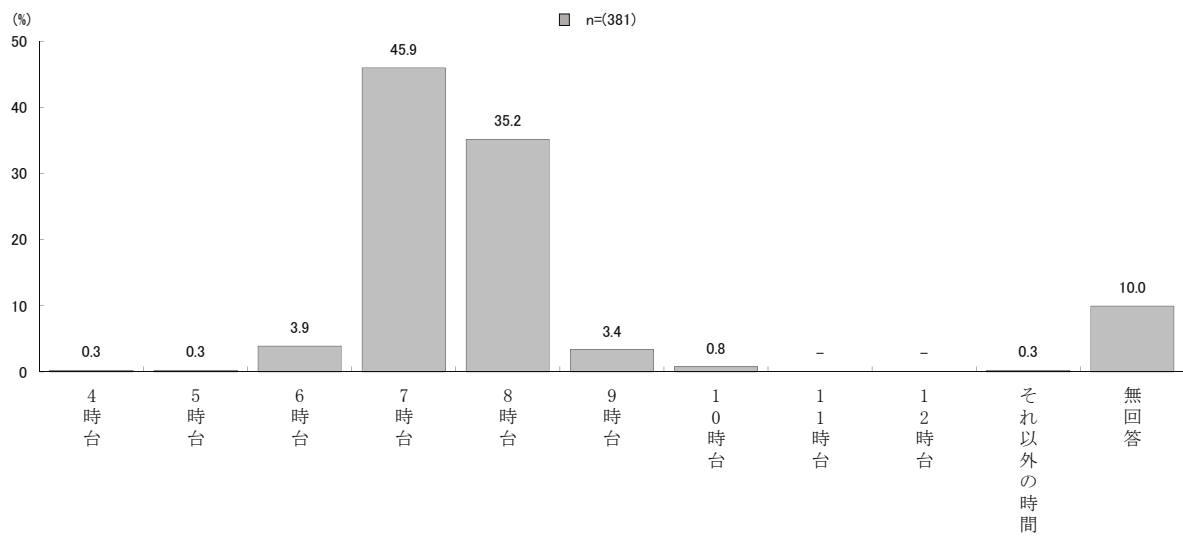


第2章 調査結果の詳細

1. 就学前児童保護者調査

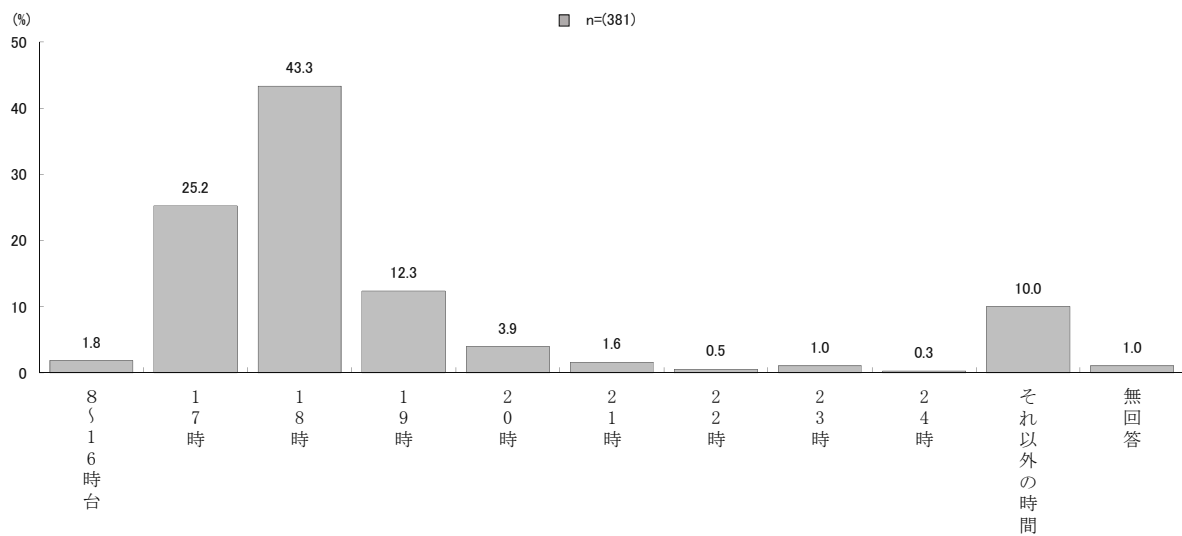
③ 【フルタイム】出勤時間

「7時台」が45.9%で最も高くなっている。

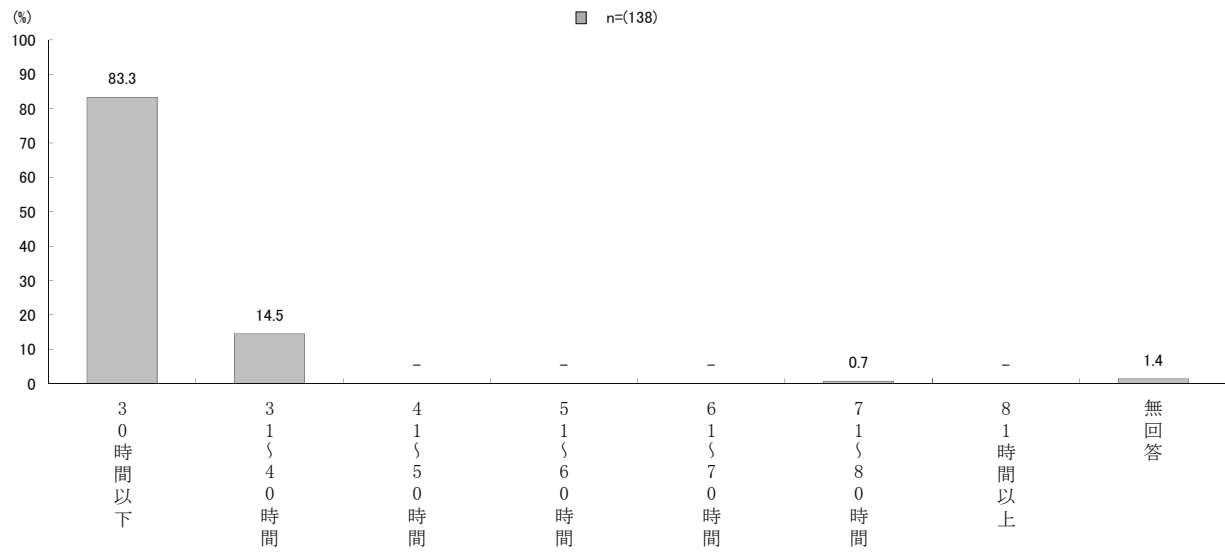


④ 【フルタイム】帰宅時間

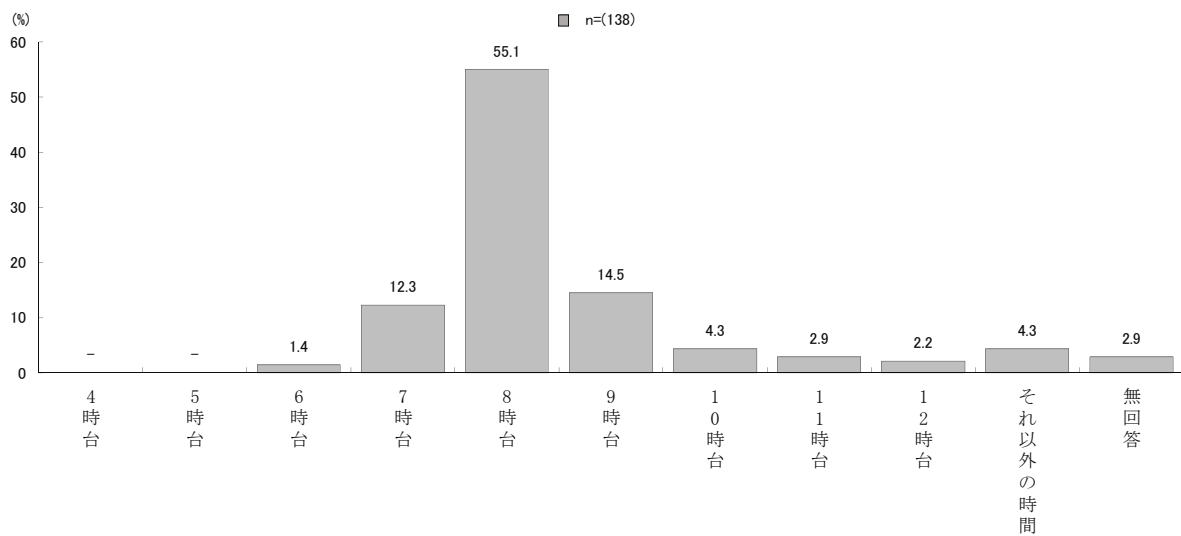
「18時台」が43.3%で最も高くなっている。



⑤ 【パートタイム、アルバイト】1週当たりの就労時間
「30時間以下」が83.3%で最も高くなっている。



⑥ 【パートタイム、アルバイト】出勤時間
「8時台」が55.1%で最も高くなっている。

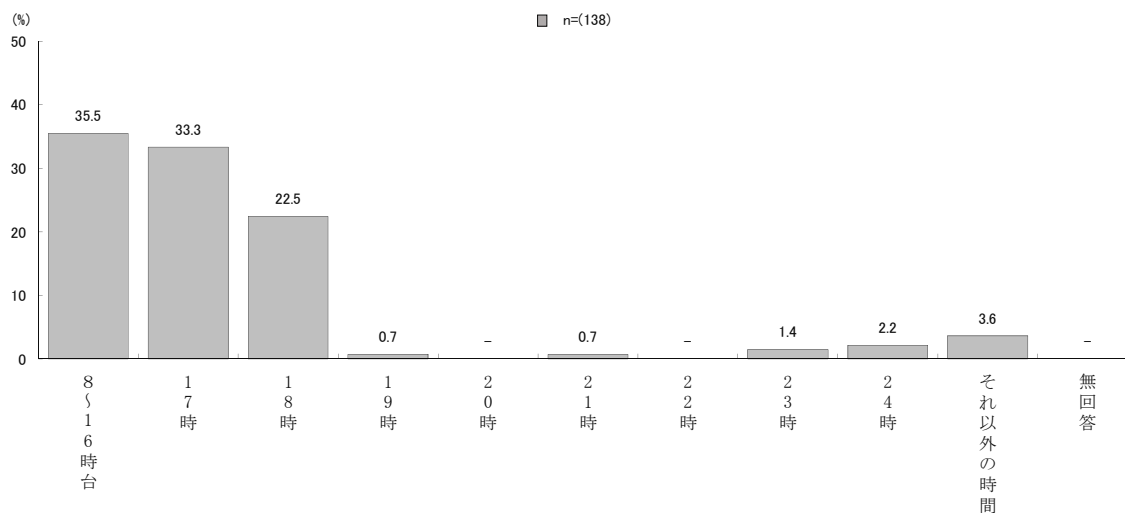


第2章 調査結果の詳細

1. 就学前児童保護者調査

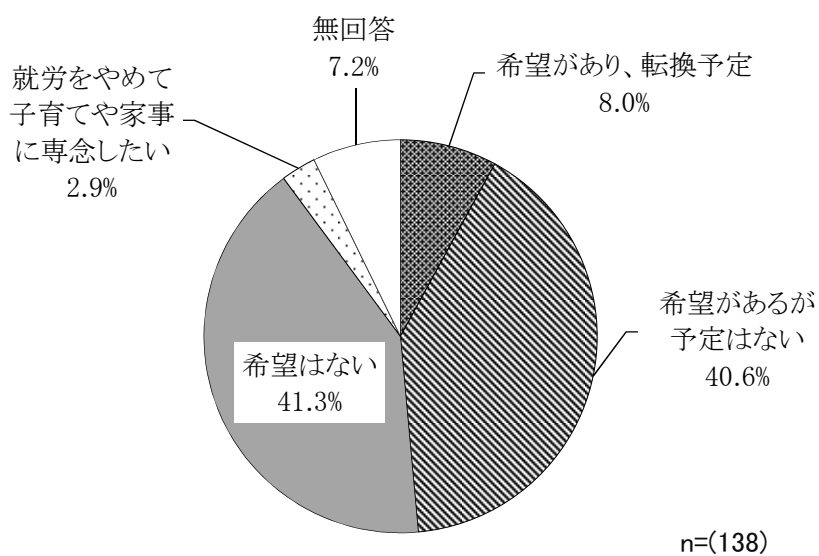
⑦ 【パートタイム、アルバイト】 帰宅時間

「8時～16時台」が35.5%で最も高くなっている。



⑧ 【パートタイム、アルバイト】 フルタイムへの転換希望

「希望はない」が41.3%で最も高く、次いで「希望があるが予定はない」が40.6%となっている。

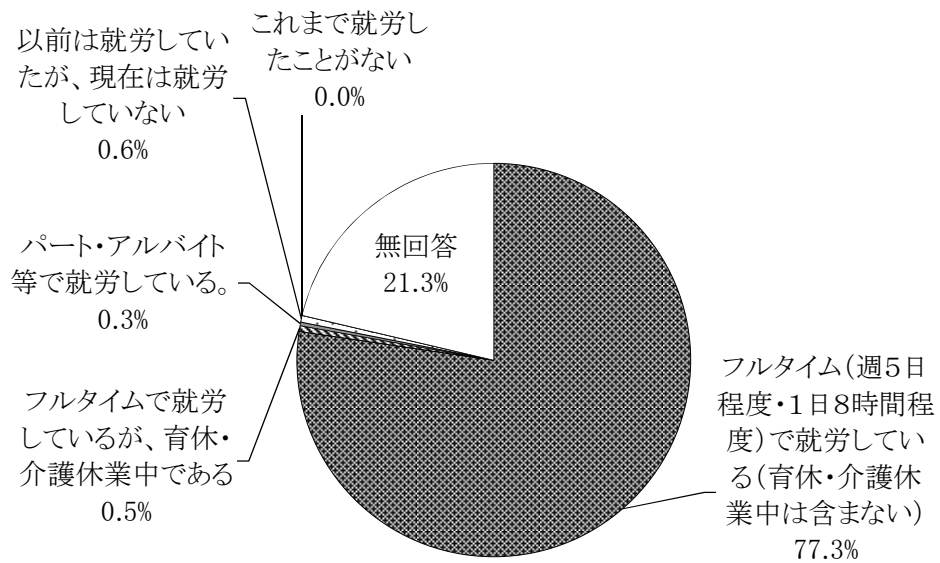


(2) 父親の就労状況

問7 現在の就労状況（自営業や家族従事者を含む）をうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけ、該当する口内には数字を24時間制でご記入ください。「1. フルタイム就労で就労している」または「3. パート・アルバイト等で就労している」に○をつけた方は24時間制で家を出る時間と帰宅時間の当てはまる番号1つにも○をつけてください。

① 就労状況

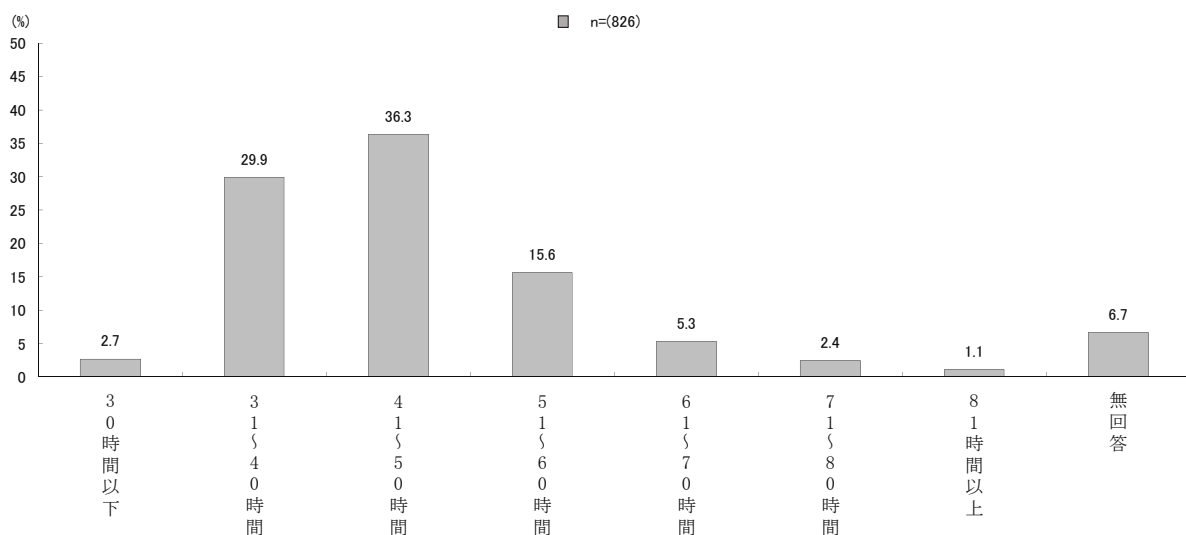
「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）で就労している（育休・介護休業中は含まない）」が77.3%で最も高くなっている。



n=(1,068)

② 【フルタイム】 1週当たりの就労時間

「41～50時間」が36.3%で最も高く、次いで「31～40時間」が29.9%、「51～60時間」が15.6%となっている。

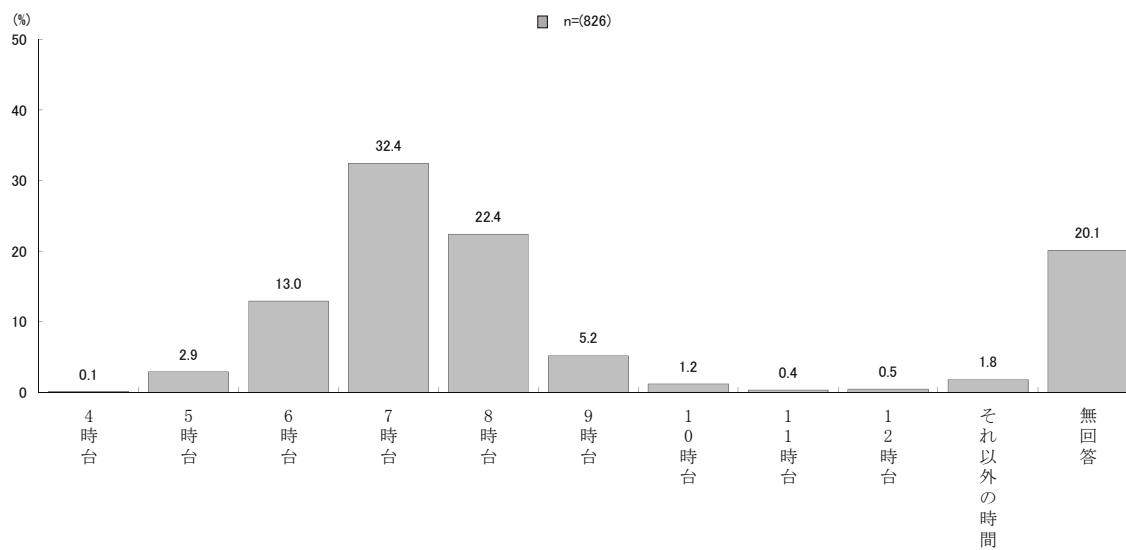


第2章 調査結果の詳細

1. 就学前児童保護者調査

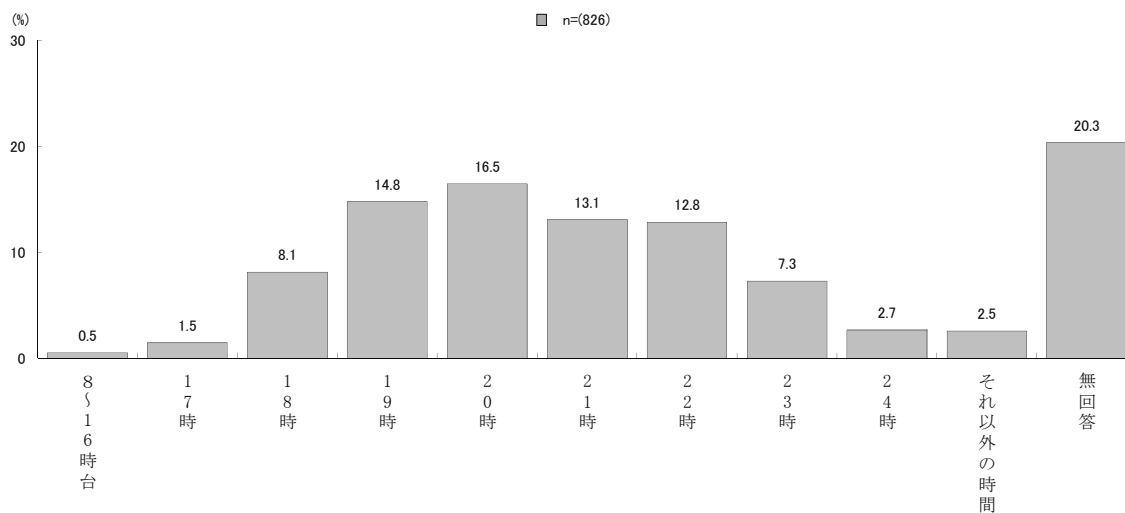
③ 【フルタイム】出勤時間

「7時台」が32.4%で最も高くなっている。



④ 【フルタイム】帰宅時間

「20時台」が16.5%で最も高くなっている。



- ⑤ 【パートタイム、アルバイト】 1週当たりの就労時間
「30時間以下」、「41～50時間」、「51～60時間」がそれぞれ33.3%となっている。
- ⑥ 【パートタイム、アルバイト】 出勤時間
「8時」が33.3%で最も高くなっている。
- ⑦ 【パートタイム、アルバイト】 帰宅時間
「8時～16時」が25.0%で最も高くなっている。
- ⑧ 【パートタイム、アルバイト】 フルタイムへの転換希望
「希望があるが予定はない」、「希望はない」がそれぞれ33.3%となっている。

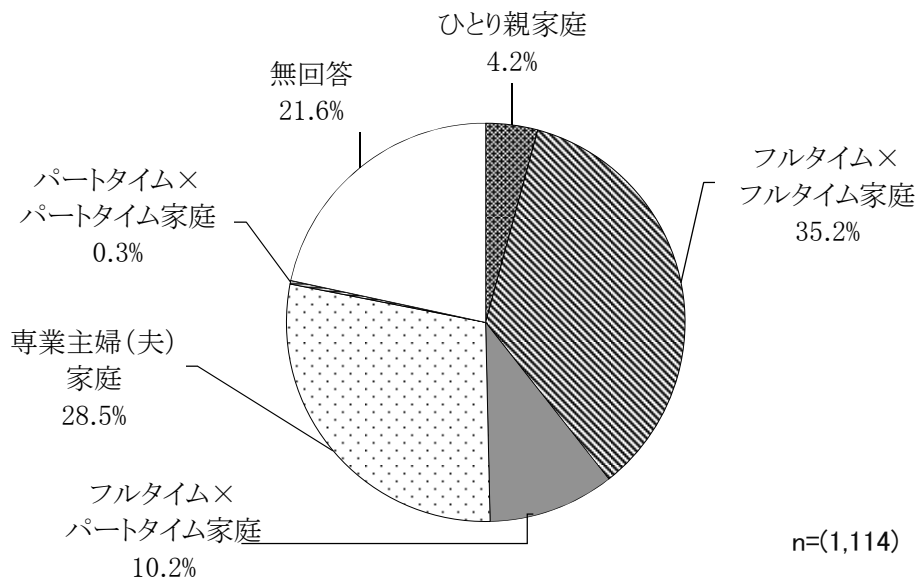
第2章 調査結果の詳細
1. 就学前児童保護者調査

(3) 家庭類型

同居・近居の状況（問3）と、母親・父親の就労状況（問7）の回答から、家庭の形態を以下のよう
な6つの区分に分類した。

- A ひとり親家庭
母子家庭もしくは父子家庭
- B フルタイム×フルタイム家庭
母親と父親がともにフルタイム（産休・育休・介護休業中も含む）で就労している家庭
- C フルタイム×パートタイム家庭
どちらか一方の親がフルタイム（産休・育休・介護休業中も含む）で就労し、もう一方の親がパート・アルバイト等で就労している家庭
- D 専業主婦（夫）家庭
どちらか一方の親が就労し、もう一方の親が就労していない家庭
- E パートタイム×パートタイム家庭
母親と父親がともにパート・アルバイト等で就労している家庭
- F 無業×無業家庭
母親と父親がともに就労していない家庭

「フルタイム×フルタイム家庭」が35.2%で最も高く、「専業主婦（夫）家庭」が28.5%、「フルタイム×パートタイム家庭」が10.2%、「ひとり親家庭」が4.2%となっている。

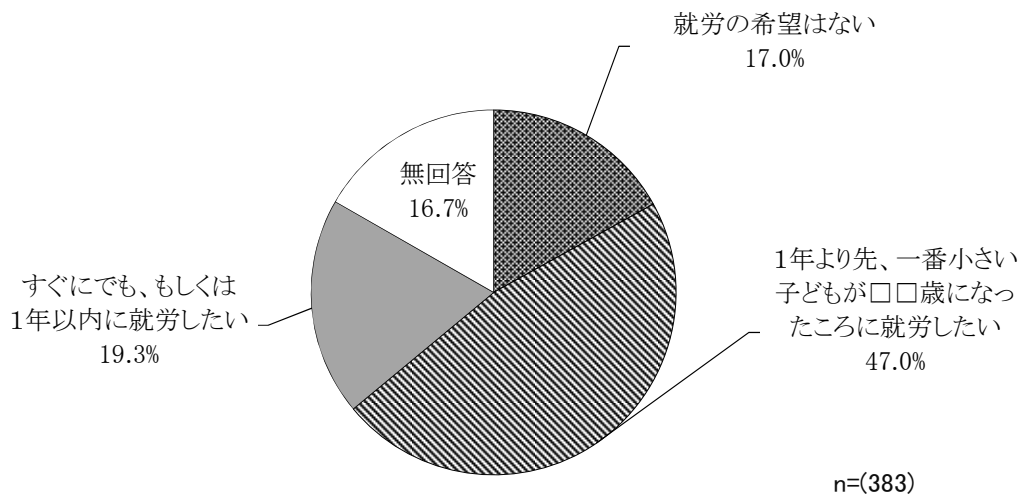


(4) 未就労の保護者の就労希望

問7-1 問7の(1)または(2)で「4. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「5. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。今後、就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください(数字は一枠に一字)。

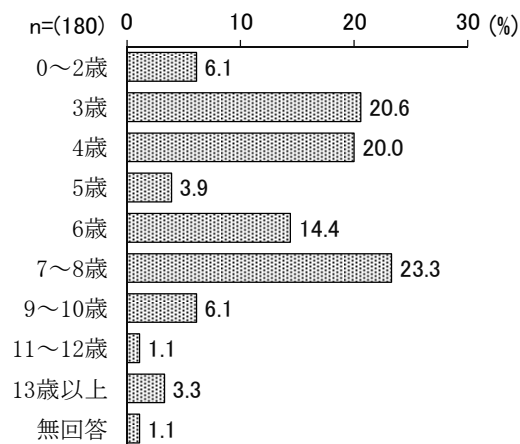
① 就労希望

「1年より先、一番小さい子どもが□□歳になったころに就労したい」が47.0%で最も高く、「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」が19.3%、「就労の希望はない」が17.0%となっている。



② 末子の年齢による就労意向

「7～8歳」が23.3%で最も高く、「3歳」が20.6%、「4歳」が20.0%などとなっている。

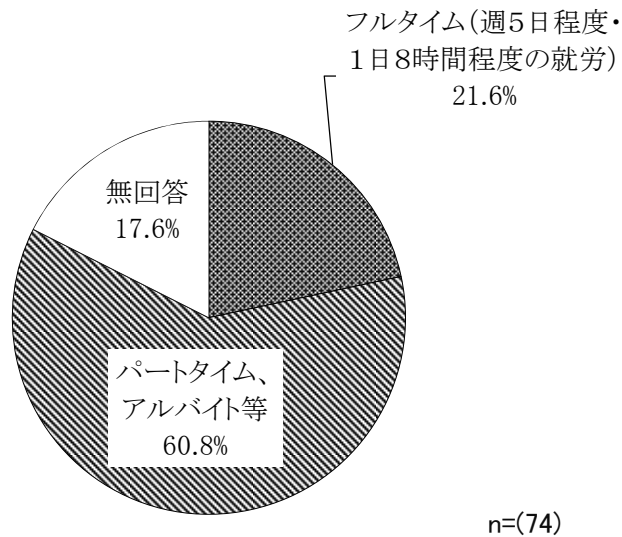


第2章 調査結果の詳細

1. 就学前児童保護者調査

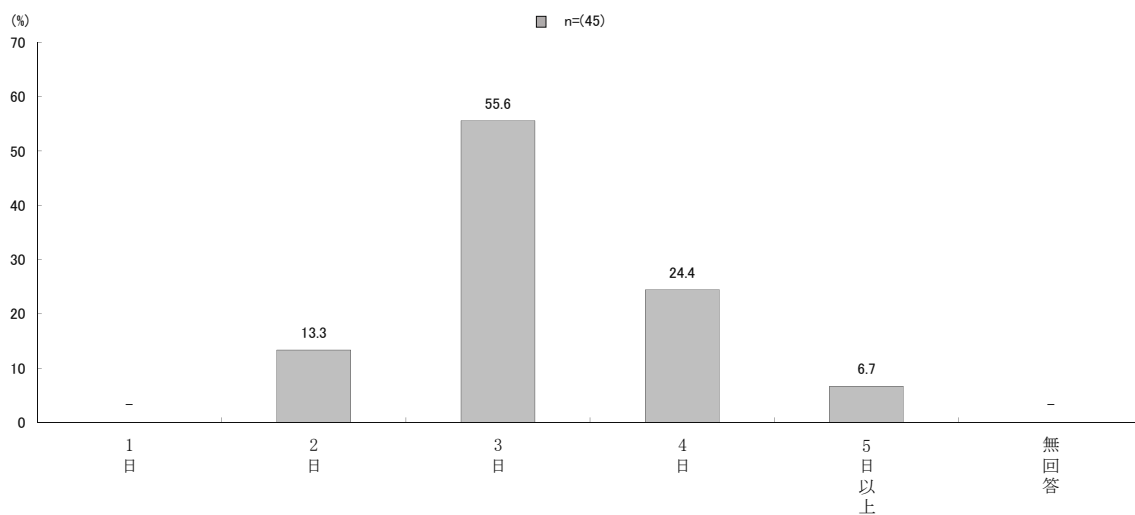
③ 希望する就労形態

「パートタイム、アルバイト等」が60.8%、「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度の就労）」が21.6%となっている。



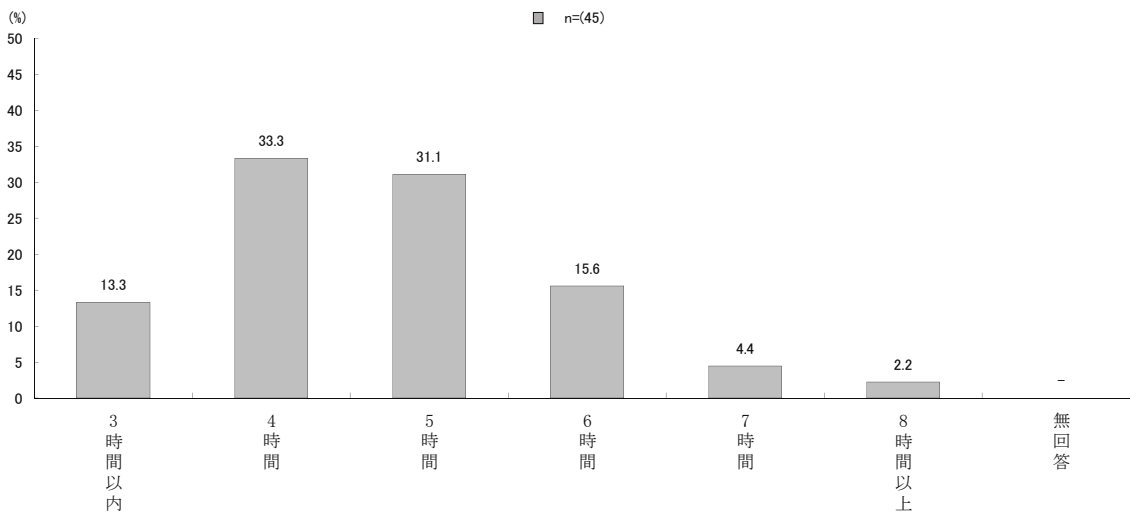
④ 1週あたりの希望就労日数

「3日」が55.6%で最も高く、次いで「4日」が24.4%となっている。



⑤ 1日当たりの希望就労時間

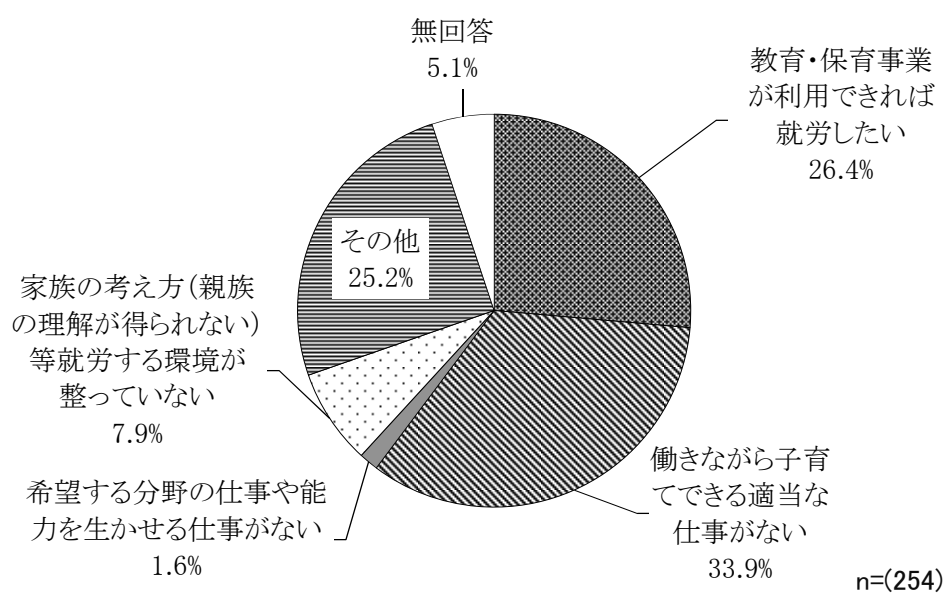
「4時間」が33.3%で最も高く、次いで「5時間」が31.1%、「6時間」が15.6%となっている。



(5) 就労希望がありながら、現在働いていない理由

問7-2 問7-1で「2. 1年より先に就労したい」、「3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選ばれた方にうかがいます。就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。もっとも近い番号1つに○をつけてください。

「働きながら子育てできる適当な仕事がない」が33.9%で最も高く、次いで「教育・保育事業が利用できれば就労したい」が26.4%となっている。

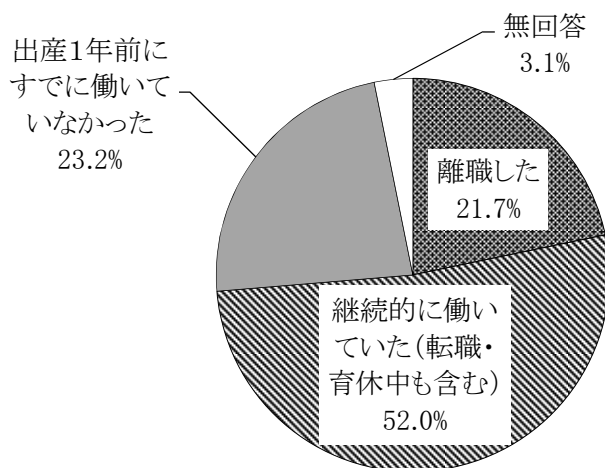


第2章 調査結果の詳細
1. 就学前児童保護者調査

(6) 母親の出産前後の就労状況

問8 宛名のお子さんの出産の1年前から出産の1年後までの間に、母親の方は仕事を離職しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「継続的に働いていた（転職・育休中も含む）」が52.0%で最も高く、「出産1年前にすでに働いていなかった」が23.2%、「離職した」が21.7%となっている。

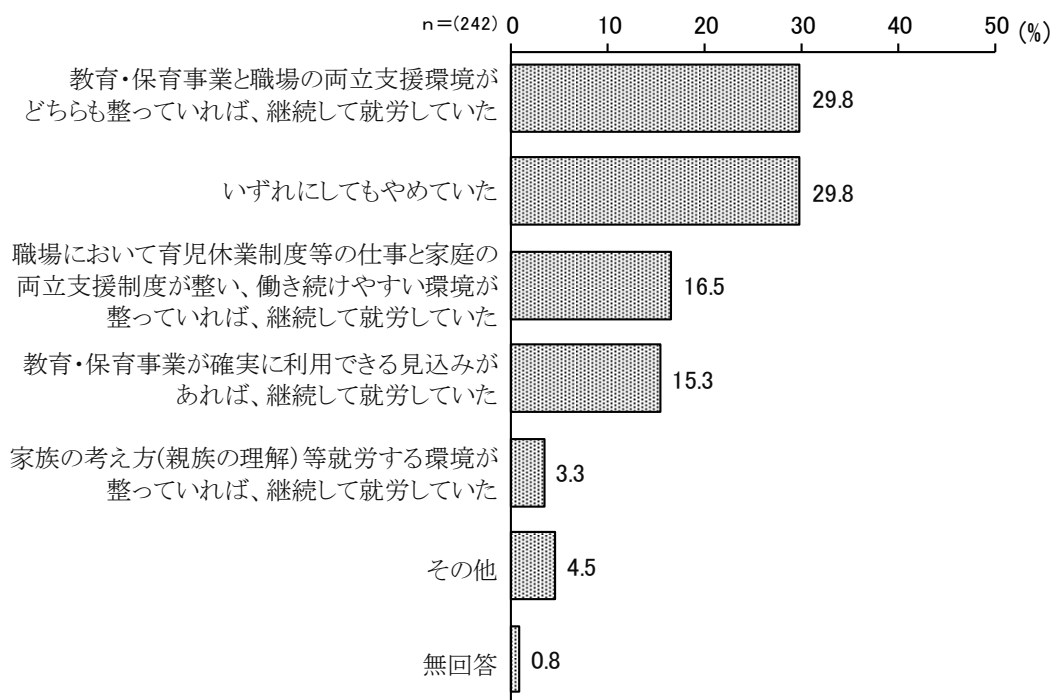


n=(1,114)

(7) 支援環境が整っていた場合の就労継続状況

問8-1 仕事と家庭の両立を支援する教育・保育事業や環境が整っていたら、就労を継続しましたか。次の中から、あなたのお考えにもっとも近い番号を1つだけ選んで○をつけてください。(問8で離職したと回答された方)

「教育・保育事業と職場の両立支援環境がどちらも整っていれば、継続して就労していた」と「いずれにしてもやめていた」がそれぞれ29.8%で最も高く、「職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば、継続して就労していた」が16.5%、「教育・保育事業が確実に利用できる見込みがあれば、継続して就労していた」が15.3%となっている。

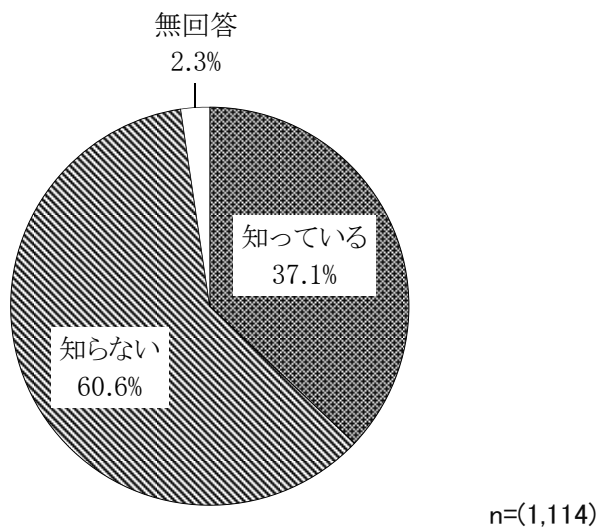


3. 産後ケア事業の認知度、利用度

(1) 産後ケア事業の認知状況

問9 他の自治体等で産後ケア事業があることを知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

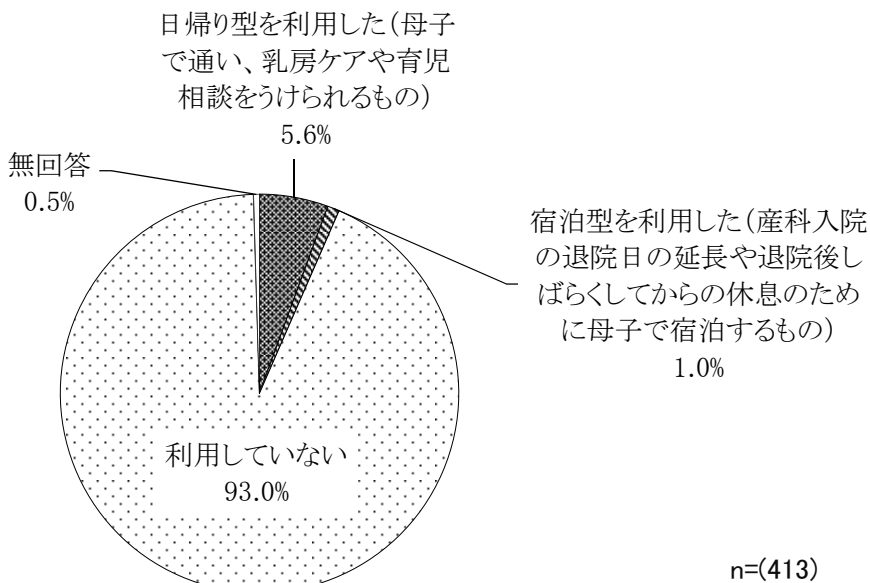
「知らない」が60.6%、「知っている」が37.1%となっている。



(2) 産後ケア事業の利用状況

問9-1 宛名のお子さんの出産後に他の自治体等で産後ケア事業（日帰り型・宿泊型）を利用したことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

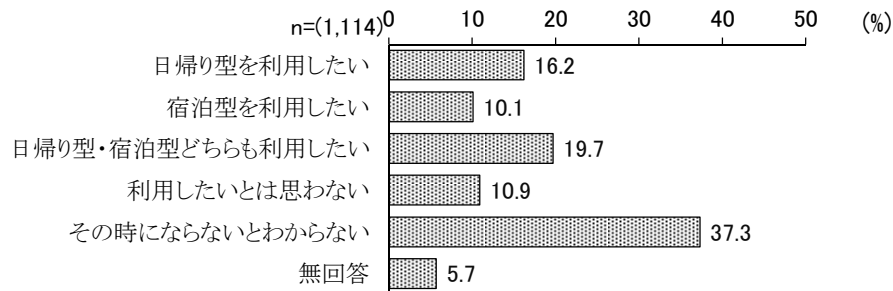
「利用していない」が93.0%で最も高くなっている。



(3) 産後ケア事業の利用希望

問10 区内に産後ケア事業（日帰り型・宿泊型）があったら、利用したいと考えますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「その時にならないとわからない」が37.3%で最も高く、「日帰り型・宿泊型どちらも利用したい」が19.7%となっている。

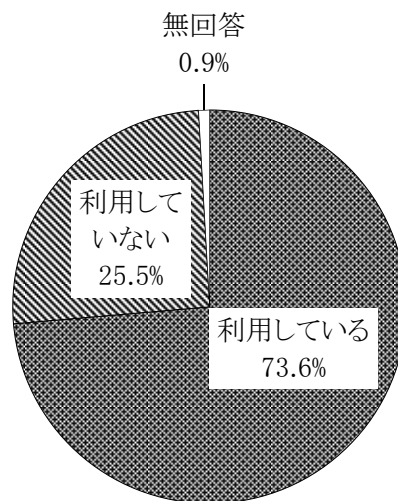


4. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

(1) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

問11 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「利用している」が73.6%、「利用していない」が25.5%となっている。



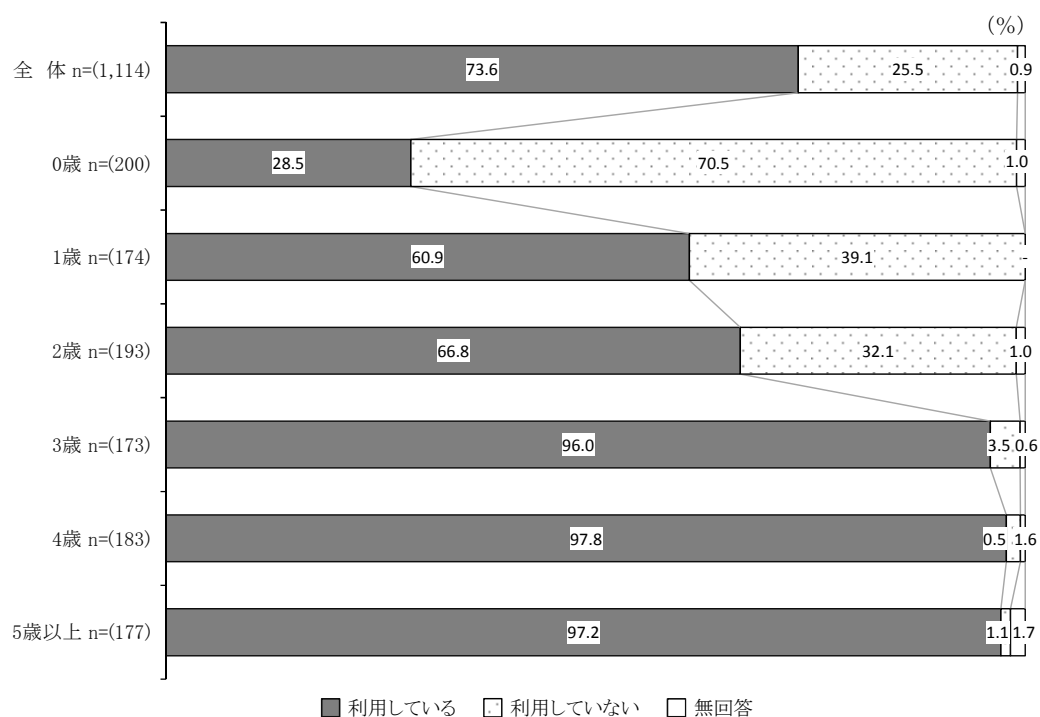
n=(1,114)

第2章 調査結果の詳細

1. 就学前児童保護者調査

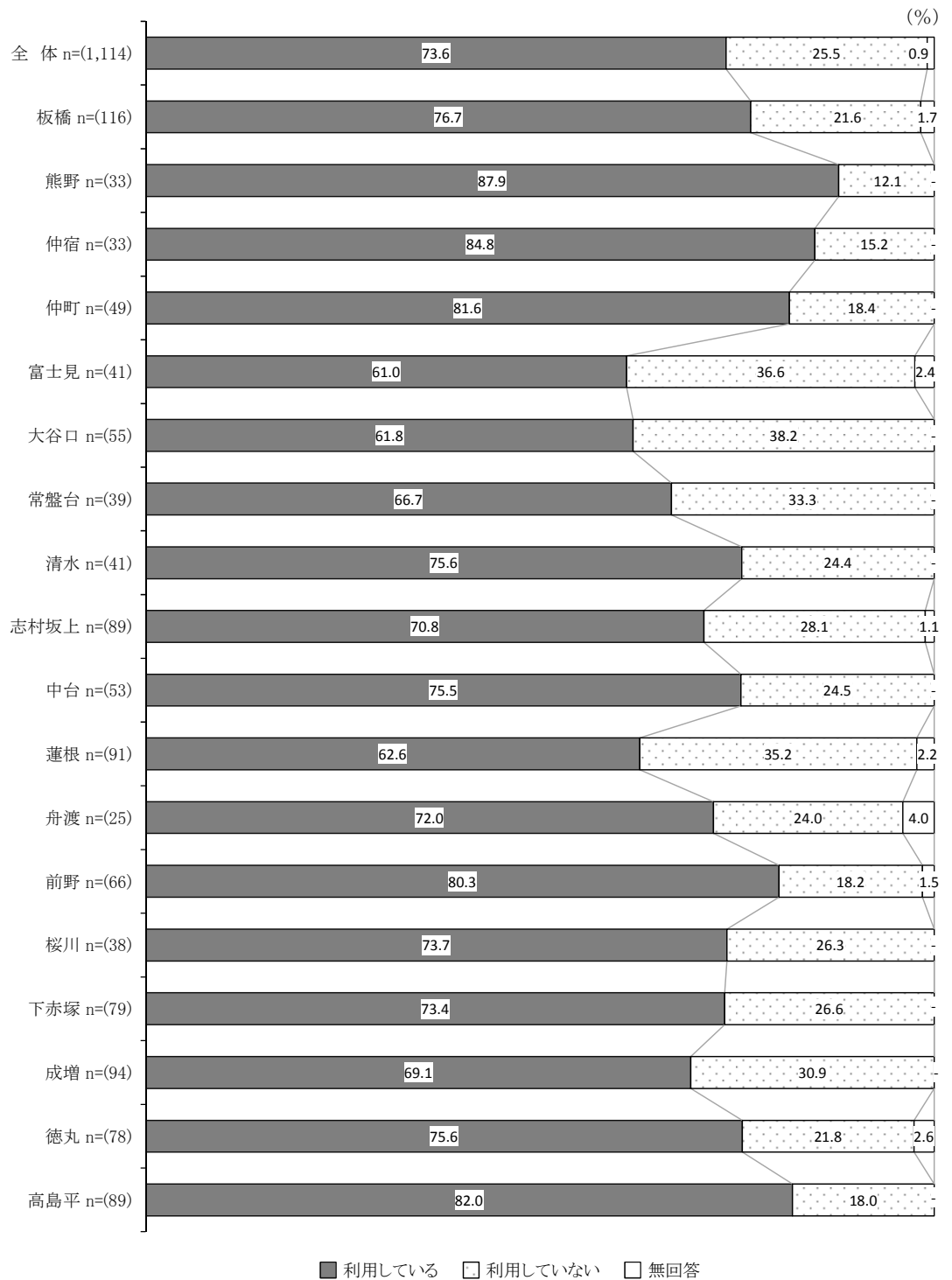
【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、「利用している」は年齢が上がるにつれて高くなる傾向があり、0歳では28.5%であるのに対し、3歳以上になると9割台後半となっている。



【居住地区別】

居住地区別にみると、「利用している」は熊野で87.9%と最も高くなっている。一方、富士見で61.0%と最も低くなっている。

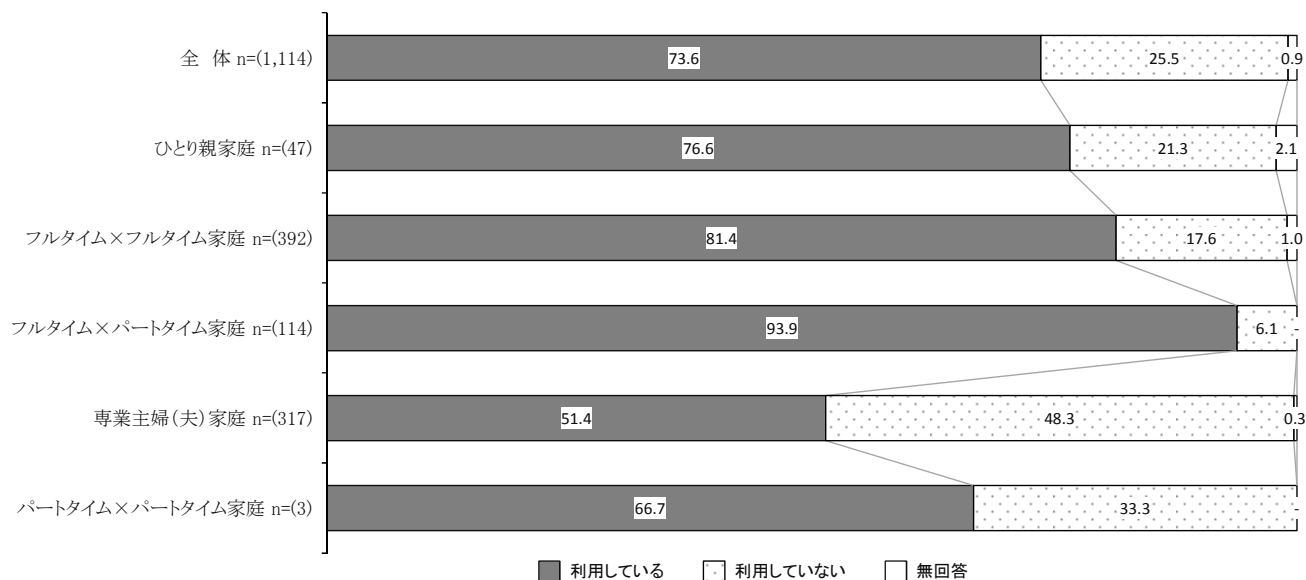


第2章 調査結果の詳細
1. 就学前児童保護者調査

【家庭類型別】

「利用している」はフルタイム×パートタイム家庭で93.9%、フルタイム×フルタイム家庭で81.4%と高くなっているが、専業主婦(夫)家庭では51.4%と低くなっている。

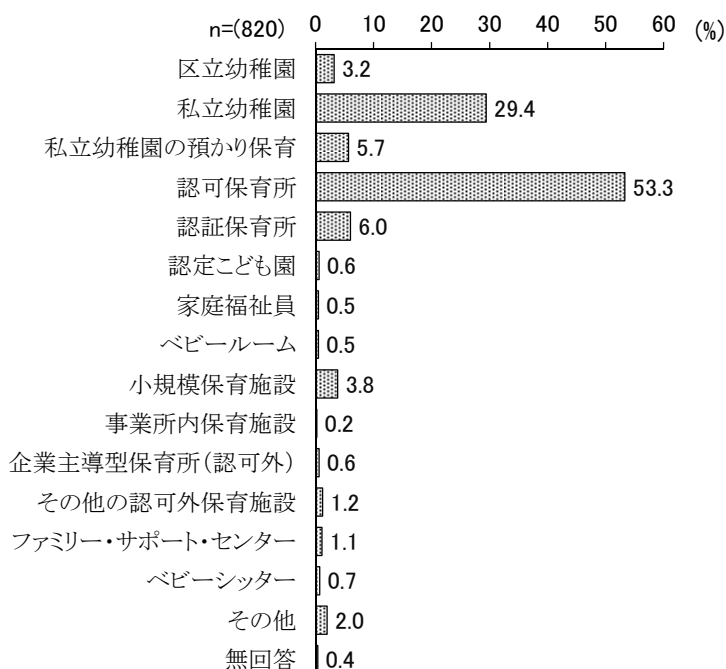
(%)



(2) 利用している教育・保育事業

問11-1 問11-1～問11-4は、問11で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。
宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて月単位で「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

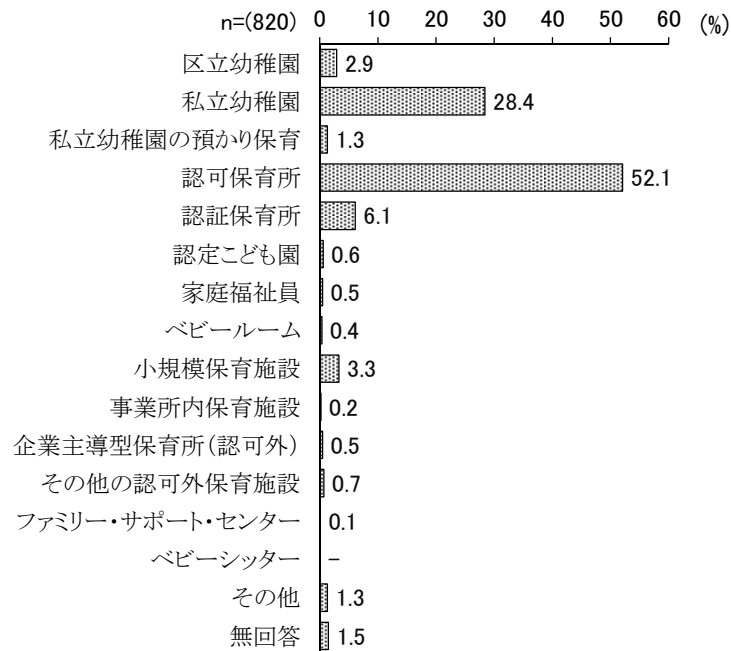
「認可保育所」が53.3%で最も高く、次いで「私立幼稚園」が29.4%となっている。



(3) 教育・保育事業の利用状況

問 1 1-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業についてうかがいます。
(1) 一番利用頻度の高い事業は何ですか。その番号を問 1 1-1の表から選んで□内に記入してください。

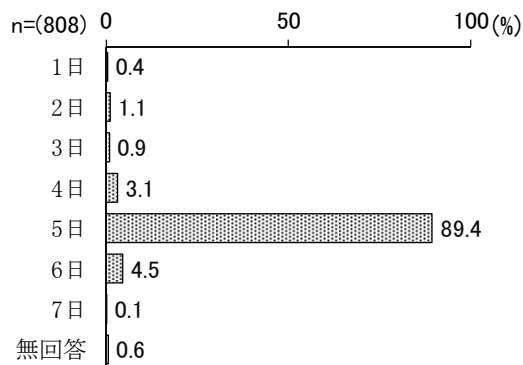
「認可保育所」が52.1%で最も高くなっている。



問 1 1-2 (2) (1) 記入された事業の現在の利用状況が1週当たり何日かおよび一番利用の多い時間帯(何時から何時まで)かを、□内に具体的な数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。※時間は、24時間制でご記入ください。

① 1週当たりの利用日数

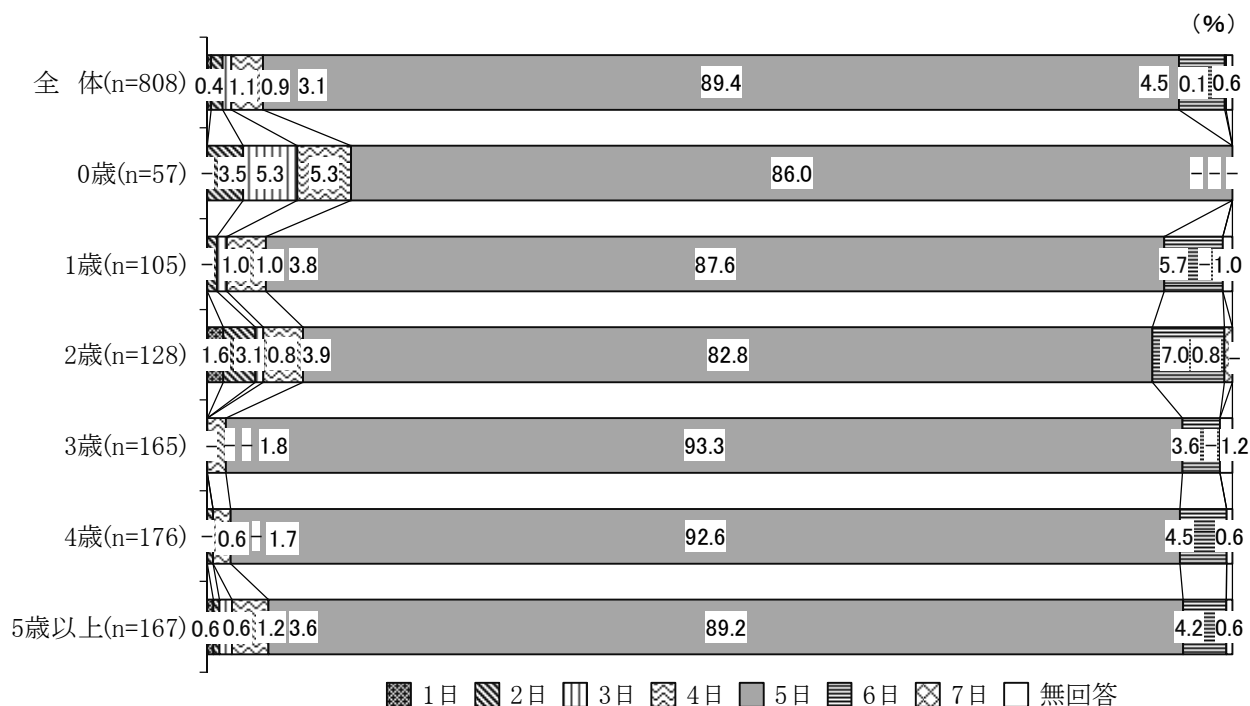
「5日」が89.4%で最も高くなっている。



第2章 調査結果の詳細
1. 就学前児童保護者調査

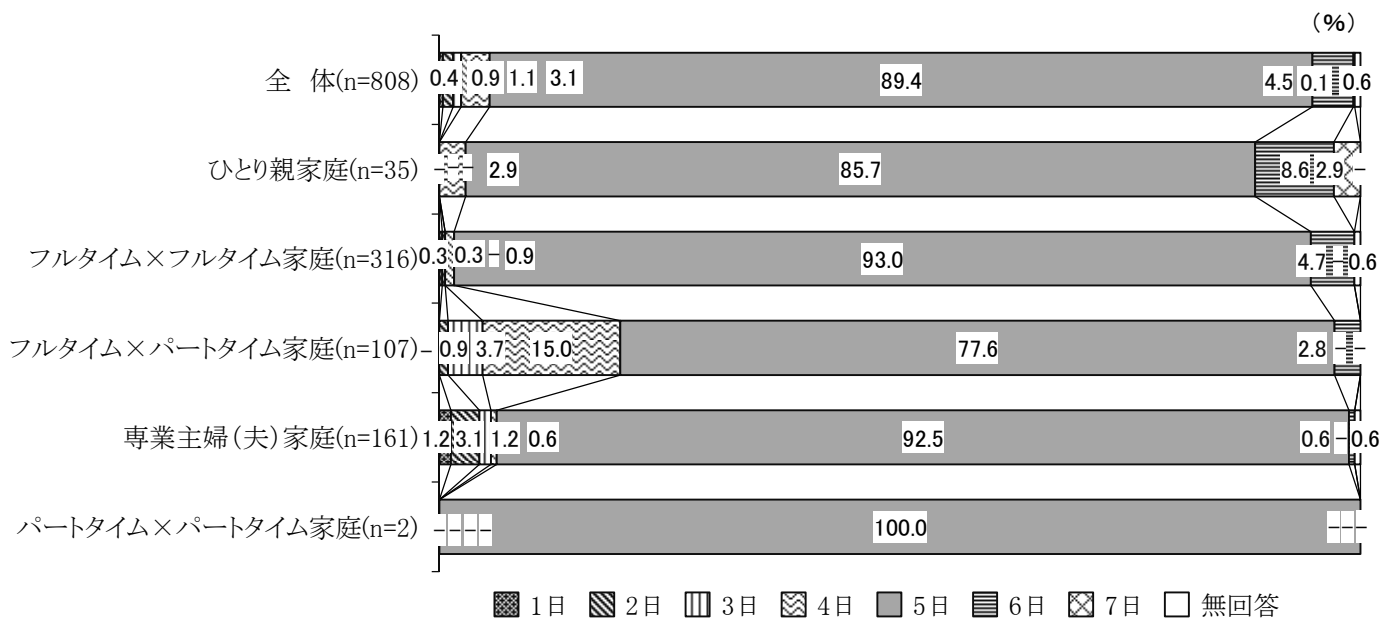
【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、「5日」は0～2歳では8割台、3歳以上では9割前後となっている。



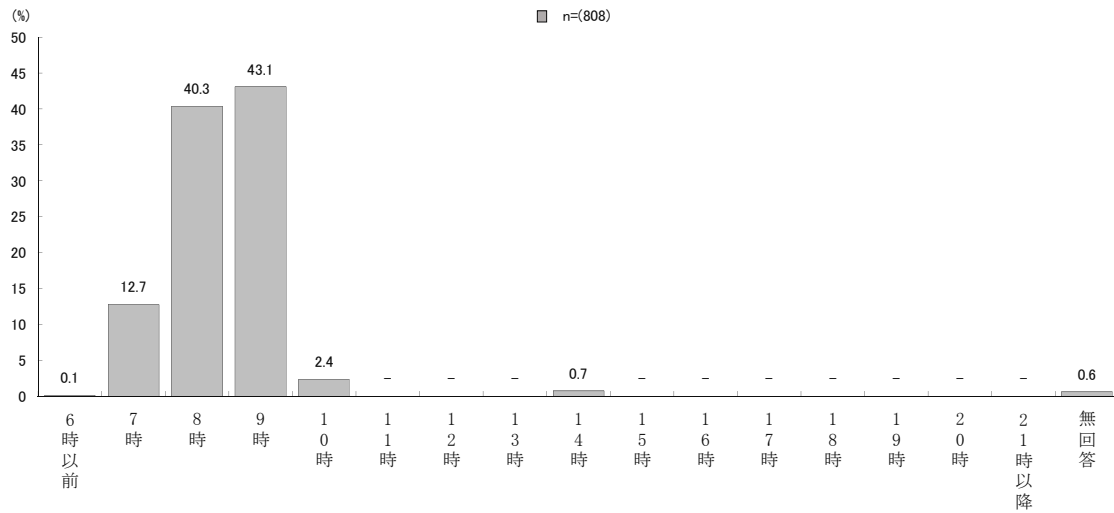
【家庭類型別】

家庭類型別にみると、「5日」はフルタイム×フルタイム家庭で93.0%、専業主婦(夫)家庭で92.5%、「6日」はひとり親家庭で8.6%と他に比べ高くなっている。



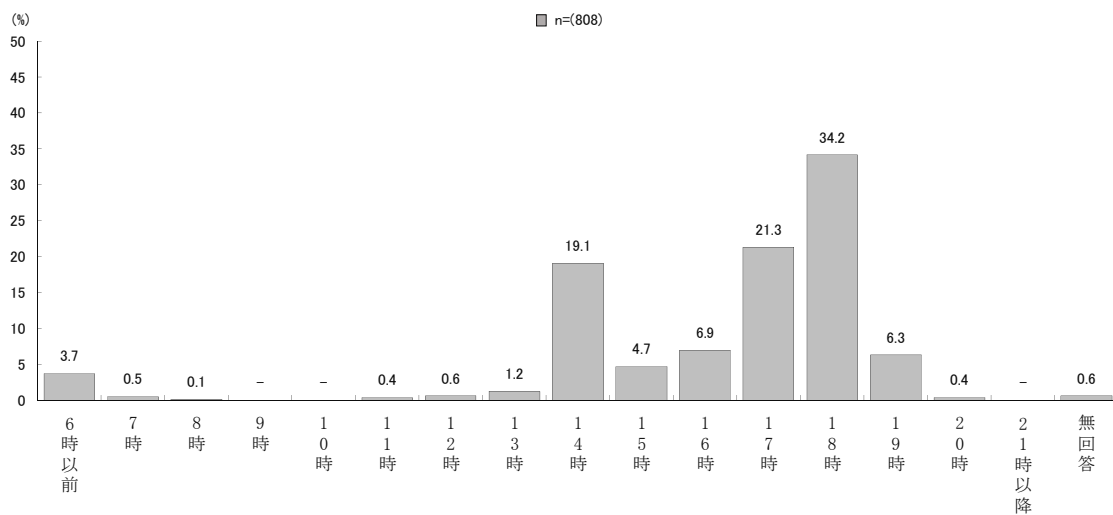
② 利用開始時間

「9時」が43.1%で最も高く、次いで「8時」が40.3%となっている。



③ 利用終了時間

「18時」が34.2%で最も高く、次いで「17時」が21.3%となっている。

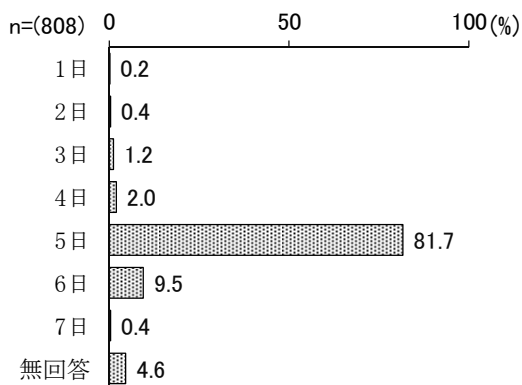


第2章 調査結果の詳細
1. 就学前児童保護者調査

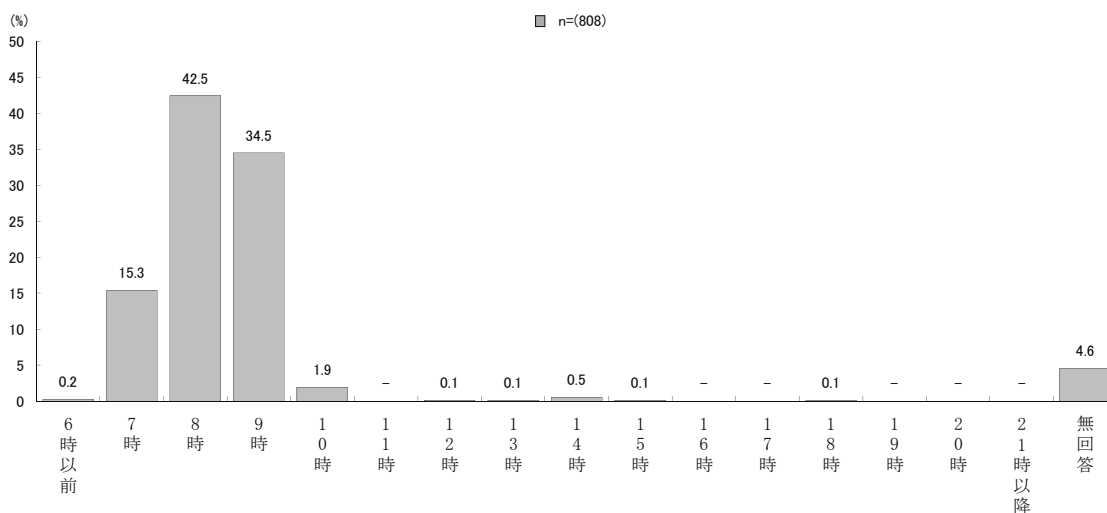
(4) 教育・保育事業の利用希望

問1 1-2 (3) (1) に記入された事業を1週当たり何日利用したいかおよび一番利用したい時間帯(何時から何時まで)を、口内に具体的な数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。

① 1週当たりの希望利用日数
「5日」が81.7%で最も高くなっている。

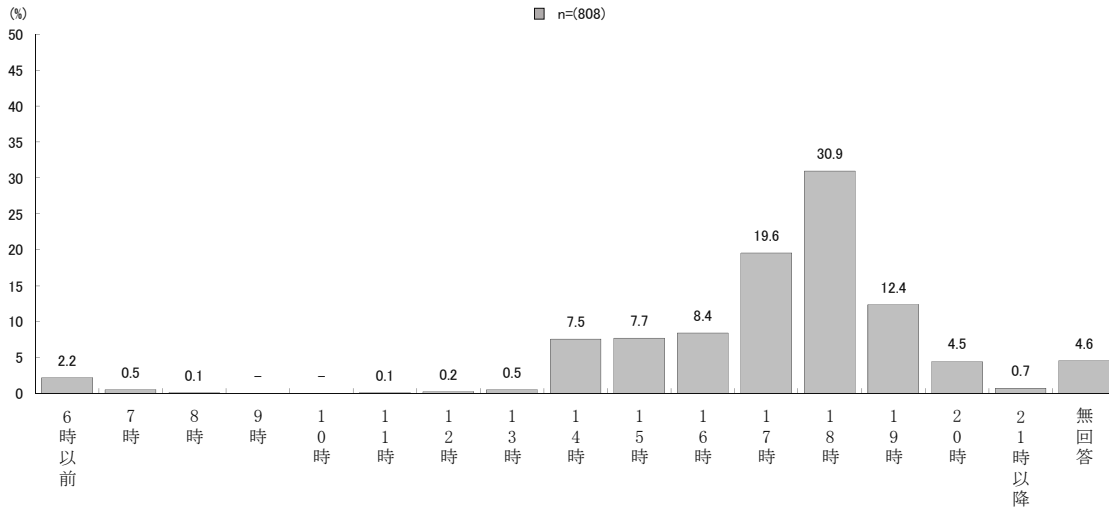


② 希望利用開始時間
「8時」が42.5%で最も高く、次いで「9時」が34.5%となっている。



③ 希望利用終了時間

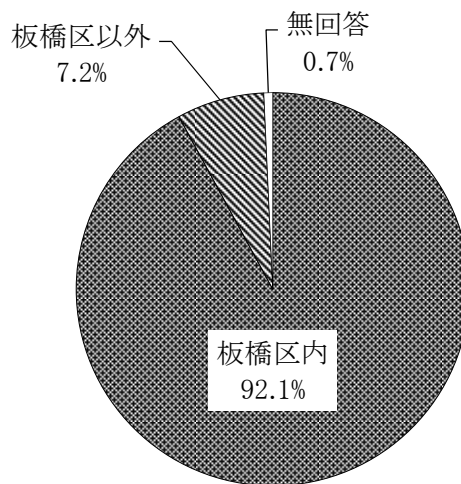
「18時」が30.9%で最も高く、次いで「17時」が19.6%となっている。



(5) 教育・保育事業の実施場所

問1 1-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「板橋区内」が92.1%で高くなっている。



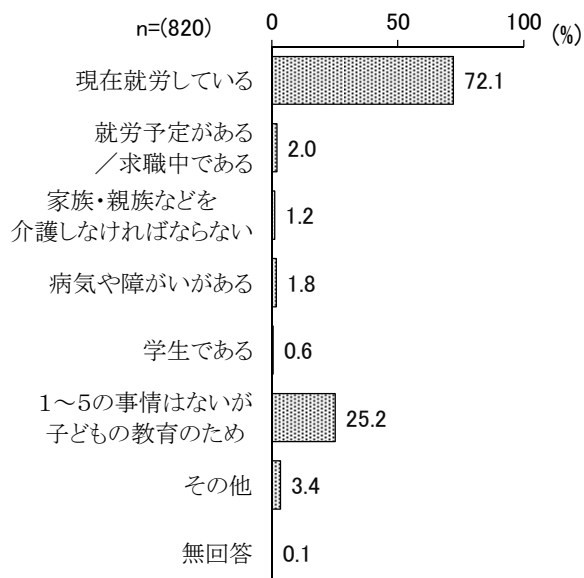
n=(820)

第2章 調査結果の詳細
1. 就学前児童保護者調査

(6) 教育・保育事業を利用している理由

問11-4 利用している理由についてうかがいます。主な理由の番号すべてに○をつけてください。

「現在就労している」が72.1%で最も高くなっている。

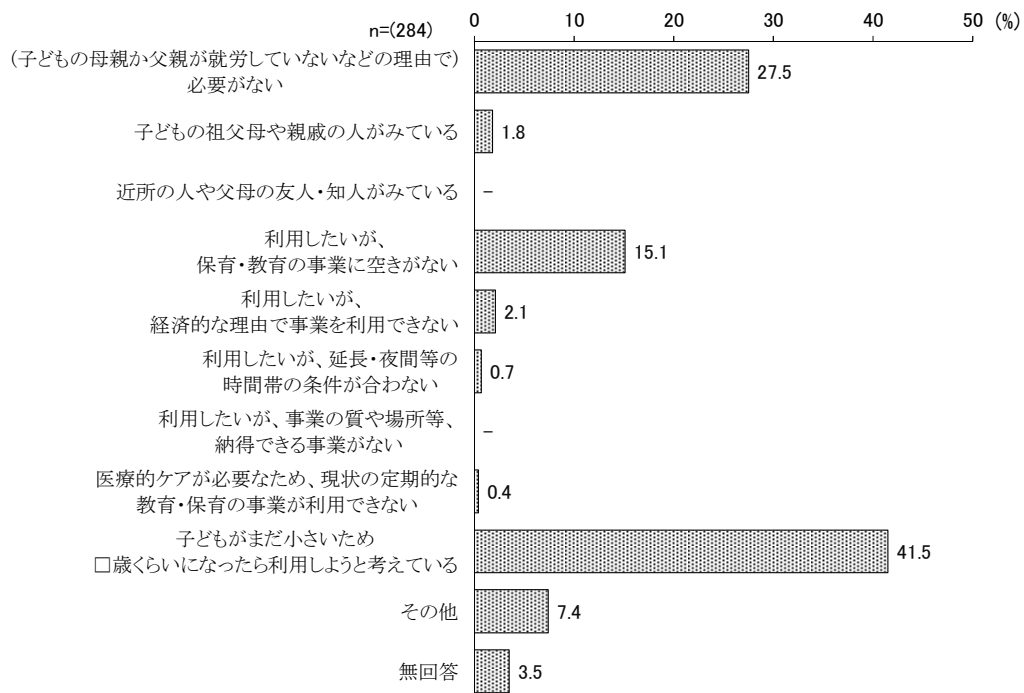


(7) 教育・保育事業を利用していない理由

問11-5 問11で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。「9. 子どもがまだ小さいため・・・」を選択された方は併せて□内に数字でご記入ください。

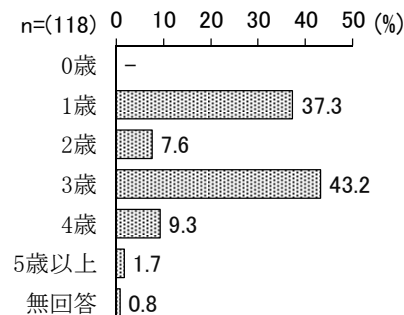
① 利用していない理由

「子どもがまだ小さいため（□歳くらいになったら利用しようと考えている）」が41.5%で最も高く、次いで「(子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 必要がない」が27.5%となっている。



② 利用しようと考えている子どもの年齢

「3歳」が43.2%で最も高く、次いで「1歳」が37.3%となっている。

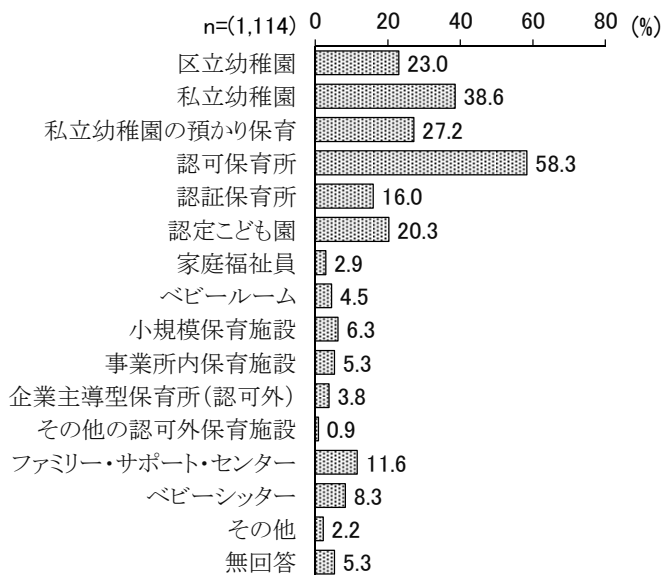


第2章 調査結果の詳細
1. 就学前児童保護者調査

(8) 利用したいと考える教育・保育事業

問12 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんが平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

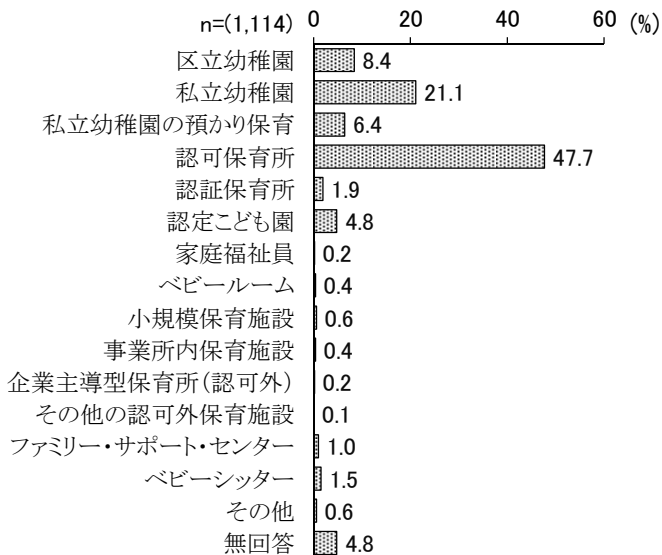
「認可保育所」が58.3%で最も高く、次いで「私立幼稚園」が38.6%となっている。



(9) 一番利用希望の高い教育・保育事業

問12-1(1) 一番利用希望の高い事業は何ですか。その番号を問12の表から選んで口内に記入してください。

「認可保育所」が47.7%で最も高くなっている。

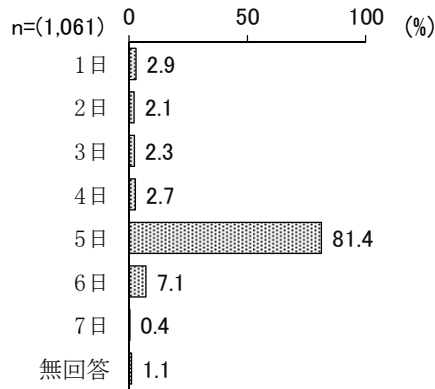


(10) 利用したいと考える教育・保育事業の日数と時間

問12-1(2) (1)に記入された事業を1週当たり何日利用したいかおよび一番利用したい時間帯(何時から何時まで)を、口内に具体的な数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。※時間は、24時間制でご記入ください。

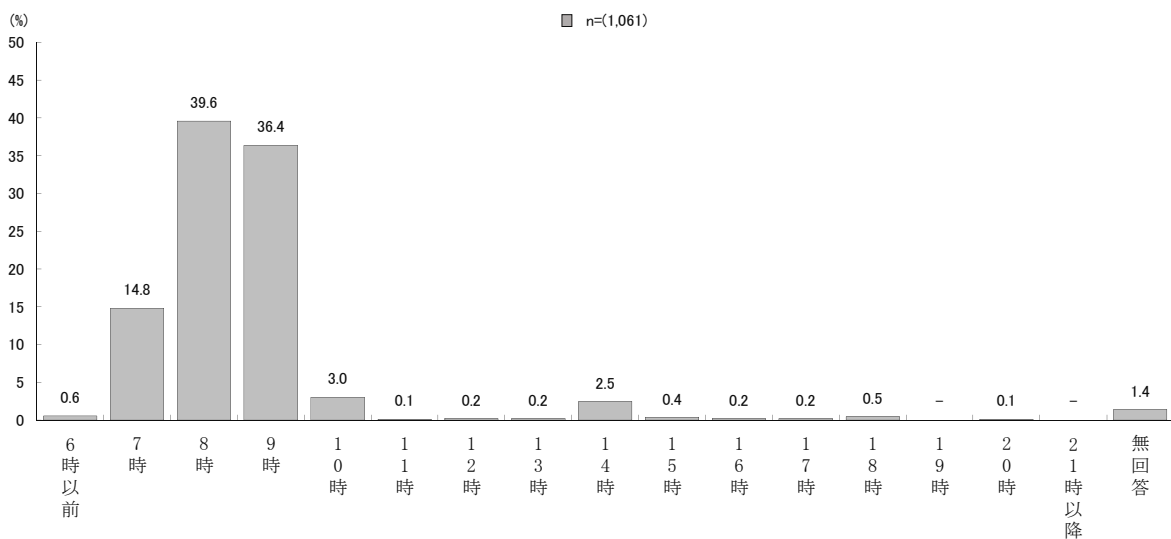
① 1週当たりの希望利用日数

「5日」が81.4%で最も高くなっている。



② 希望利用開始時間

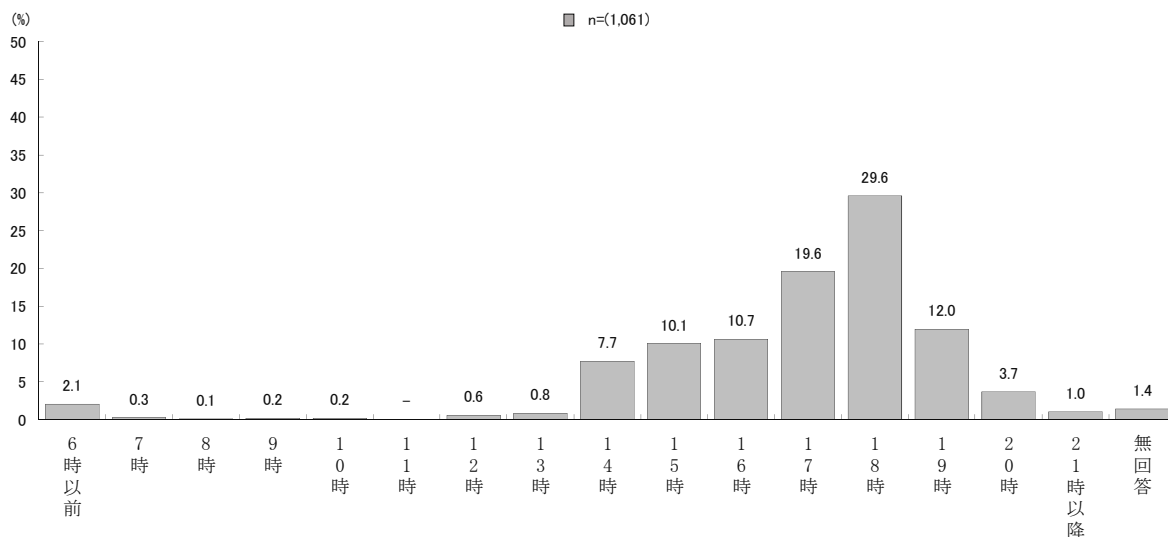
「8時」が39.6%で最も高く、次いで「9時」が36.4%となっている。



第2章 調査結果の詳細
1. 就学前児童保護者調査

③ 希望利用終了時間

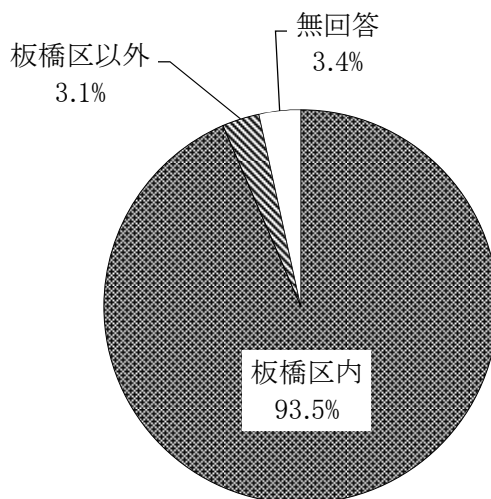
「18時」が29.6%で最も高く、次いで「17時」が19.6%となっている。



(11) 教育・保育事業の利用希望場所

問13 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「板橋区内」が93.5%と高くなっている。



n=(1,114)

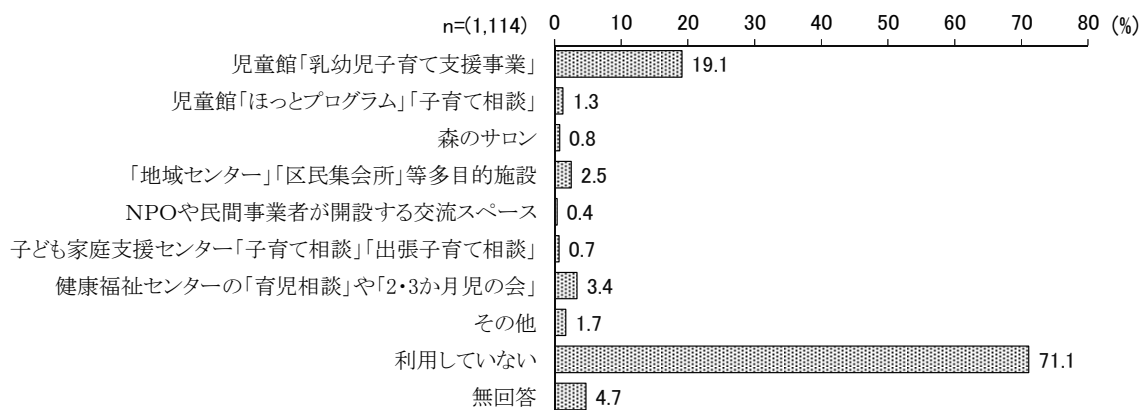
5. 地域の子育て支援事業の利用状況

(1) 地域の親子の交流スペースの利用状況

問14 宛名のお子さんは、現在、地域の親子の交流スペース（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場）を利用していますか。次の中から、利用しているものの番号すべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を〔 〕内に数字でご記入ください。

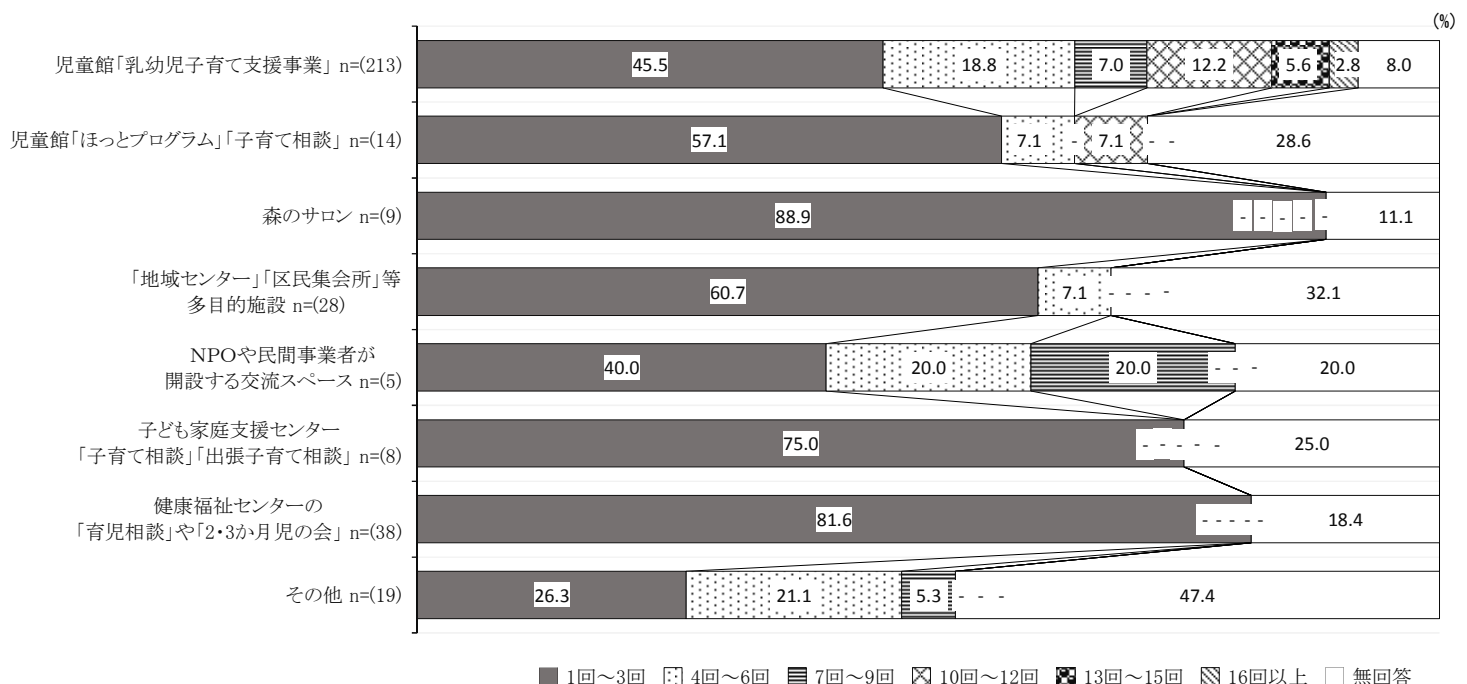
① 利用の有無

「児童館『乳幼児子育て支援事業』」が19.1%となっている。
一方、「利用していない」は71.1%となっている。



② 1月当たりの利用回数

児童館「乳幼児子育て支援事業」では、「1月当たり1～3回」が45.5%となっている。



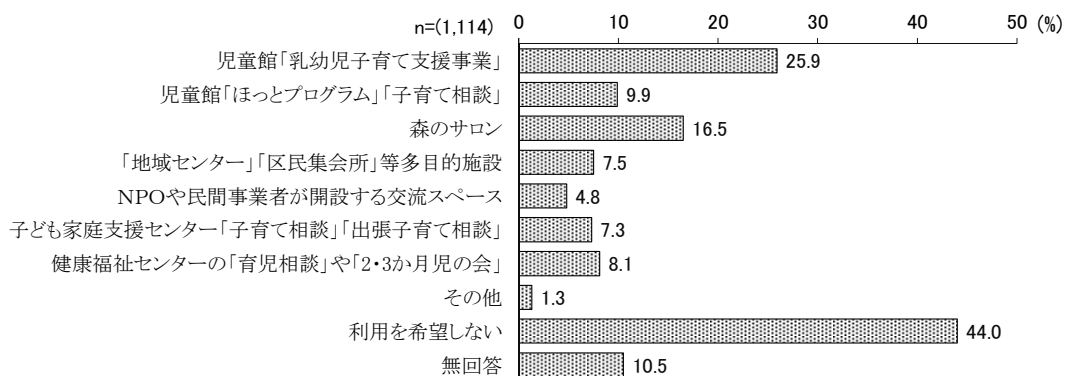
第2章 調査結果の詳細
1. 就学前児童保護者調査

(2) 地域の親子の交流スペースの今後の利用希望

問15 問14のような子育て支援施設について、今は利用していないが「できれば利用したい」あるいは「利用日数を増やしたい」と思いますか。希望するものの番号すべてに○をつけ、希望する利用回数（頻度）を〔 〕内に数字でご記入ください。

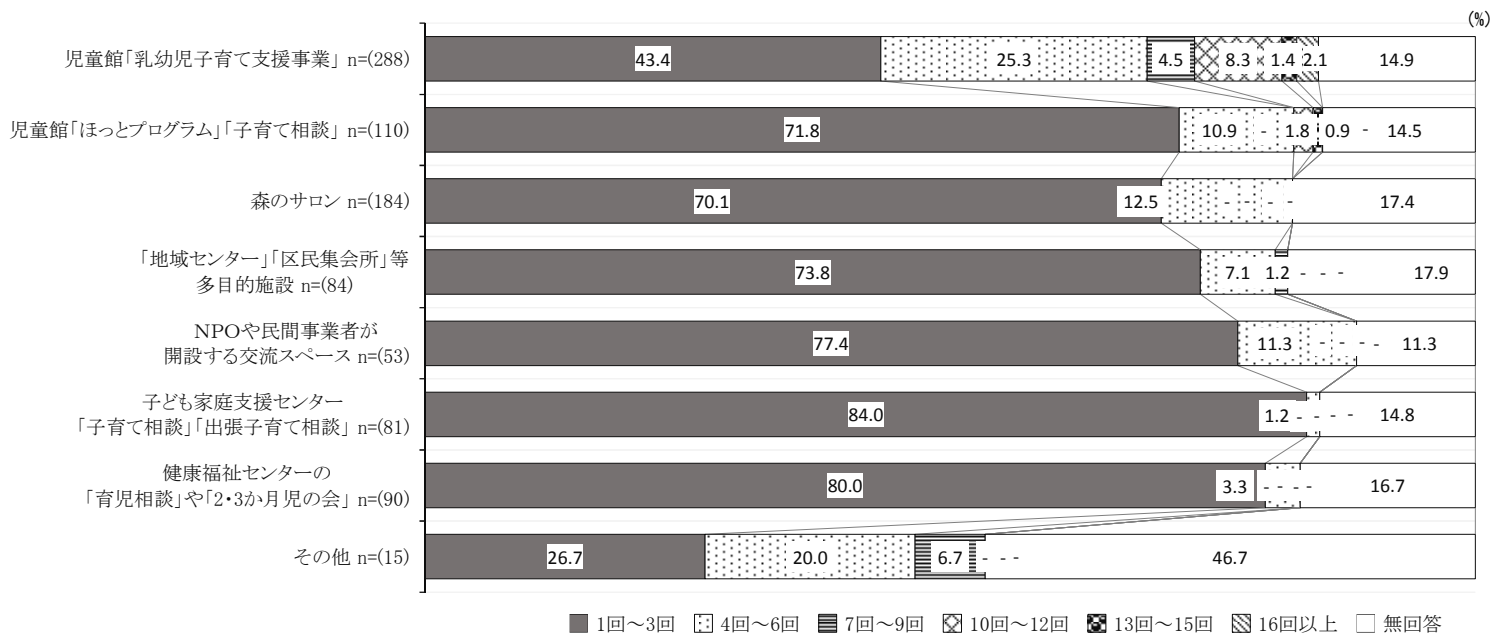
① 今後の利用希望の有無

「児童館『乳幼児子育て支援事業』」が25.9%、「森のサロン」が16.5%となっている。
一方、「利用を希望しない」は44.0%となっている。



② 1月当たりの希望利用日数

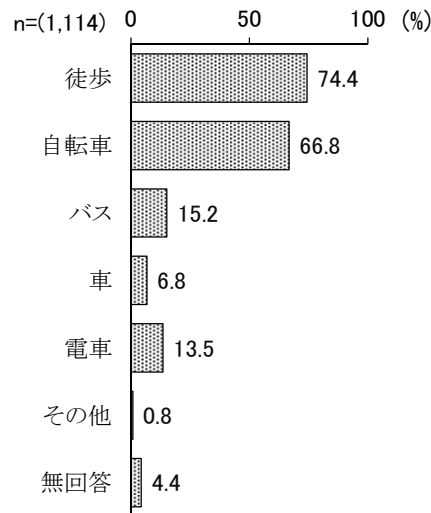
森のサロンでは、「1月当たり1～3回」が70.1%となっている。



(3) 子育て支援施設を利用する上での希望移動手段

問16 子育て支援施設を利用する上で、希望する移動手段は何ですか。希望するものの番号すべてに○をつけてください。

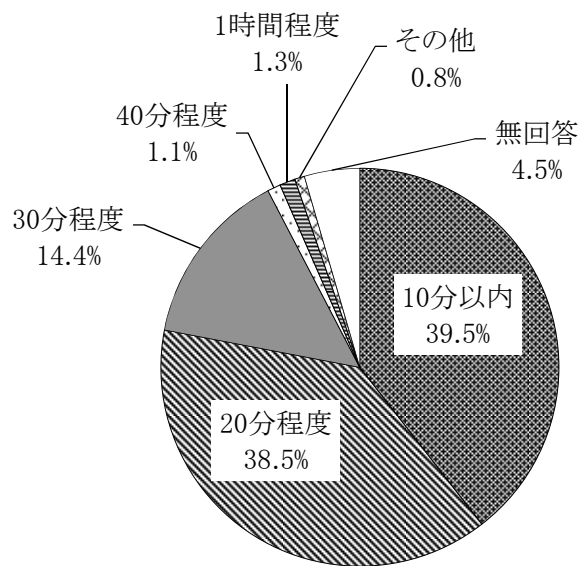
「徒歩」が74.4%で最も高く、次いで「自転車」が66.8%となっている。



(4) 子育て支援施設を利用する上での許容できる移動時間

問17 子育て支援施設を利用する上で、許容できる移動時間はどのくらいですか。もっとも近い番号1つに○をつけてください。

「10分以内」が39.5%で最も高く、次いで「20分程度」が38.5%となっている。



n=(1,114)

第2章 調査結果の詳細
1. 就学前児童保護者調査

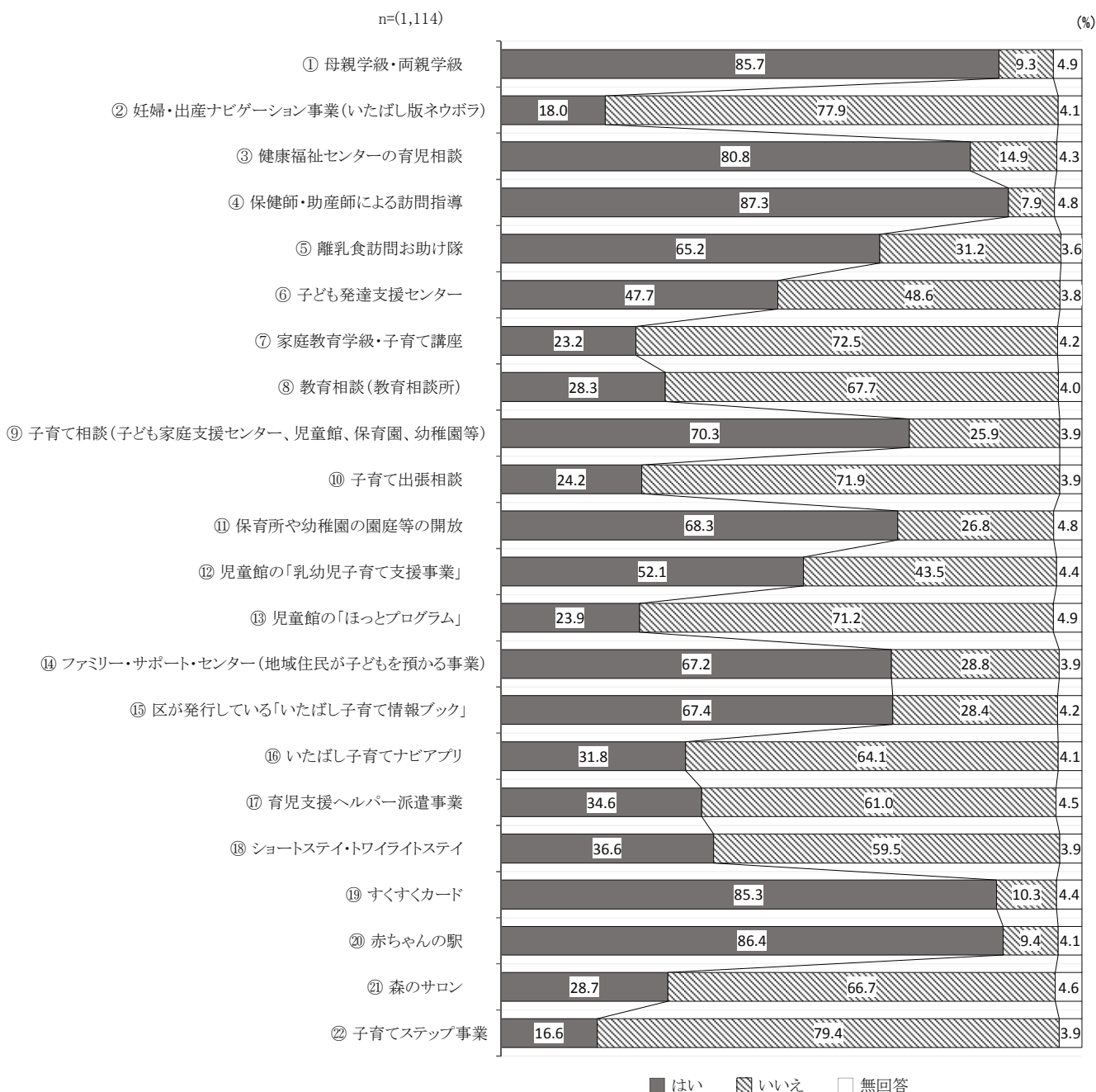
(5) 子育て支援サービスの認知度・利用度

問18 子育て支援サービスの「認知度」「利用度」についてうかがいます。下記のサービスを知っていたり、これまでに利用したことはありますか。また、今後利用したいと思いますか。サービスごとにA～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のどちらかに○をつけてください。

① 認知度

「はい」は保健師・助産師による訪問指導で87.3%と最も高く、次いで赤ちゃんの駅で86.4%、母親学級・両親学級で85.7%となっている。

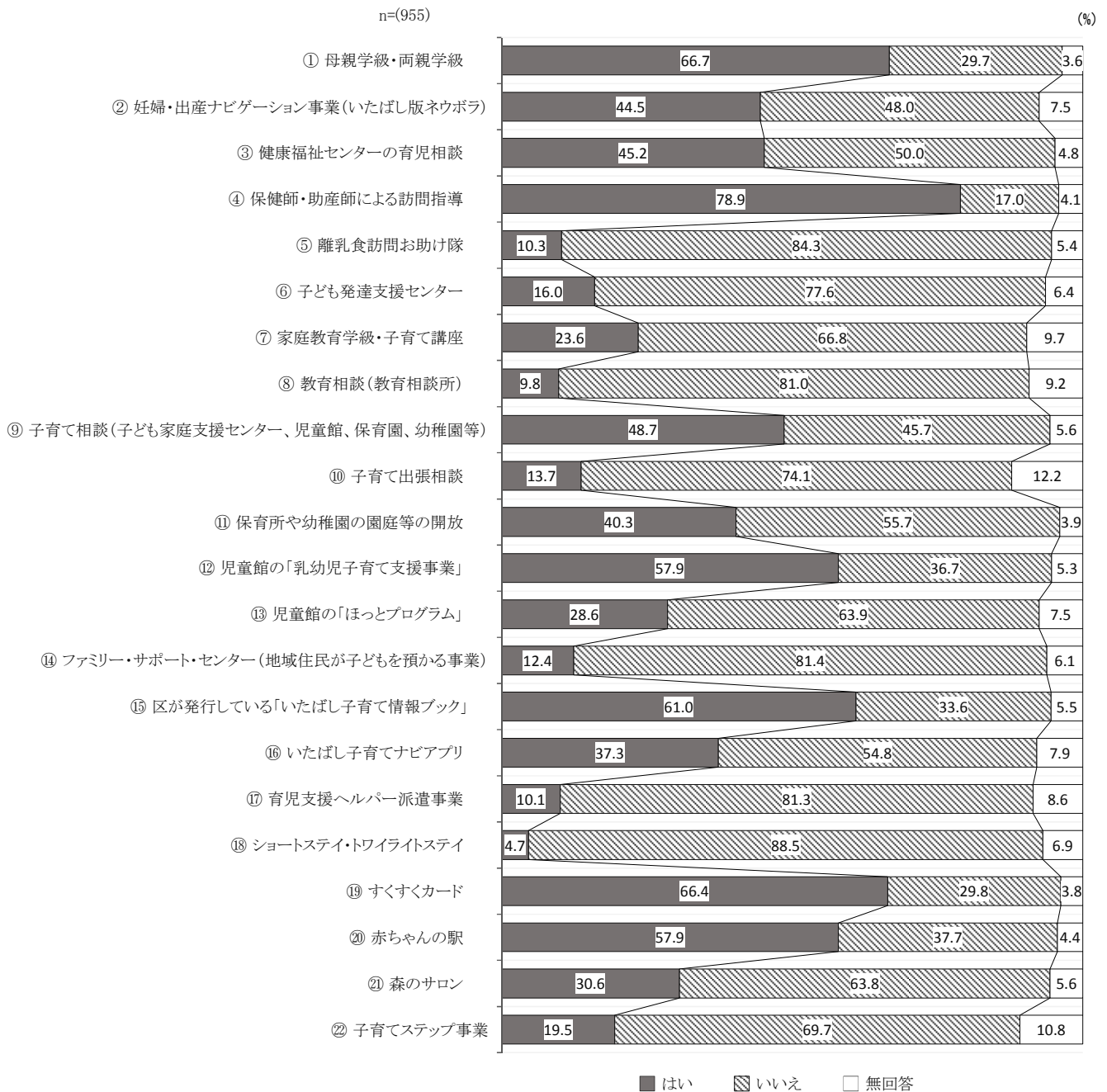
一方、子育てステップ事業では16.6%、妊婦・出産ナビゲーション事業（いたばし版ネウボラ）では18.0%と低くなっている。



② 利用の有無

各子育て支援サービスを知っている人に、利用したことがあるかをたずねたところ、「はい」は保健師・助産師による訪問指導で78.9%と最も高く、次いで母親学級・両親学級で66.7%、すくすくカードで66.4%となっている。

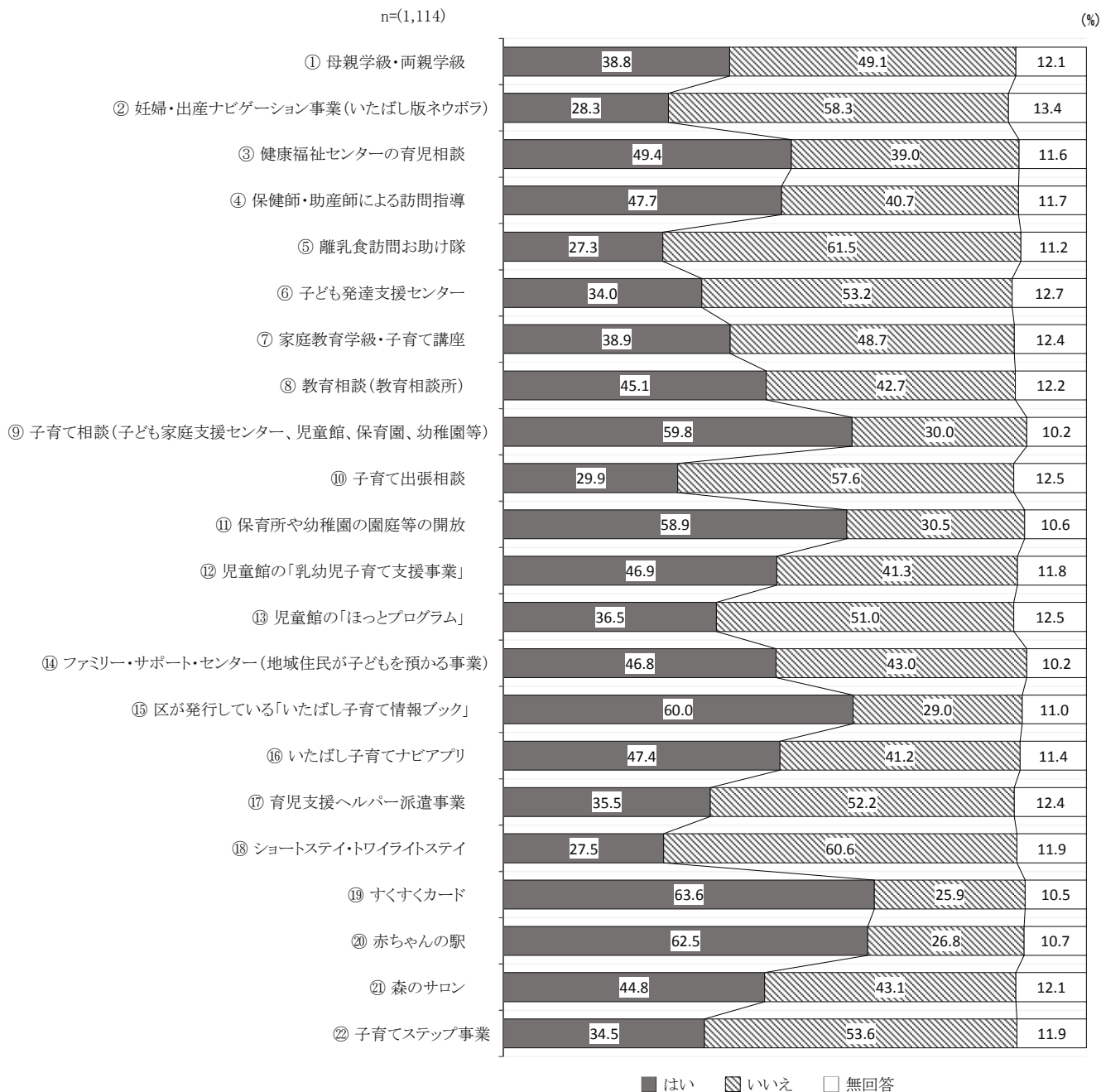
一方、ショートステイ・トワイライトステイでは4.7%、教育相談（教育相談所）では9.8%、育児支援ヘルパー派遣事業では10.1%となっている。



第2章 調査結果の詳細
1. 就学前児童保護者調査

③ 今後の利用希望

「はい」はすくすくカードで63.6%と最も高く、次いで赤ちゃんの駅で62.5%、区が発行している「いたばし子育て情報ブック」で60.0%となっている。



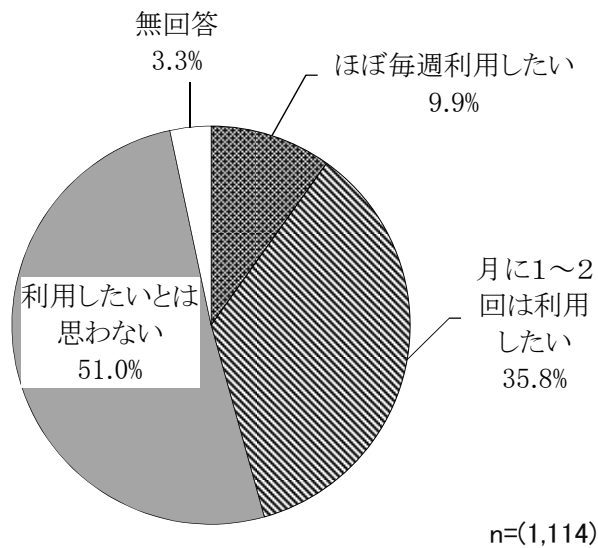
6. 土曜・休日の教育・保育事業の利用希望

(1) 土曜日の教育・保育事業の利用希望

問19 (1) 宛名のお子さんについて、土曜日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか(一時的な利用は除きます)。当てはまる番号1つに○をつけてください。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)9時~17時のように24時間制でご記入ください。

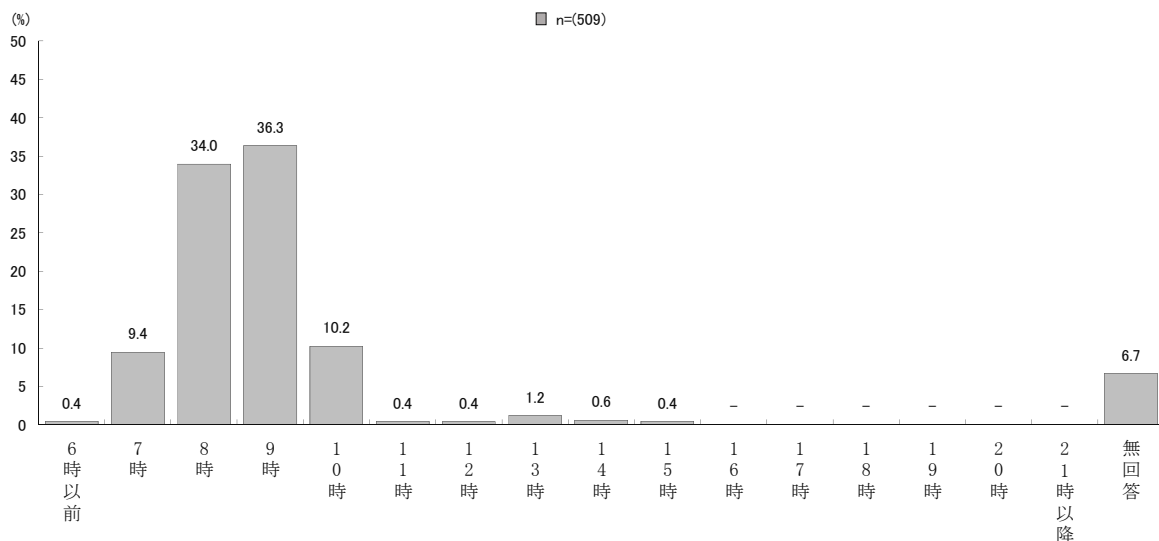
① 利用希望

「月に1~2回は利用したい」が35.8%、「ほぼ毎週利用したい」が9.9%となっている。一方、「利用したいとは思わない」は51.0%となっている。



② 希望利用開始時間

「9時」が36.3%で最も高く、次いで「8時」が34.0%、「10時」が10.2%となっている。

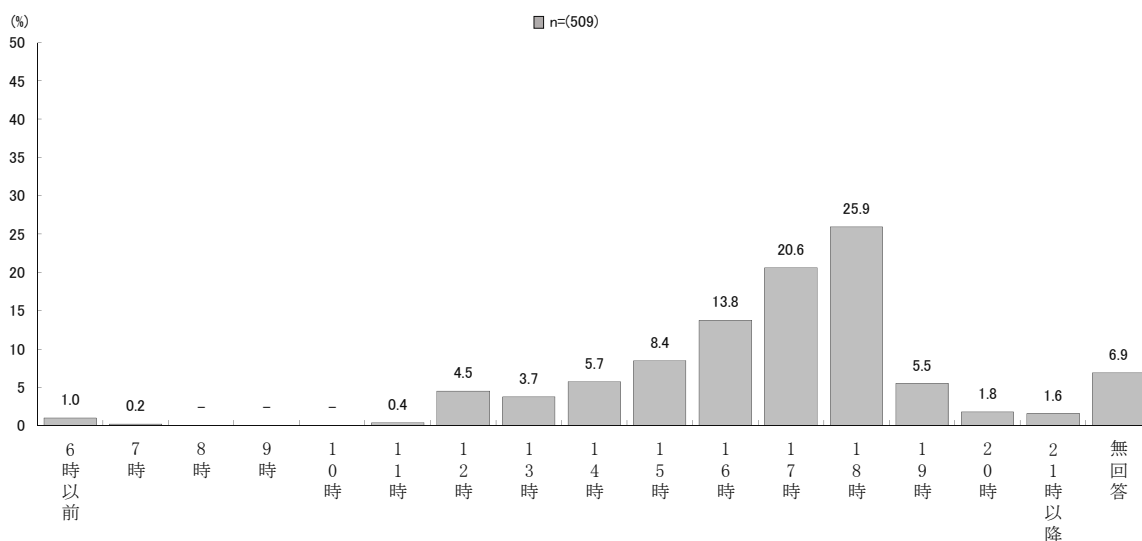


第2章 調査結果の詳細

1. 就学前児童保護者調査

③ 希望利用終了時間

「18時」が25.9%で最も高く、次いで「17時」が20.6%、「16時」が13.8%となっている。

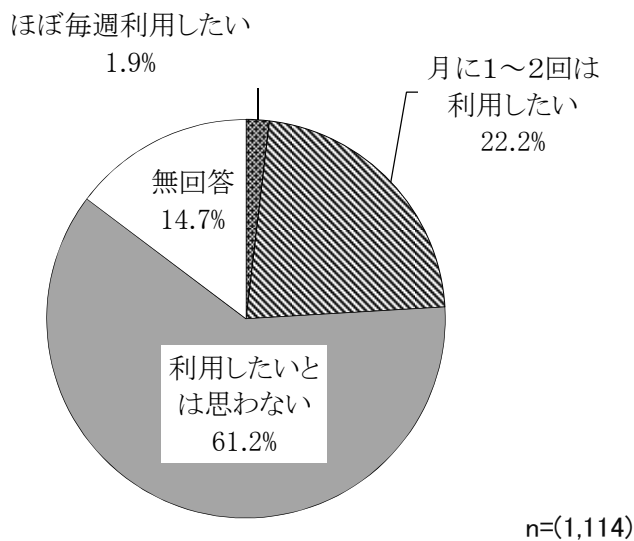


(2) 日曜日・祝日の教育・保育事業の利用希望

問19(2) 宛名のお子さんについて、日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。当てはまる番号1つに○をつけてください。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例) 9時～17時のように24時間制でご記入ください。

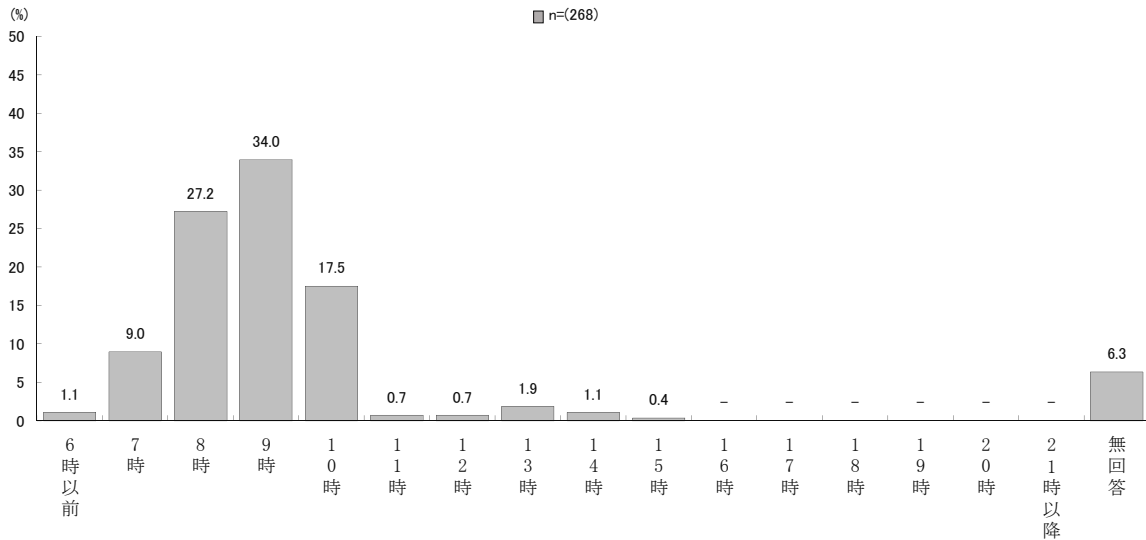
① 利用希望

「月に1～2回は利用したい」が22.2%、「ほぼ毎週利用したい」が1.9%となっている。一方、「利用したいとは思わない」は61.2%となっている。



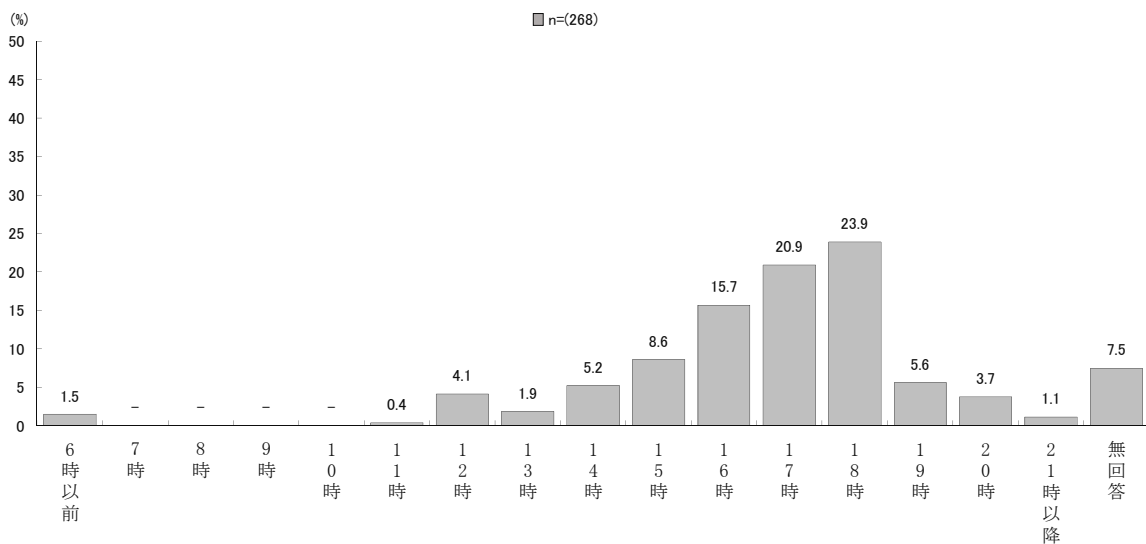
② 希望利用開始時間

「9時」が34.0%で最も高く、次いで「8時」が27.2%、「10時」が17.5%となっている。



③ 希望利用終了時間

「18時」が23.9%で最も高く、次いで「17時」が20.9%、「16時」が15.7%となっている。

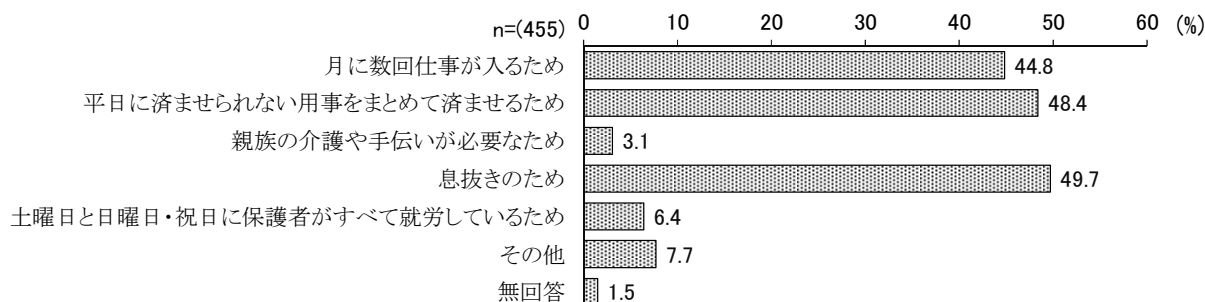


第2章 調査結果の詳細
1. 就学前児童保護者調査

(3) 土曜・休日に毎週ではなく、たまに利用したい理由

問19-1 問19の(1)もしくは(2)で、「2.月に1~2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「息抜きのため」が49.7%で最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が48.4%、「月に数回仕事が入るため」が44.8%となっている。

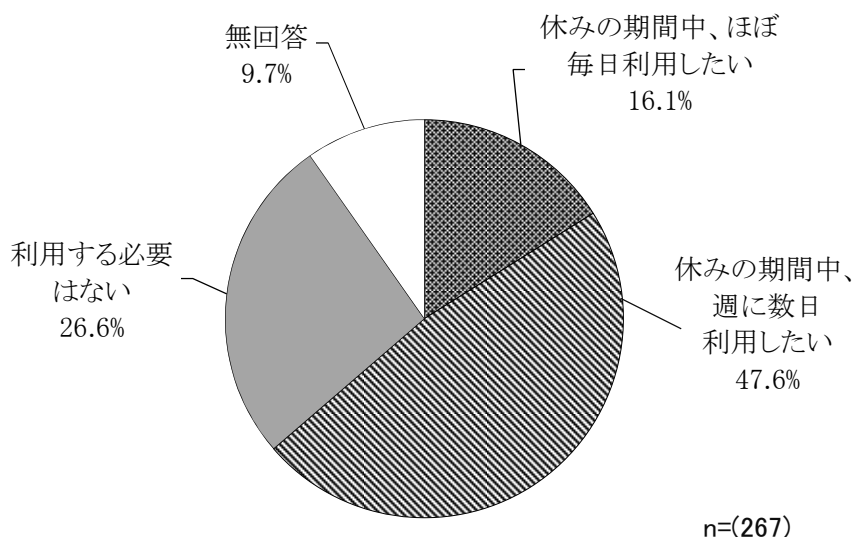


(4) 幼稚園利用者の長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望

問20 「幼稚園」を利用している方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)9時~17時のように24時間制でご記入ください。

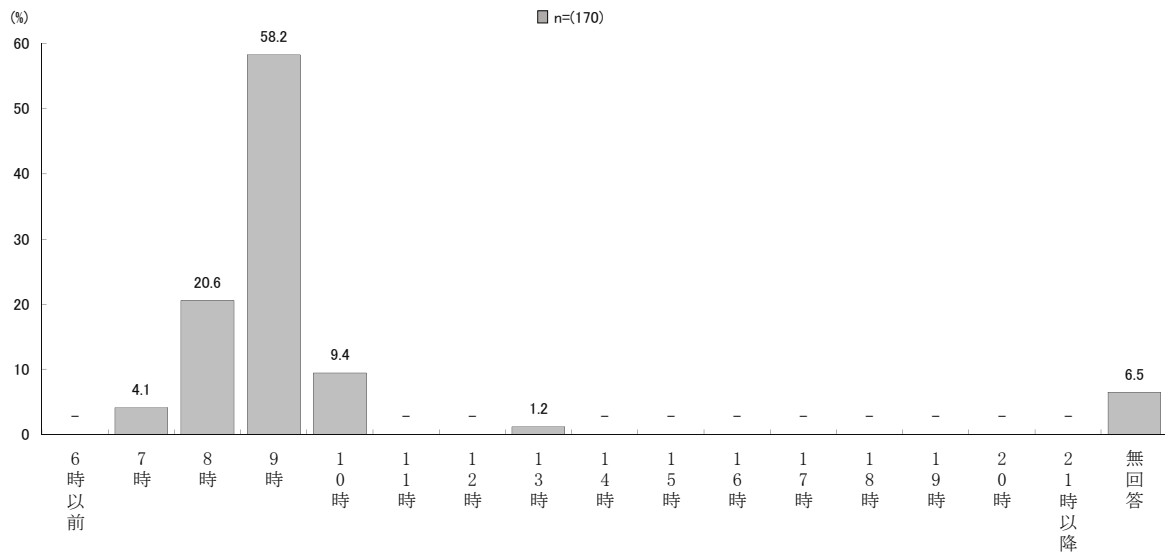
① 利用希望

「休みの期間中、週に数日利用したい」が47.6%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が16.1%となっている。一方、「利用する必要はない」は26.6%となっている。



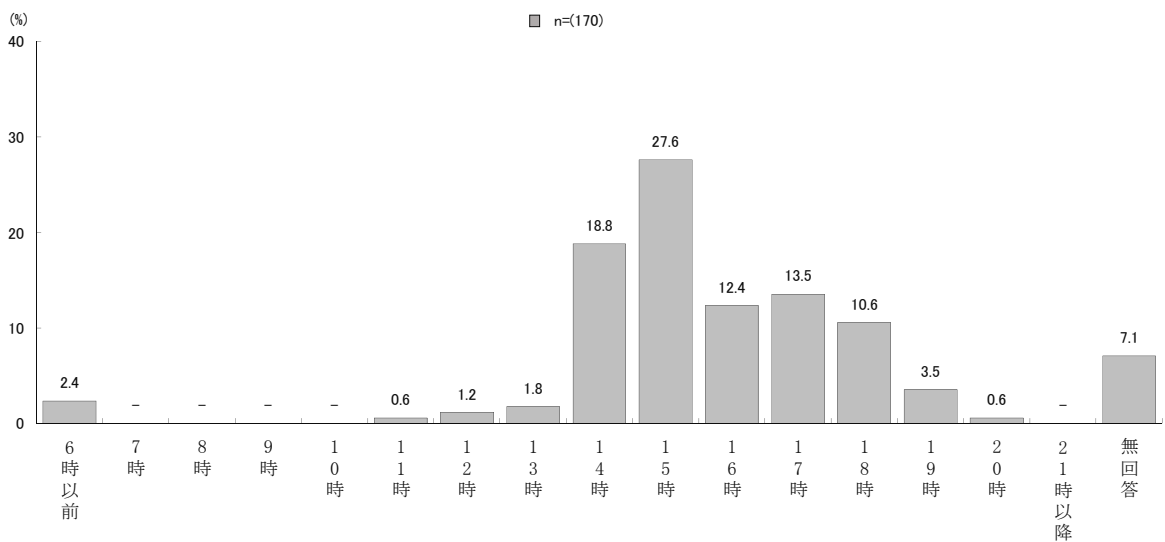
② 希望利用開始時間

「9時」が58.2%で最も高くなっている。



④ 希望利用終了時間

「15時」が27.6%で最も高く、次いで「14時」が18.8%、「17時」が13.5%となっている。

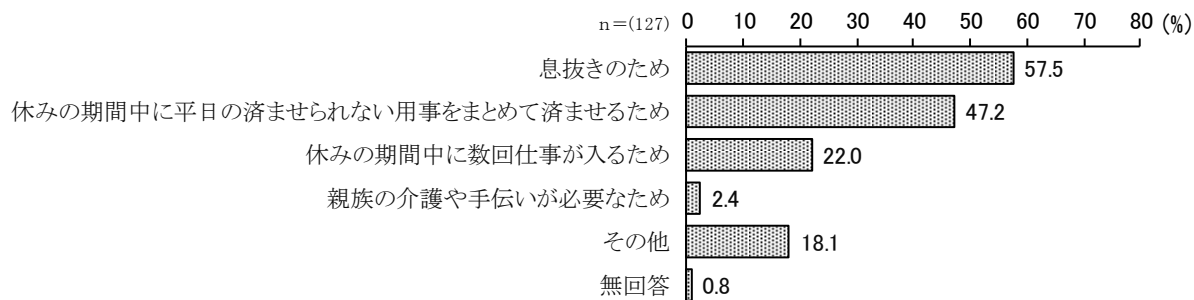


第2章 調査結果の詳細
1. 就学前児童保護者調査

(5) 長期休暇期間中、毎日ではなく、たまに利用したい理由

問20-1 問20で、「2. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「息抜きのため」が57.5%で最も高く、次いで「休みの期間中に平日の済ませられない用事をまとめて済ませるため」が47.2%、「休みの期間中に数回仕事が入るため」が22.0%となっている。

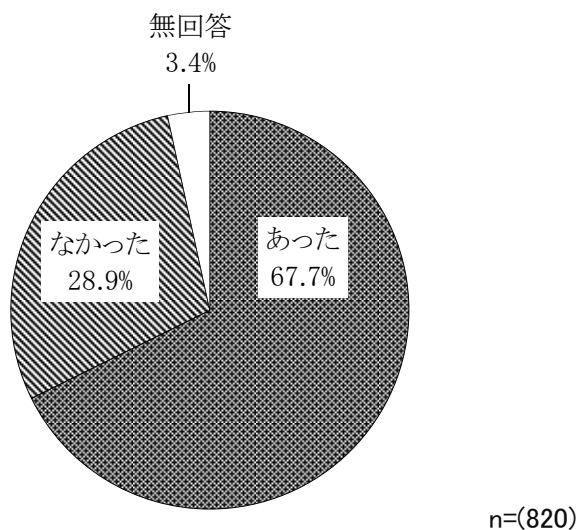


7. 病気の際の対応

(1) 病気やけがで通常の教育・保育事業が利用できなかった経験

問21 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問11で「1. 利用している」に○をつけた方）にうかがいます。利用していらっしゃらない方は、問22にお進みください。
この1年間に、宛名のお子さんが病気やけがで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

「あった」が67.7%、「なかった」が28.9%となっている。

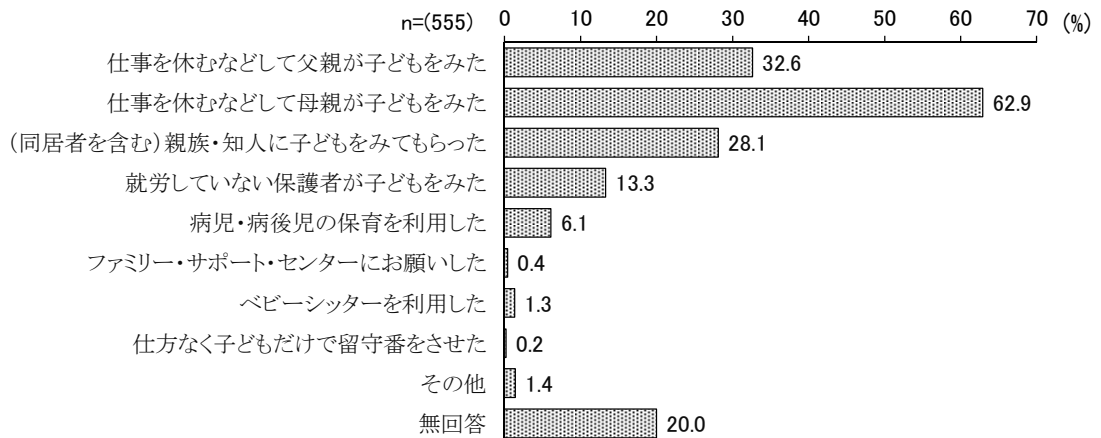


(2) 通常の教育・保育事業が利用できなかった場合の対処

問2 1-1 この1年間に、宛名のお子さんが病気やけがで通常の事業が利用できなかった場合の対処方法について「ア～ケ」の対処方法から当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください)。

①対処方法

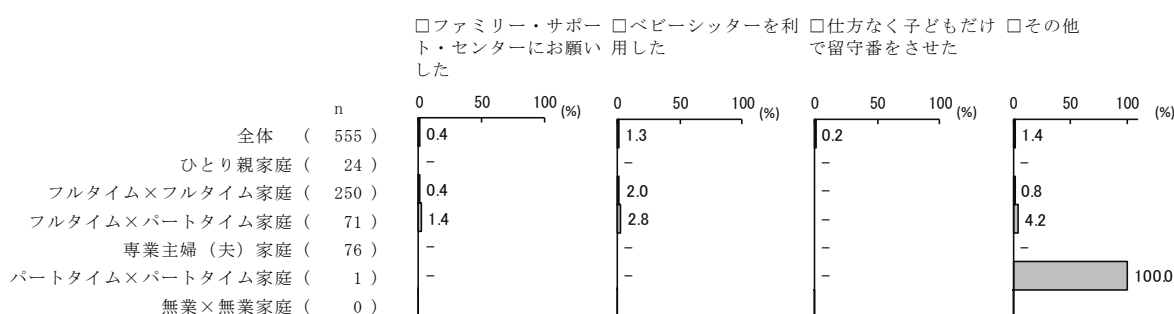
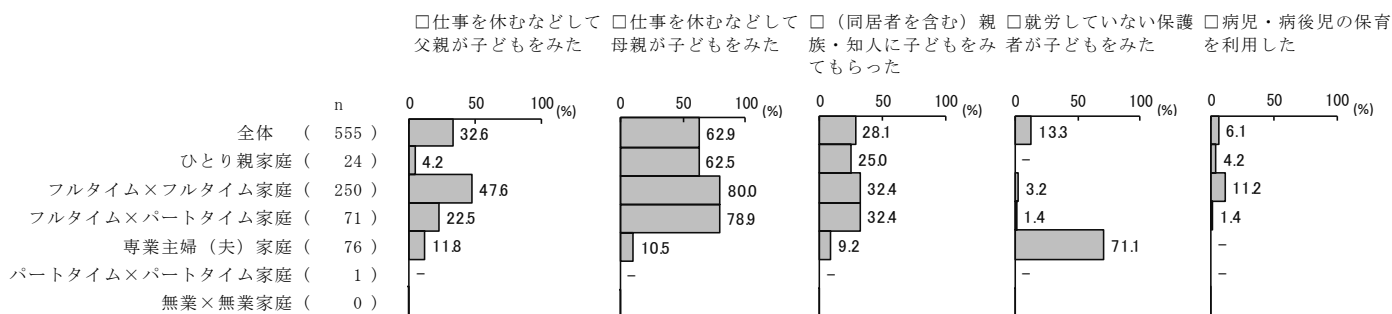
「仕事を休むなどして母親が子どもをみた」が62.9%で最も高く、次いで「仕事を休むなどして父親が子どもをみた」が32.6%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が28.1%となっている。



第2章 調査結果の詳細
1. 就学前児童保護者調査

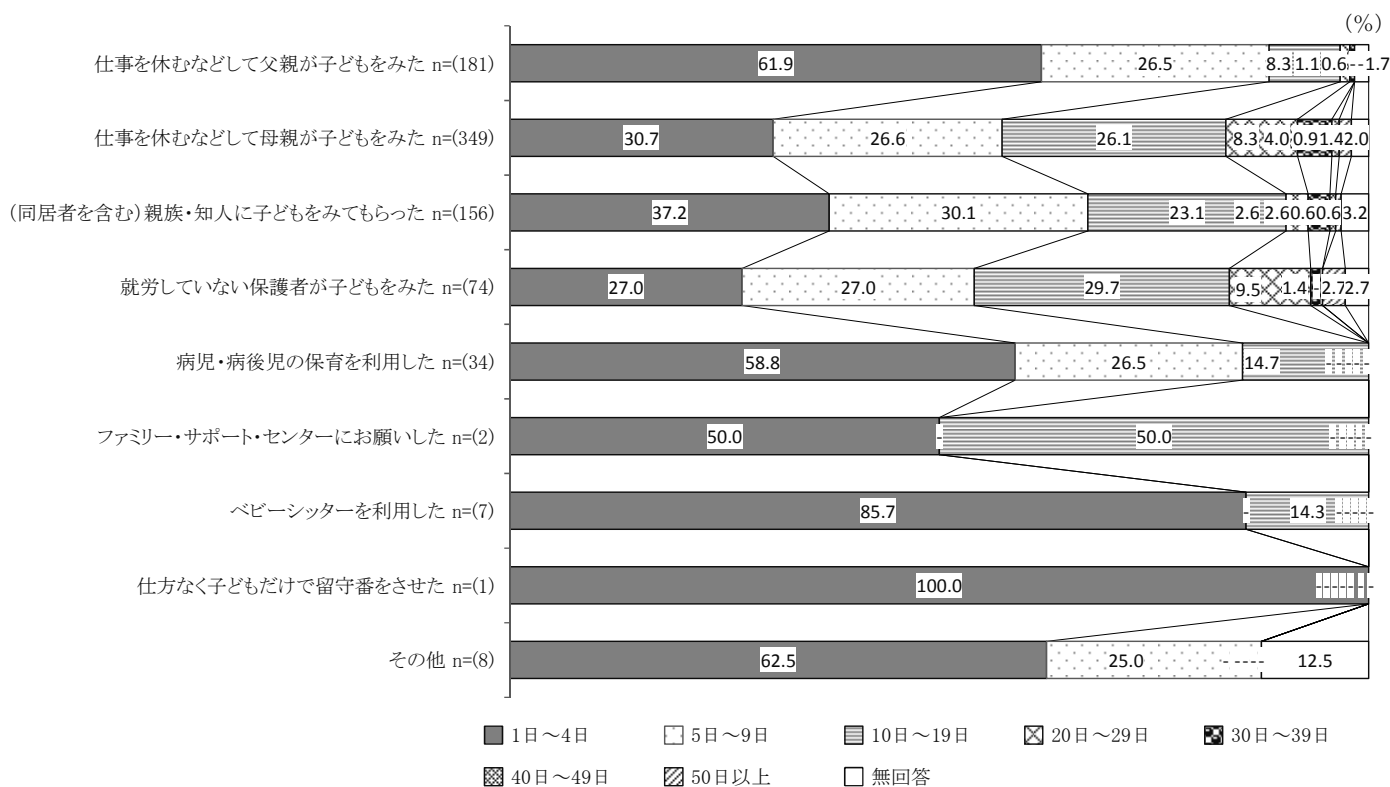
【家庭類型別】

家庭類型別にみると、「仕事を休むなどして母親が子どもをみた」はフルタイム×フルタイム家庭で80.0%と他よりも高いが、「仕事を休むなどして父親が子どもをみた」もフルタイム×フルタイム家庭で47.6%と高くなっている。



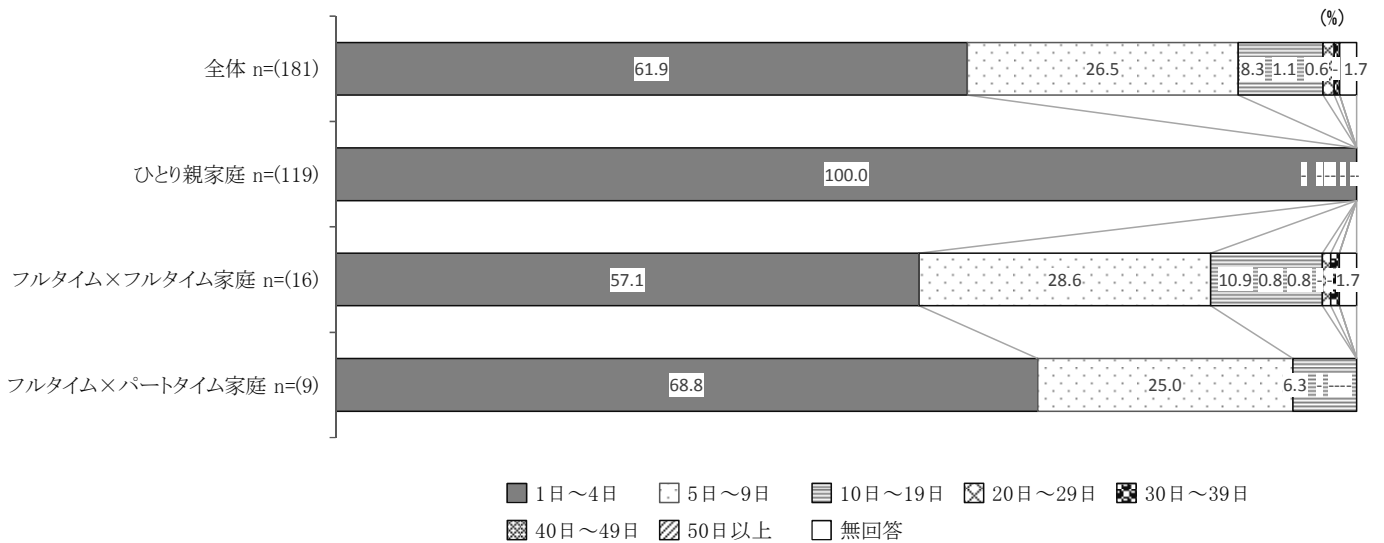
②対処方法別の日数

「仕事を休むなどして母親が子どもをみた」では、1年間に「1日～4日」が30.7%で最も多く、次に「5日～9日」の26.6%、「10～19日」が26.1%である。



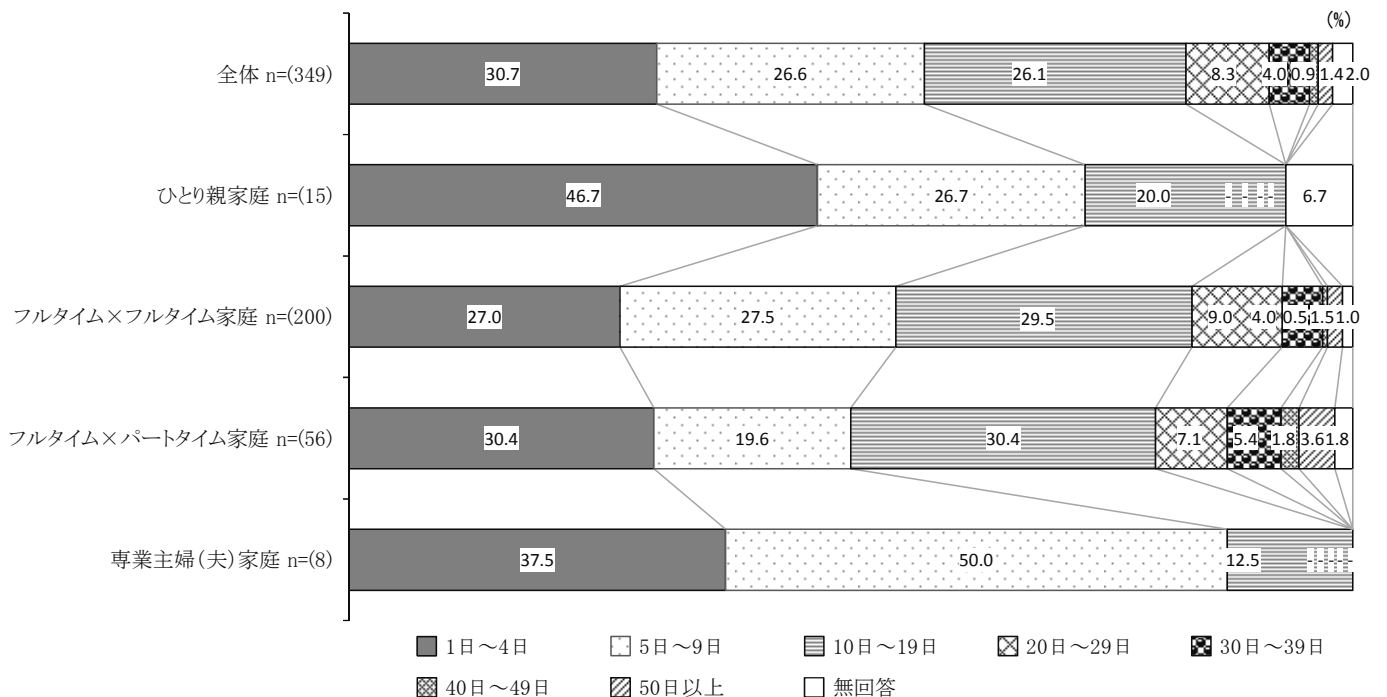
【仕事を休むなどして父親が子どもをみた×家庭類型】

対処の日数を、仕事を休むなどして父親が子どもをみたと答えた方について、家庭類型別にみると、1年間に「1日～4日」はひとり親家庭で100.0%と高くなっている。



【仕事を休むなどして母親が子どもをみた×家庭類型】

対処の日数を、仕事を休むなどして母親が子どもをみたと答えた方について、家庭類型別にみると、フルタイム×フルタイム家庭で割合が多い順に1年間に「10日～19日」(29.5%)、「5日～9日」(27.5%)、「1日～4日」(27.0%)、となっている。一方、ひとり親家庭では「1日～4日」が5割近くとなっている。



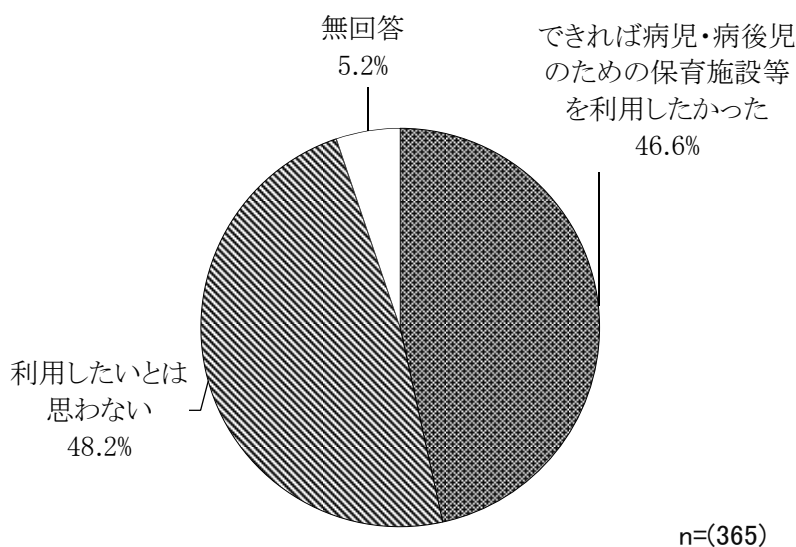
第2章 調査結果の詳細
1. 就学前児童保護者調査

(3) 病児・病後児のための保育施設等の利用希望

問2 1-2 問2 1-1で「ア. 仕事を休むなどして父親が子どもをみた」「イ. 仕事を休むなどして母親が子どもをみた」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください(数字は一枠に一字)。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかります、利用前に医師の受診(入室前診察)が必要となります。

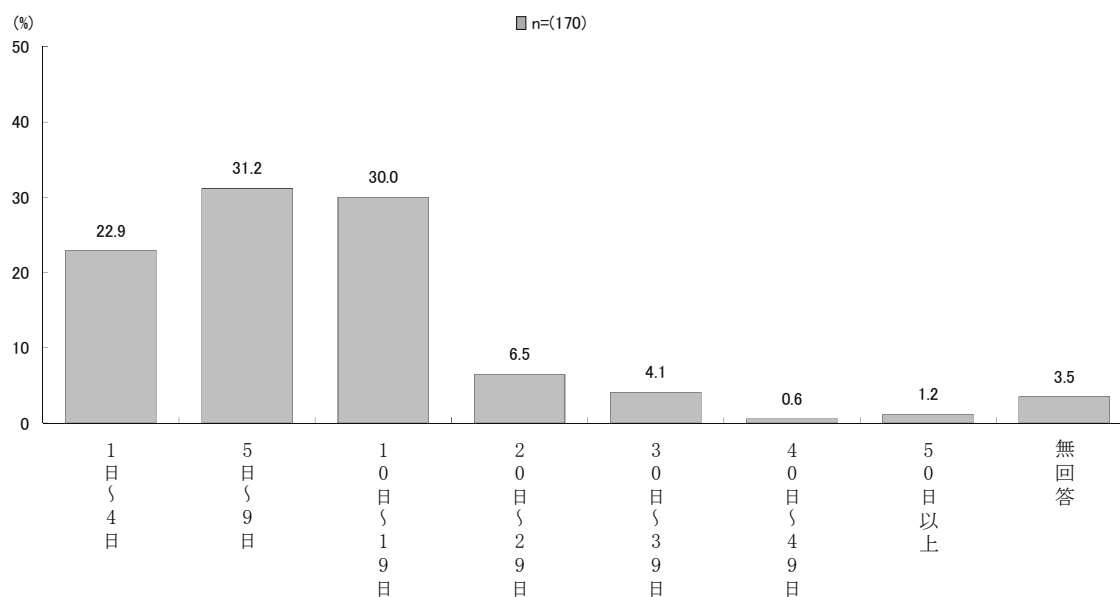
①利用希望

「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したかった」が46.6%、「利用したいとは思わない」が48.2%となっている。



②年間の利用希望日数

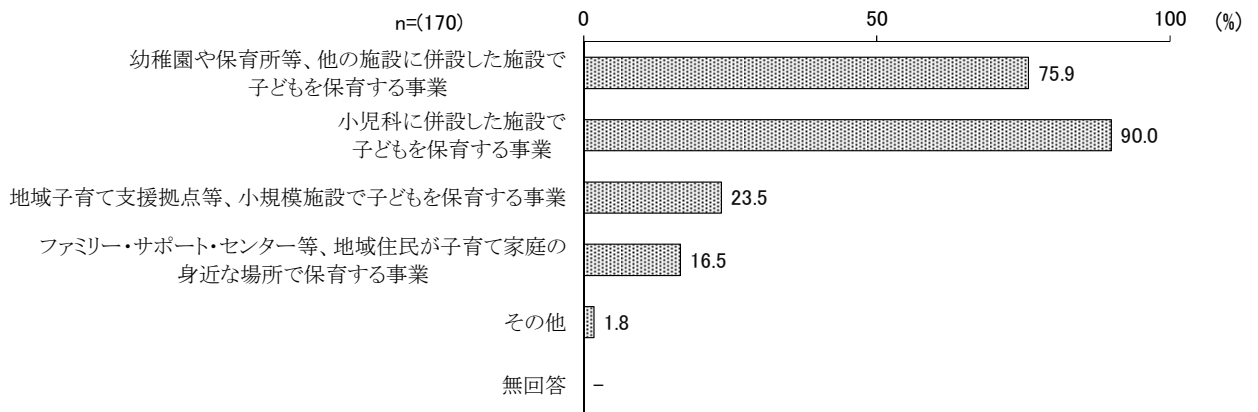
1年間に「5日～9日」が31.2%で最も高く、次いで「10日～19日」が30.0%となっている。



(4) 病児・病後児のための保育施設として望ましい事業形態

問2 1-3 問2 1-2で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したかった」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、その施設等は下記のいずれの事業形態が望ましいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

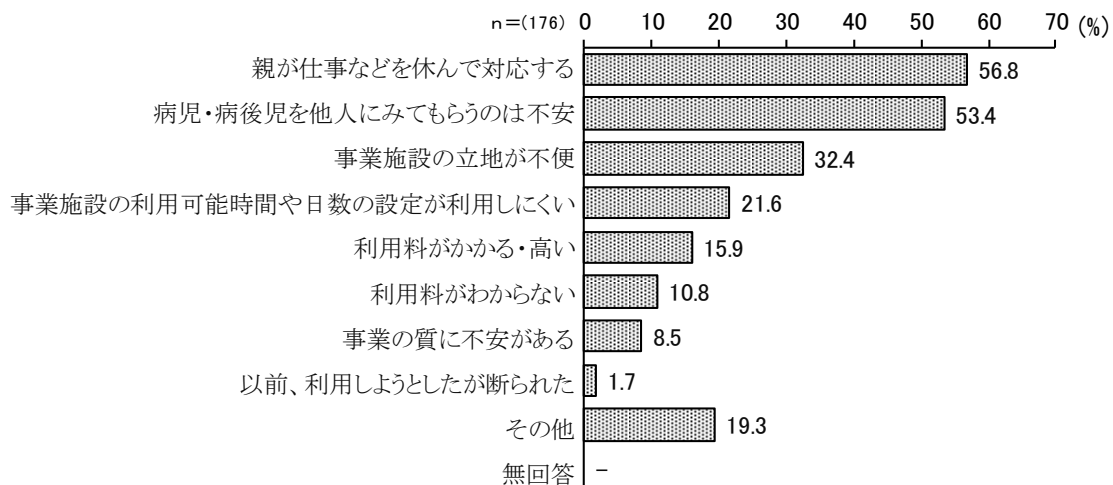
「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が90.0%で最も高く、次いで「幼稚園や保育所等、他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」が75.9%となっている。



(5) 病児・病後児のための保育施設を利用したいとは思わない理由

問2 1-4 問2 1-2で「利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「親が仕事などを休んで対応する」が56.8%で最も高く、次いで「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が53.4%となっている。



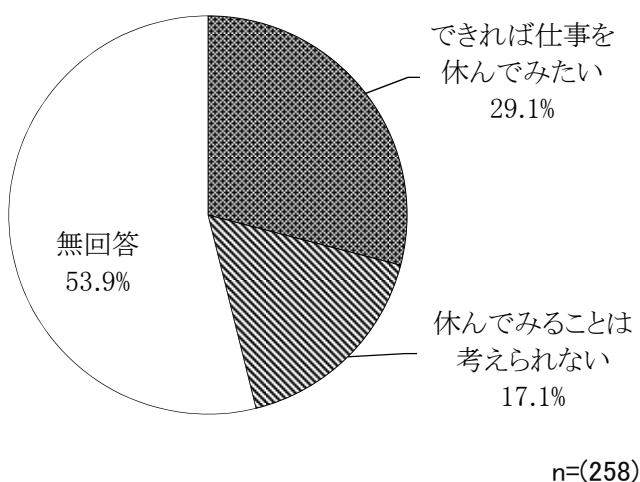
第2章 調査結果の詳細
1. 就学前児童保護者調査

(6) 父母のいずれかが仕事を休んで看護する希望

問2 1-5 問2 1-1で「ウ.」から「ケ.」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んでみたい」と思いましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、希望日数についても口内に数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。

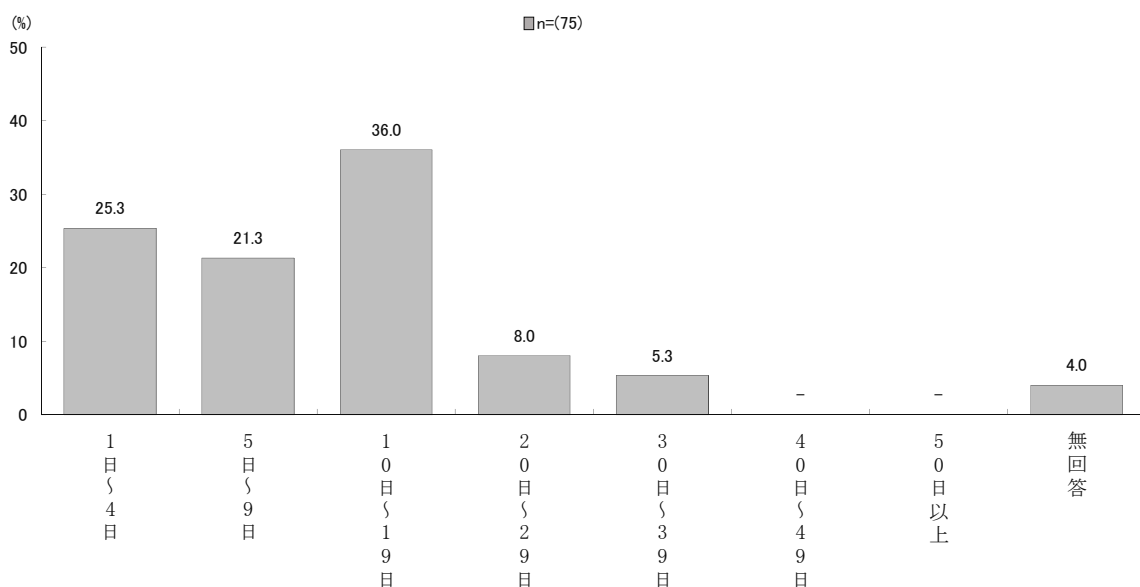
①希望の有無

「できれば仕事を休んでみたい」が29.1%、「休んでみることは考えられない」が17.1%となっている。



②年間の希望日数

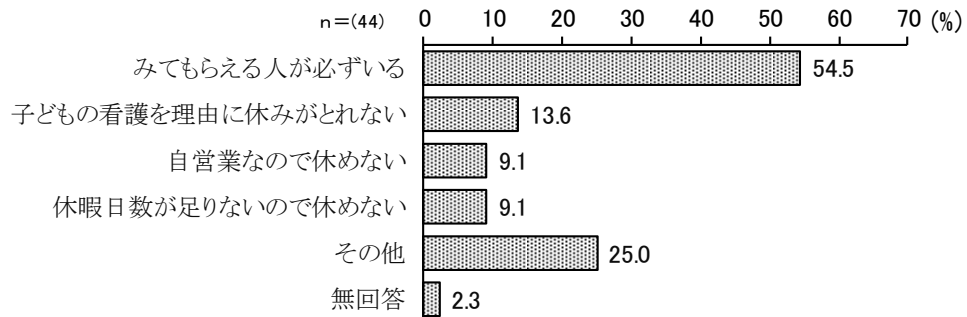
1年間に「10日～19日」が36.0%で最も高く、次いで「1日～4日」が25.3%、「5日～9日」が21.3%となっている。



(7) 子どもを休んでみることは考えられない理由

問2 1-6 問2 1-5で「休んでみることは考えられない」に○をつけた方にうかがいます。
そう思う理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「みてもらえる人が必ずいる」が54.5%で最も高くなっている。



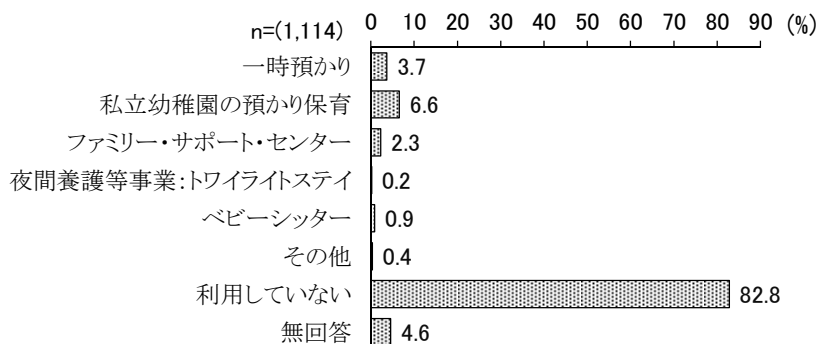
8. 不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりの利用状況

(1) 不特定の教育・保育事業の利用状況

問22 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。ない場合は「7. 利用していない」に○をつけてください。

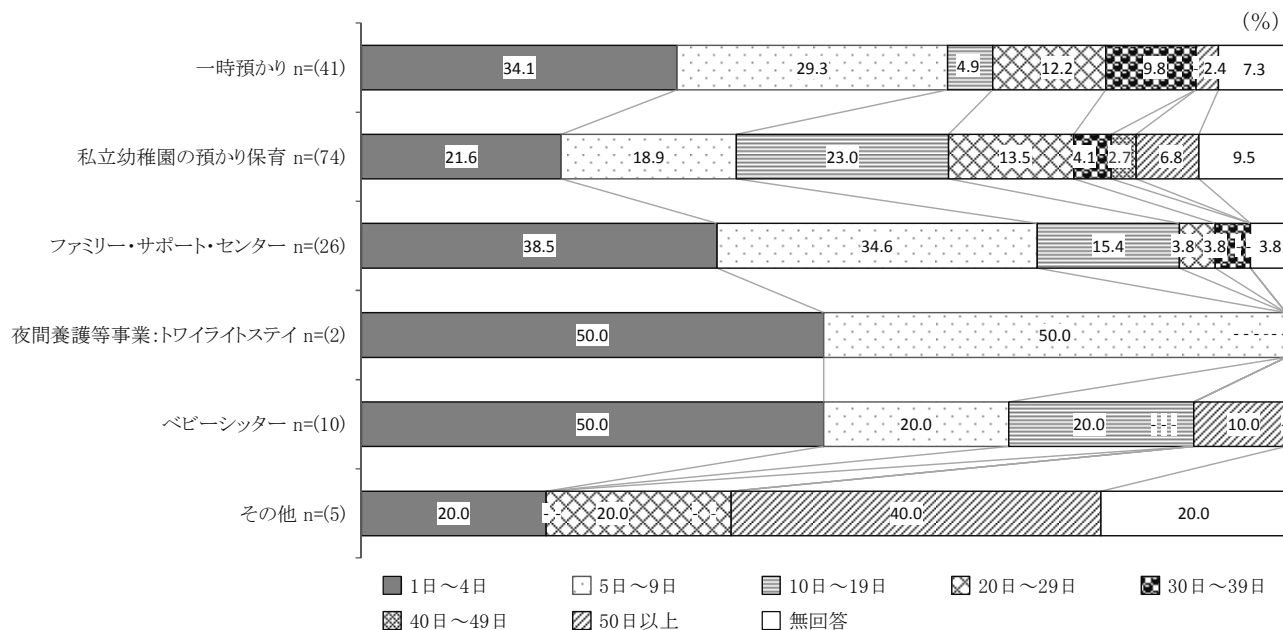
①利用状況

「私立幼稚園の預かり保育」が6.6%、「一時預かり」が3.7%となっている。
一方、「利用していない」は82.8%となっている。



②事業別年間の利用日数

私立幼稚園の預かり保育では、1年間に19日までの利用が合わせて63.5%と6割を超えている。

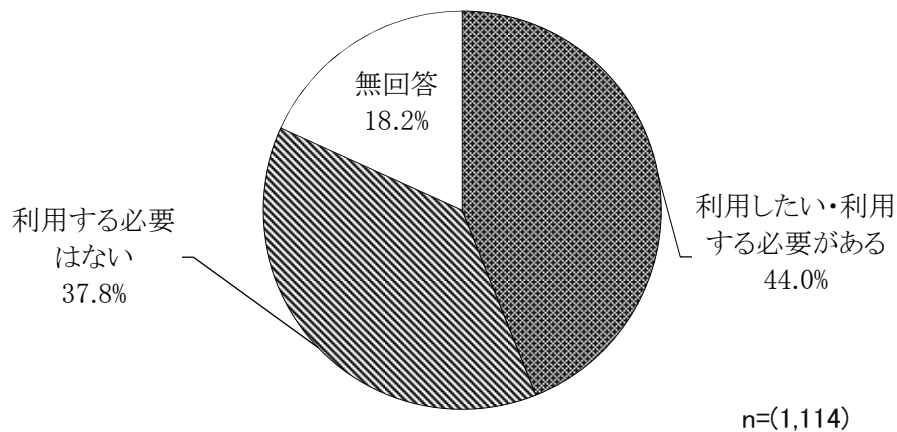


(2) 不定期の教育・保育事業の利用希望

問23 宛名のお子さんに関して、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する機会が必要だと思いますか。利用希望の有無と目的について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。利用する必要がない場合は「2. 利用する必要はない」に○をつけ、問24にお進みください。

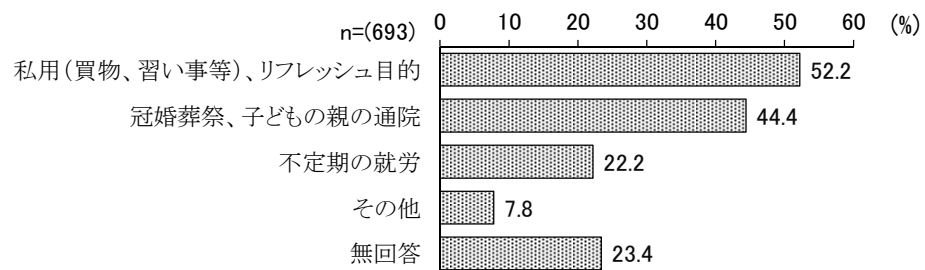
①利用希望

「利用したい・利用する必要がある」が44.0%、「利用する必要はない」が37.8%となっている。



②利用目的

「私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的」が52.2%で最も高く、次いで「冠婚葬祭、子どもの親の通院」が44.4%となっている。

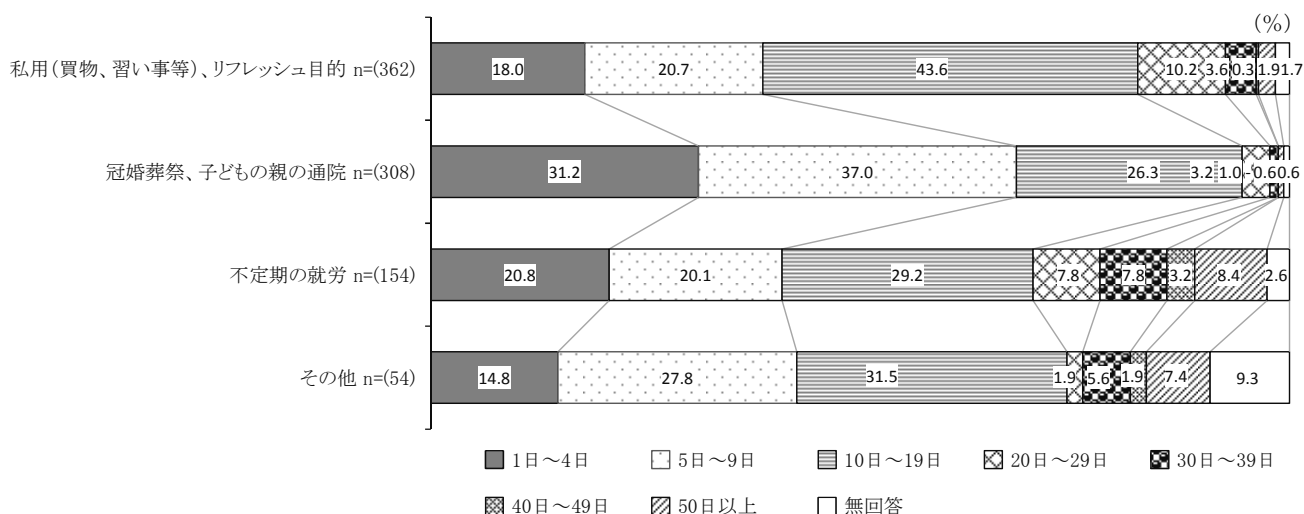


第2章 調査結果の詳細

1. 就学前児童保護者調査

③目的別年間の利用希望日数

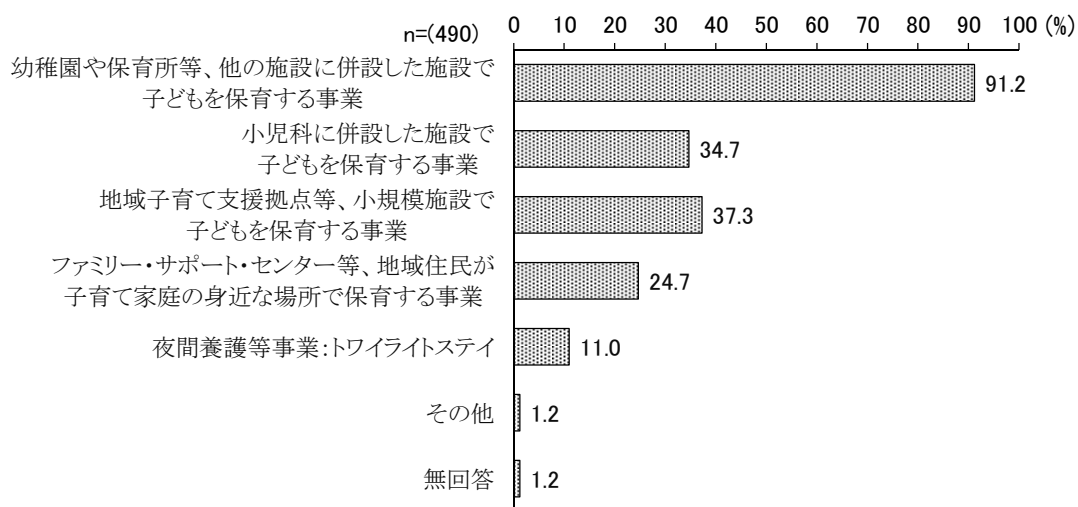
1年間に「10～19日」は私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的で43.6%と最も高くなっている。



(3) 不定期の教育・保育事業の望ましい事業形態

問23-1 問23で「1. 利用したい・利用する必要がある」に○をつけた方にうかがいます。
 問23の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「幼稚園や保育所等、他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」が91.2%で最も高くなっている。

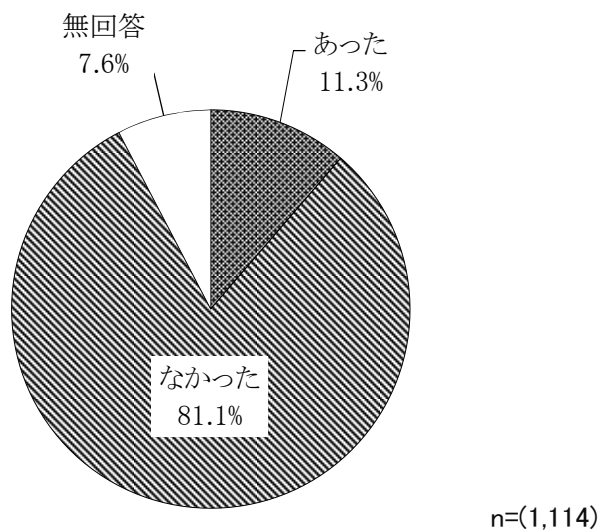


(4) 宿泊を伴う一時預かり

問24 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含まれます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

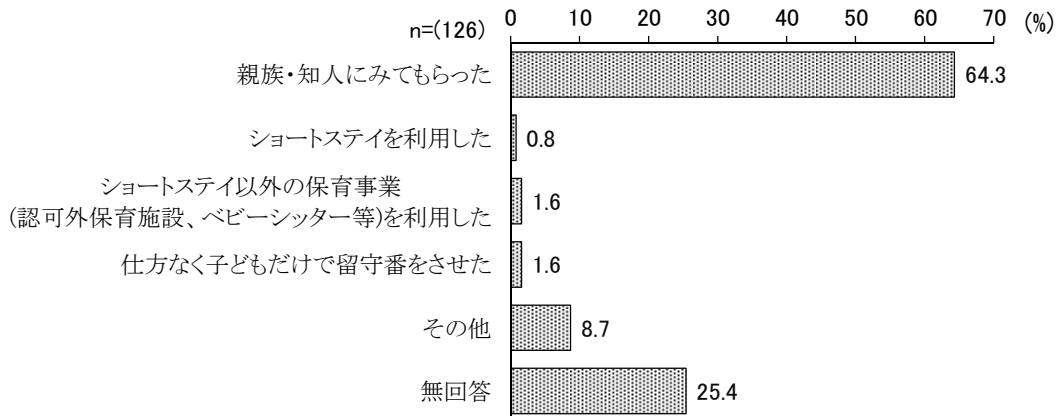
① 宿泊を伴う一時預かりの有無

「あった」が11.3%、「なかった」が81.1%となっている。



② 対処方法

「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」が64.3%で最も高くなっている。

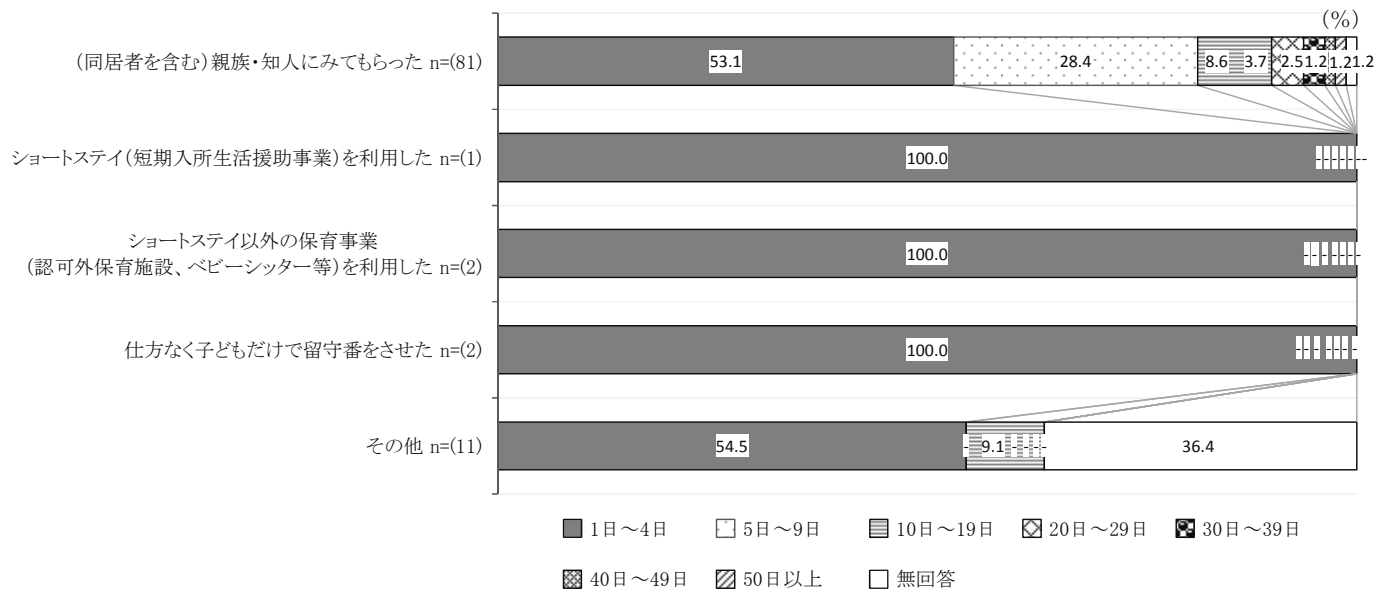


第2章 調査結果の詳細

1. 就学前児童保護者調査

③ 対処方法別年間の利用日数

「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」では1年間に「1日～4日」は53.1%となっている。



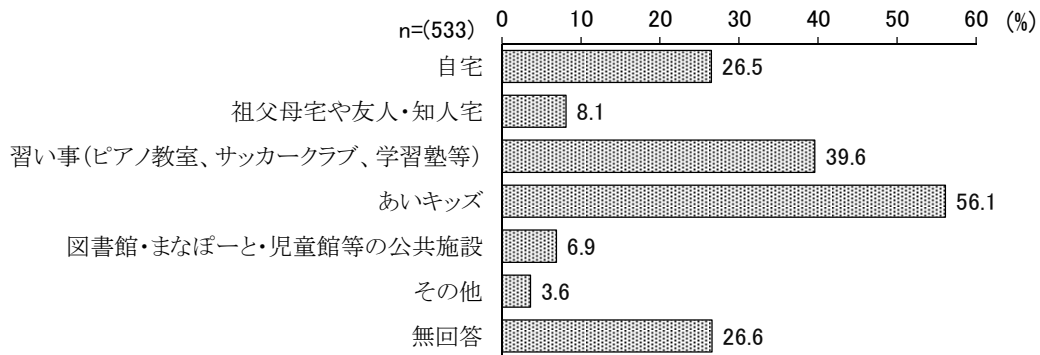
9. 小学校就学後の休日や放課後の過ごし方

(1) 子どもの放課後の過ごし方

問25 宛名のお子さんについて、小学校入学以降、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「あいキッズ」の場合には、利用を希望する時間も数字でご記入ください。時間は必ず24時間制（例：17時）でご記入ください（数字は一枠に一字）。

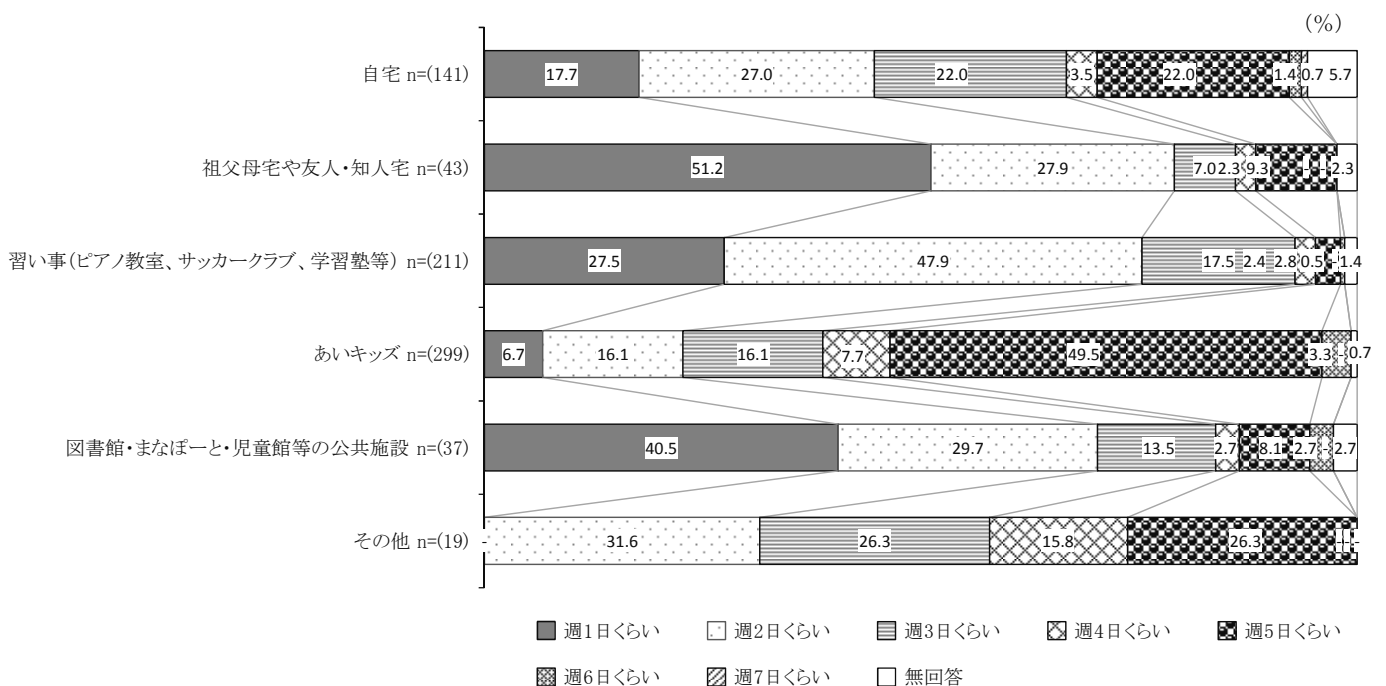
① 過ごさせたい場所

「あいキッズ」が56.1%で最も高くなっている。



② 場所別希望利用日数

あいキッズでは「週5日くらい」が49.5%となっている。

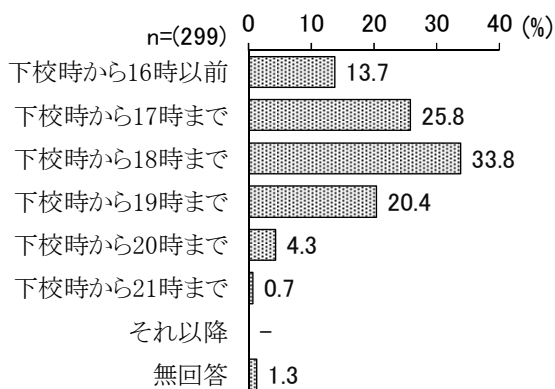


第2章 調査結果の詳細

1. 就学前児童保護者調査

③ あいキッズの利用希望時間

「下校から18時まで」が33.8%で最も高く、次いで「下校から17時まで」が25.8%となっている。

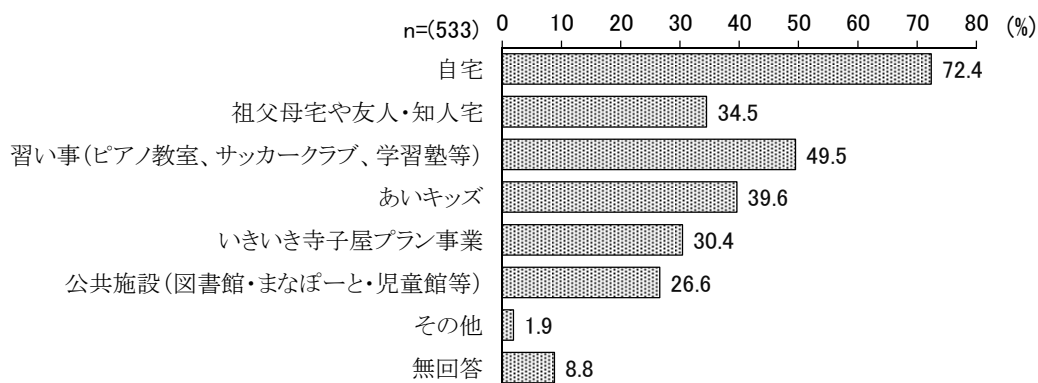


(2) 子どもの休日の過ごし方

問26 宛名のお子さんの小学校入学以降、土曜日と日曜・祝日や夏休みなどの長期の休暇期間中に、どのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

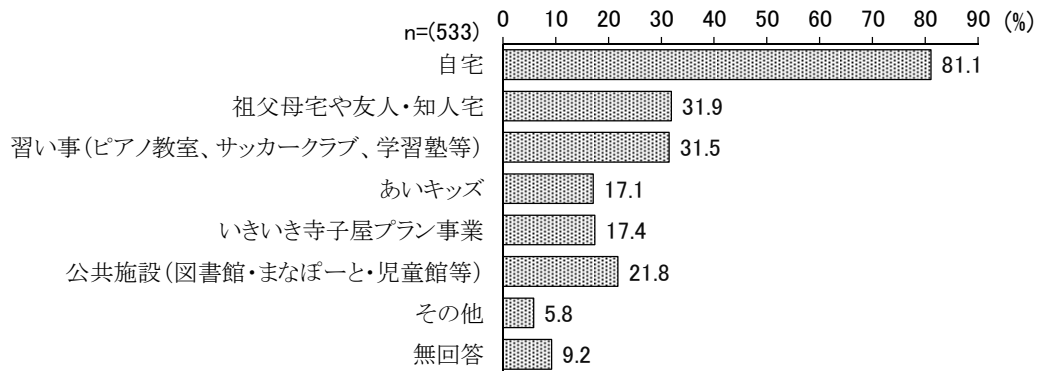
① 土曜日に過ごさせたい場所

「自宅」が72.4%で最も高く、次いで「習い事」が49.5%、「あいキッズ」が39.6%、「いきいき寺子屋プラン事業」が30.4%などとなっている。



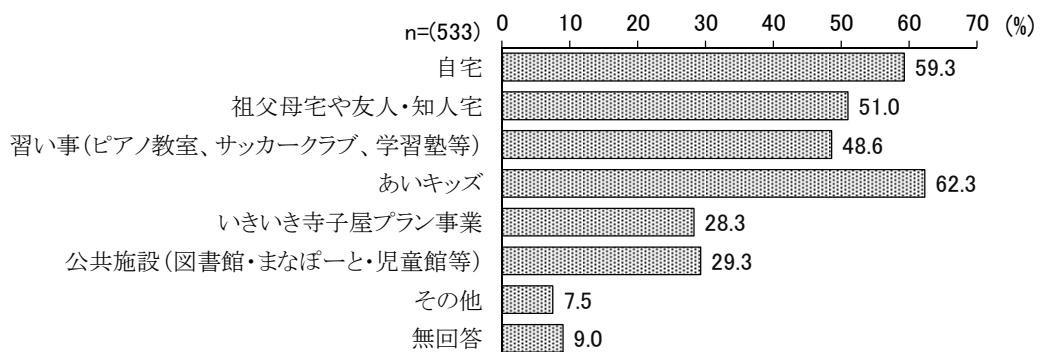
②日曜・祝日に過ごさせたい場所

「自宅」が81.1%で最も高くなっている。



③長期の休暇期間中に過ごさせたい場所

「あいキッズ」が62.3%で最も高く、次いで「自宅」が59.3%、「祖父母宅や友人・知人宅」が51.0%などとなっている。



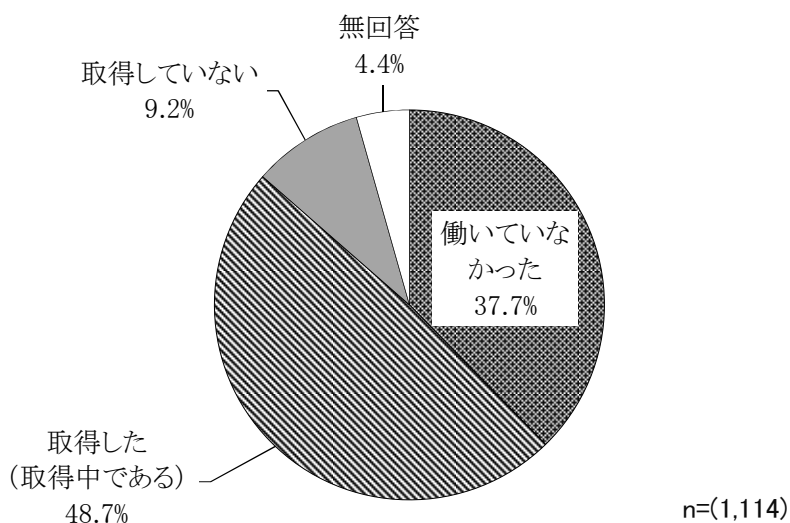
10. 子育てと職場の両立支援制度

(1) 母親の育児休業取得状況

問27 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由を7つまで数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

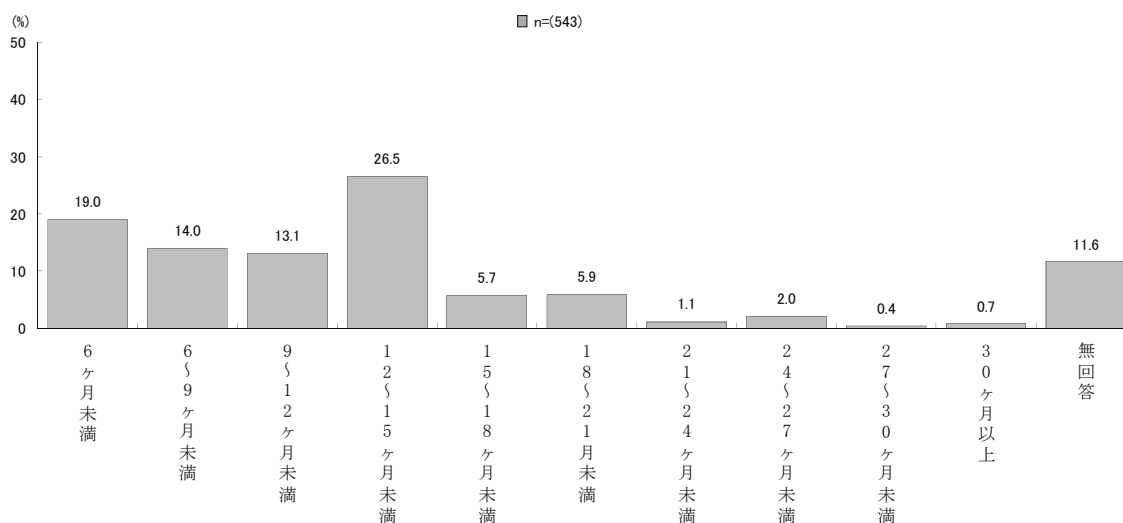
①育児休業取得状況

「働いていなかった」が37.7%、「取得した（取得中である）」が48.7%、「取得していない」が9.2%となっている。



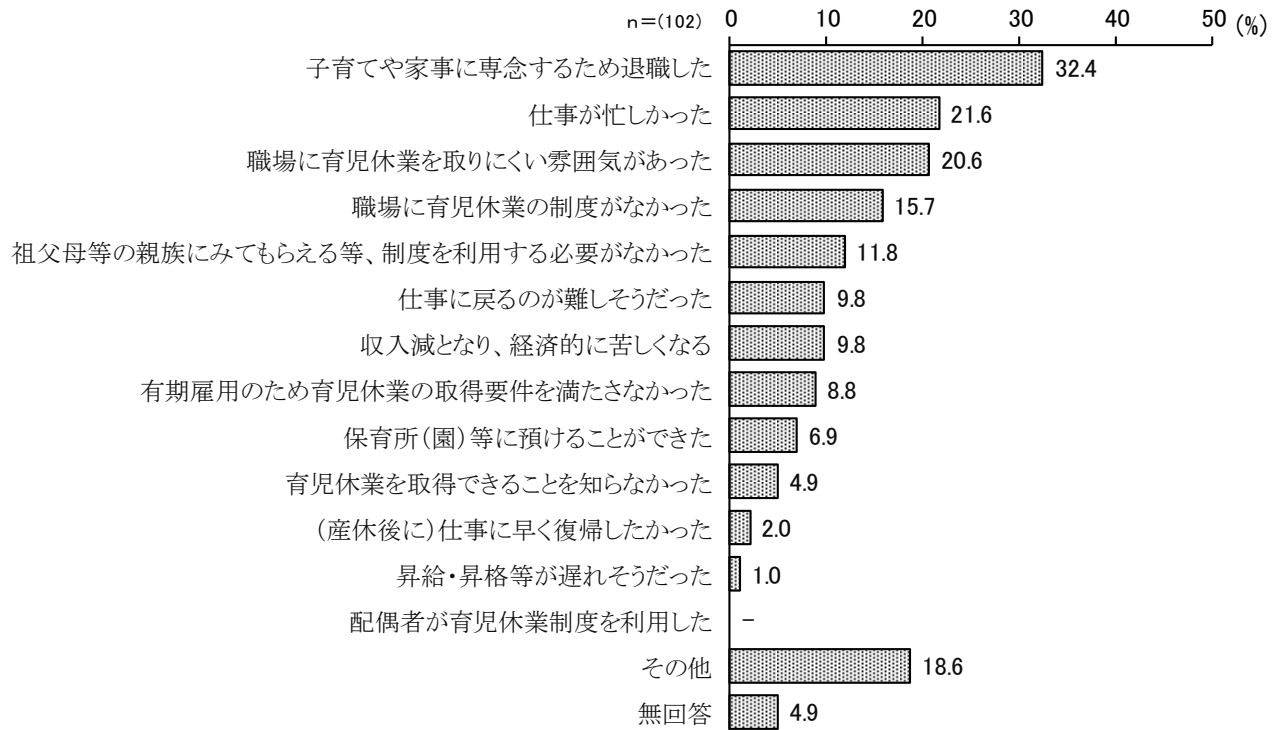
②取得期間

「12～15ヶ月未満」が26.5%で最も高く、次いで「6ヶ月未満」が19.0%、「6～9ヶ月未満」が14.0%、「9～12ヶ月未満」が13.1%となっている。



③取得していない理由

「子育てや家事に専念するため退職した」が32.4%で最も高く、次いで「仕事が忙しかった」が21.6%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が20.6%などとなっている。



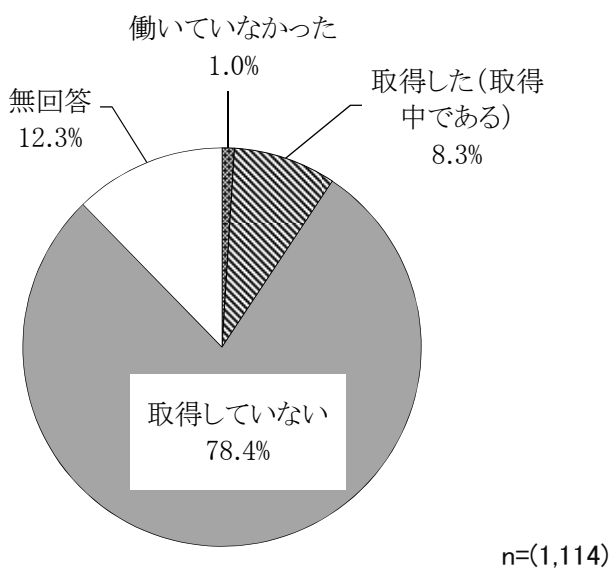
第2章 調査結果の詳細
1. 就学前児童保護者調査

(2) 父親の育児休業取得状況

問27 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由を7つまで数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

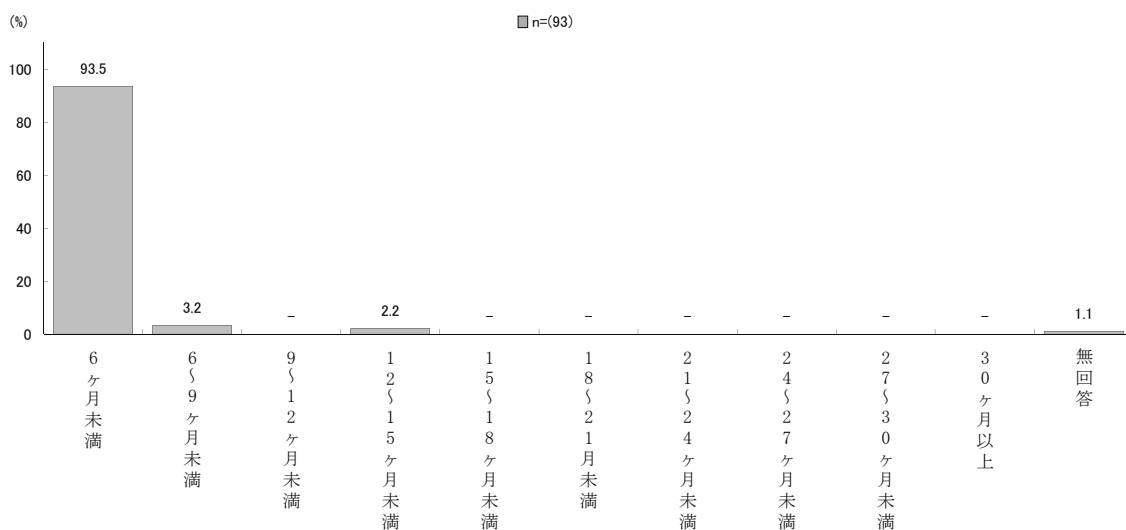
①育児休業取得状況

「取得していない」が78.4%で最も高くなっている。



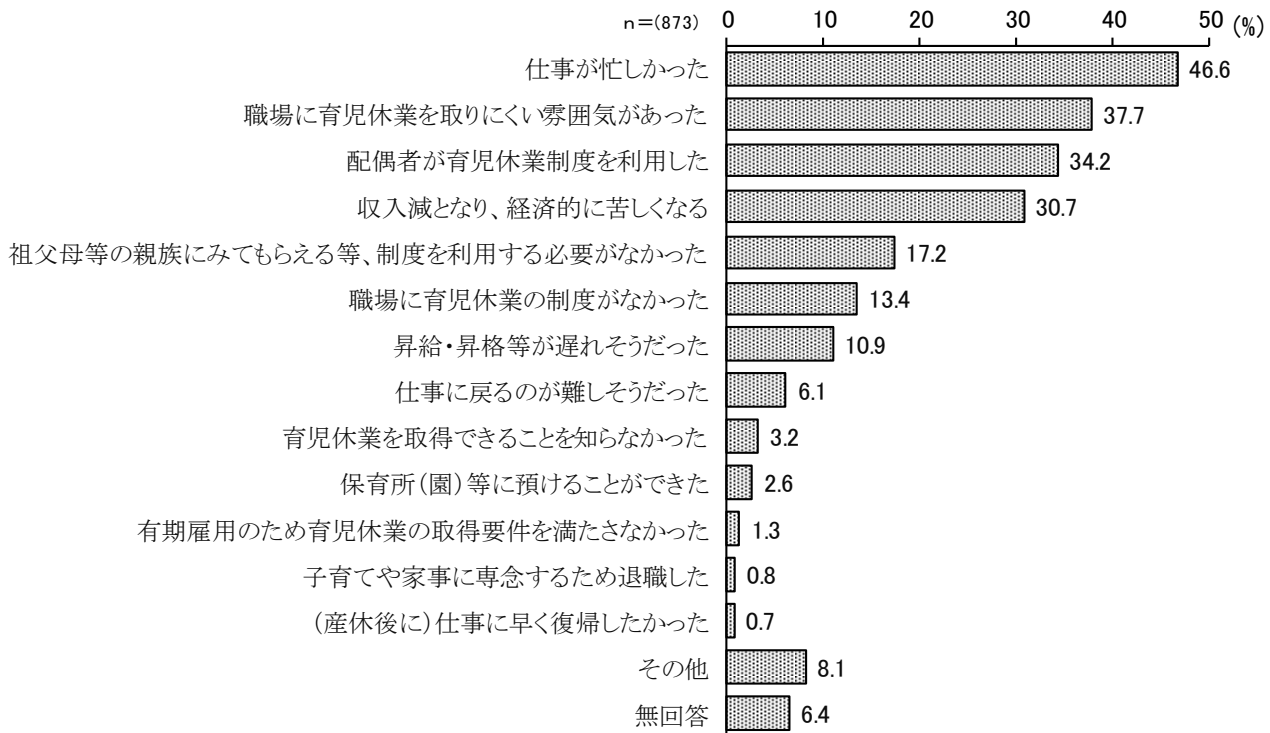
②取得期間

「6ヶ月未満」が93.5%で最も高くなっている。



③取得していない理由

「仕事が忙しかった」が46.6%で最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が37.7%、「配偶者が育児休業制度を利用した」が34.2%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が30.7%などとなっている。

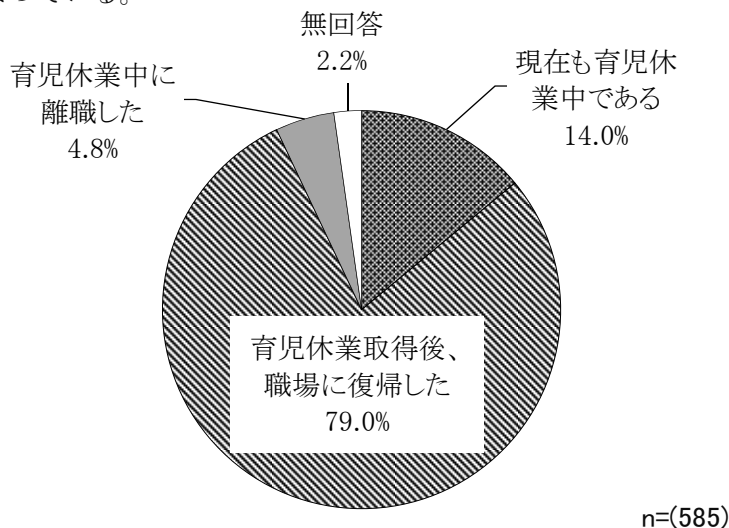


第2章 調査結果の詳細
1. 就学前児童保護者調査

(3) 育児休業取得後の職場復帰

問27-1 問27で「2. 取得した(取得中である)」と回答した方にうかがいます。
育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

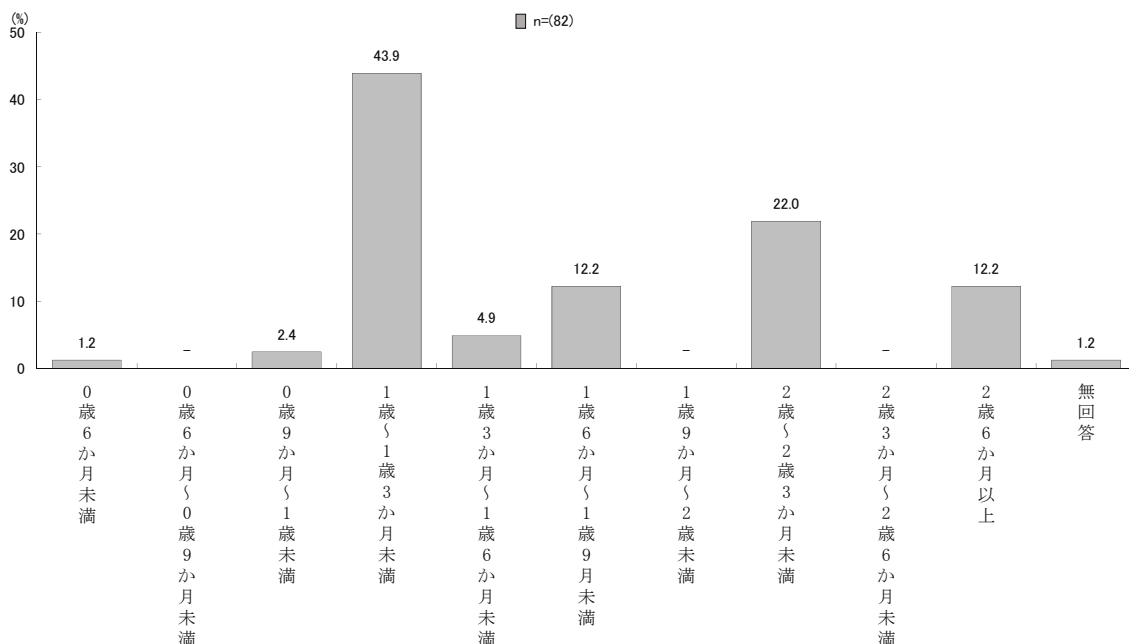
「現在も育児休業中である」が14.0%、「育児休業取得後、職場に復帰した」が79.0%、「育児休業中に離職した」が4.8%となっている。



(4) 育児休業の希望取得期間

問27-2 問27-1で「1. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。希望する時期に必ずお子さんを預けられる事業があった場合、宛名のお子さんが何歳何ヶ月のときまで育児休業を取得しますか。お勤め先の育児休業制度の期間内で、□内に数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。

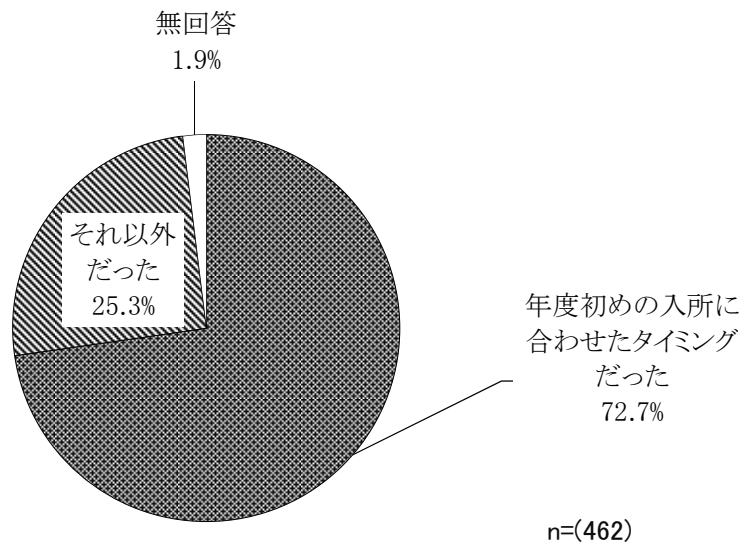
「1歳～1歳3ヶ月未満」が43.9%で最も高くなっている。



(5) 職場復帰のタイミング

問27-3 問27-1で「2. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。

「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が72.7%となっている。



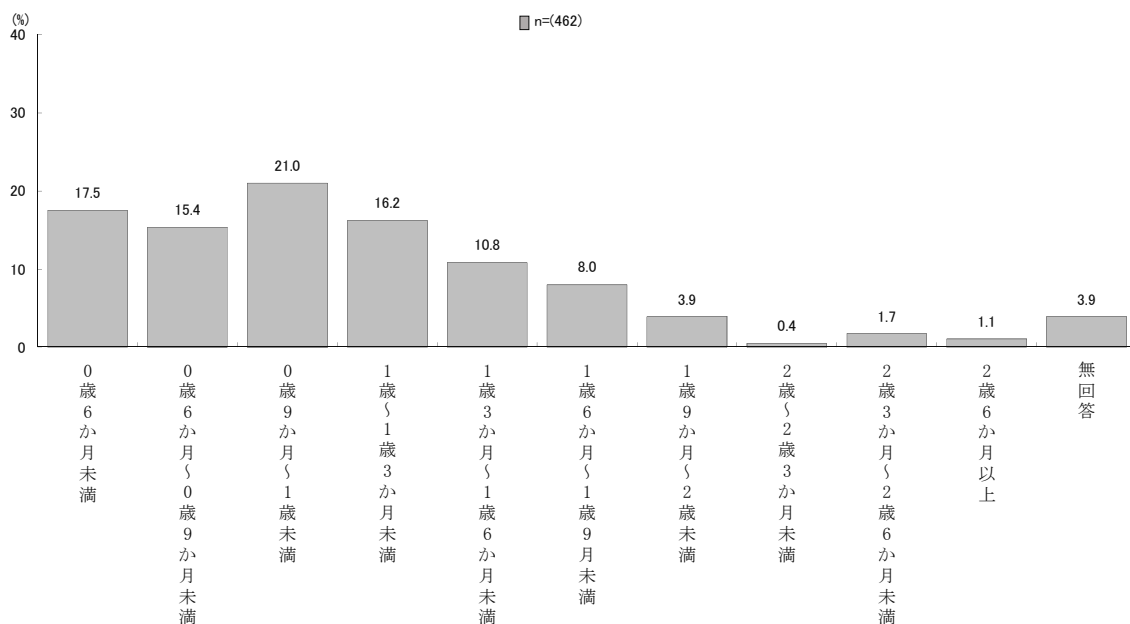
第2章 調査結果の詳細
1. 就学前児童保護者調査

(6) 職場復帰時の子どもの年齢

問27-4 問27-1で「2. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

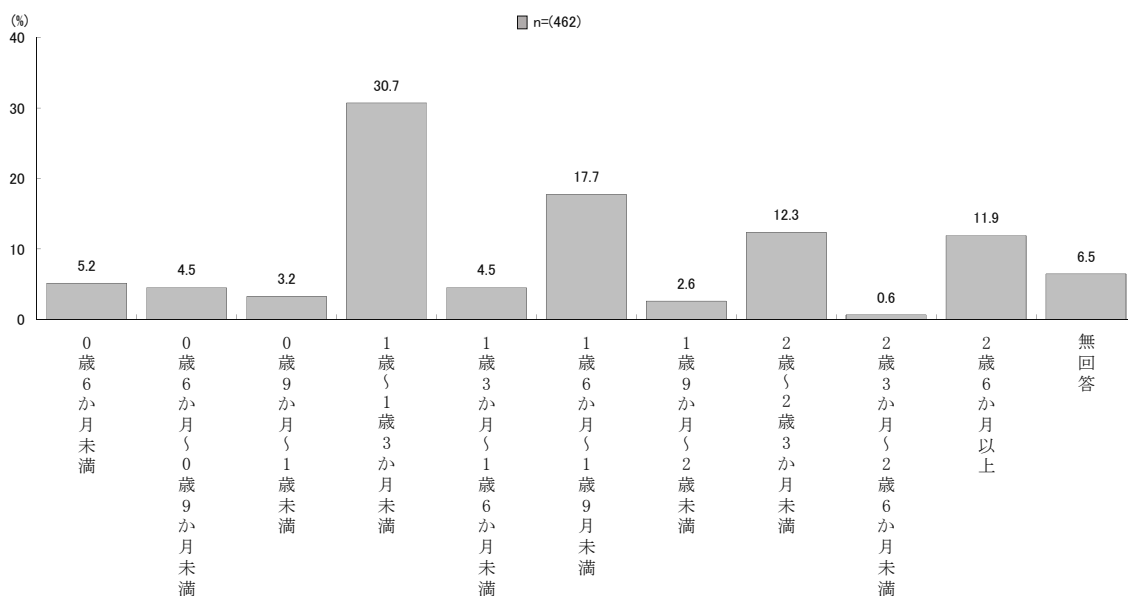
①実際の取得期間

「0歳9ヶ月～1歳未満」が21.0%で最も高く、次いで「0歳6ヶ月未満」が17.5%、「1歳～1歳3ヶ月未満」が16.2%などとなっている。



②希望する取得期間

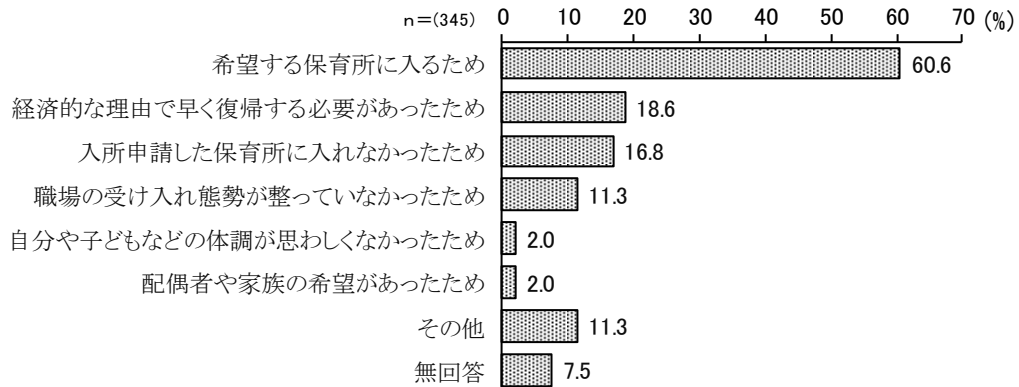
「1歳～1歳3ヶ月未満」が30.7%で最も高く、次いで「1歳6ヶ月～1歳9月未満」が17.7%となっている。



(7) 希望時期に職場復帰しなかった理由

問27-5 問27-4で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「希望する保育所に入るため」が60.6%で最も高くなっている。

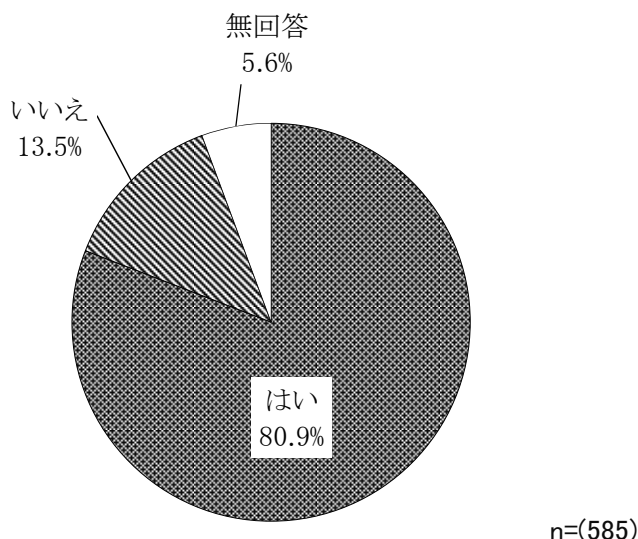


第2章 調査結果の詳細
1. 就学前児童保護者調査

(8) 育児休業を取得した人の育児給付金受給状況

問27で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。
問28 育児休業給付金の支給を受けましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

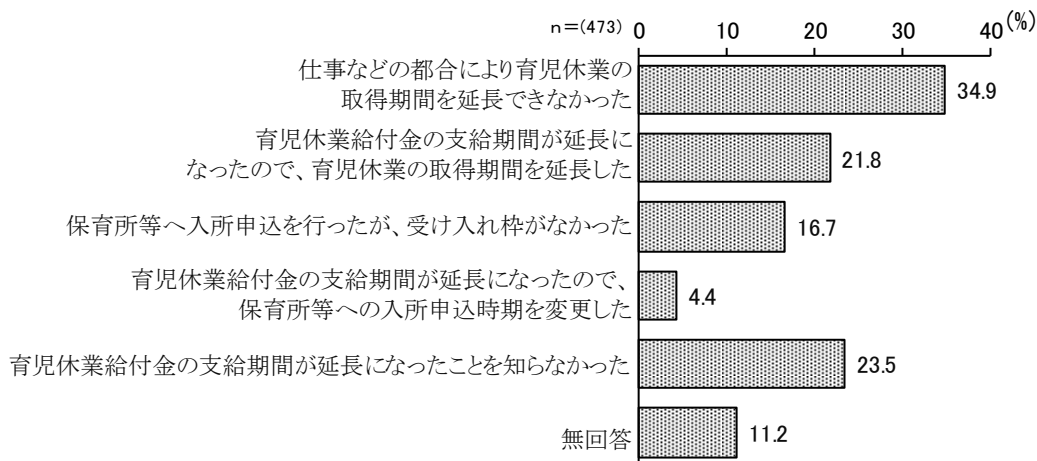
「はい」が80.9%となっている。



(9) 育児休業中の状況

問28-1 問28で「1. はい」に○をつけた方にうかがいます。次の中から、あなたの育児休業中の状況に近い番号をすべて選んで○をつけてください。

「仕事などの都合により育児休業の取得期間を延長できなかった」が34.9%で最も高く、次いで「育児休業給付金の支給期間が延長になったことを知らなかった」が23.5%「育児休業給付金の支給期間が延長になったので、育児休業の取得期間を延長した」が21.8%となっている。

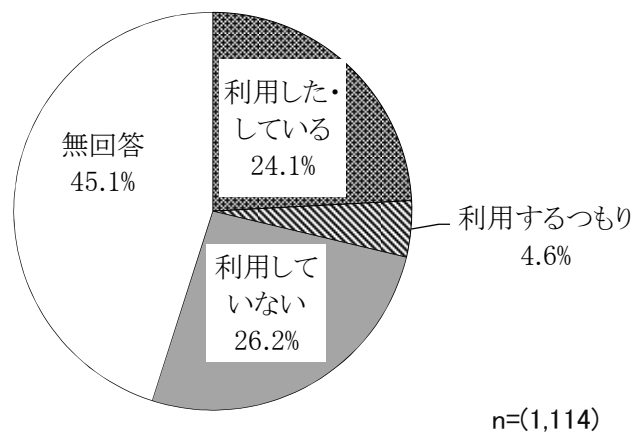


(10) 母親の短時間勤務制度の利用状況

問29 宛名のお子さんについて、父母のいずれかもしくは双方が短時間勤務制度を利用しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、利用していない方は当てはまる理由を7つまで数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

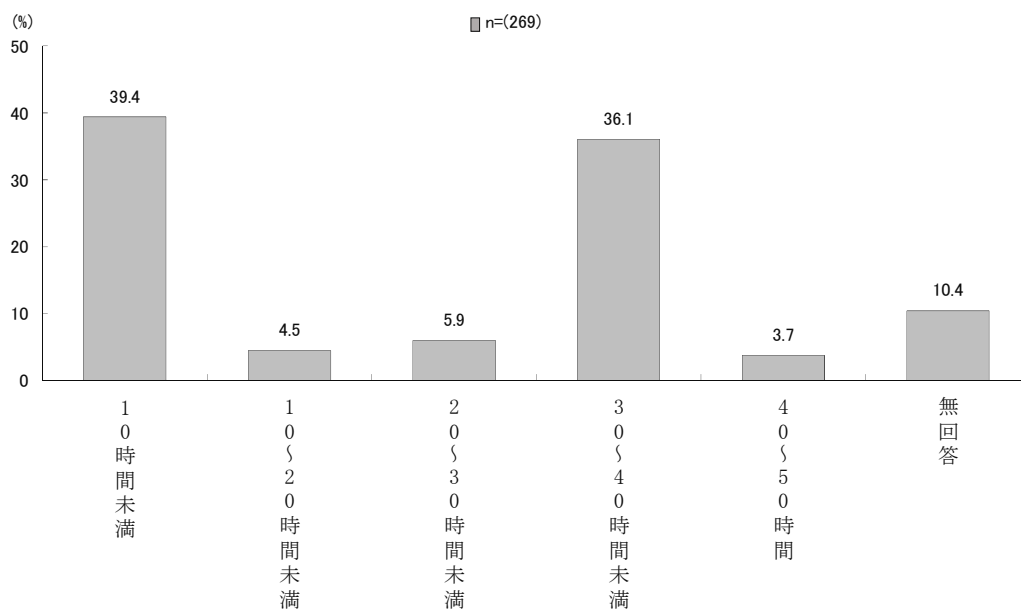
①利用状況

「利用した・している」が24.1%、「利用するつもり」が4.6%、「利用していない」が26.2%となっている。



②1週当たりの勤務時間

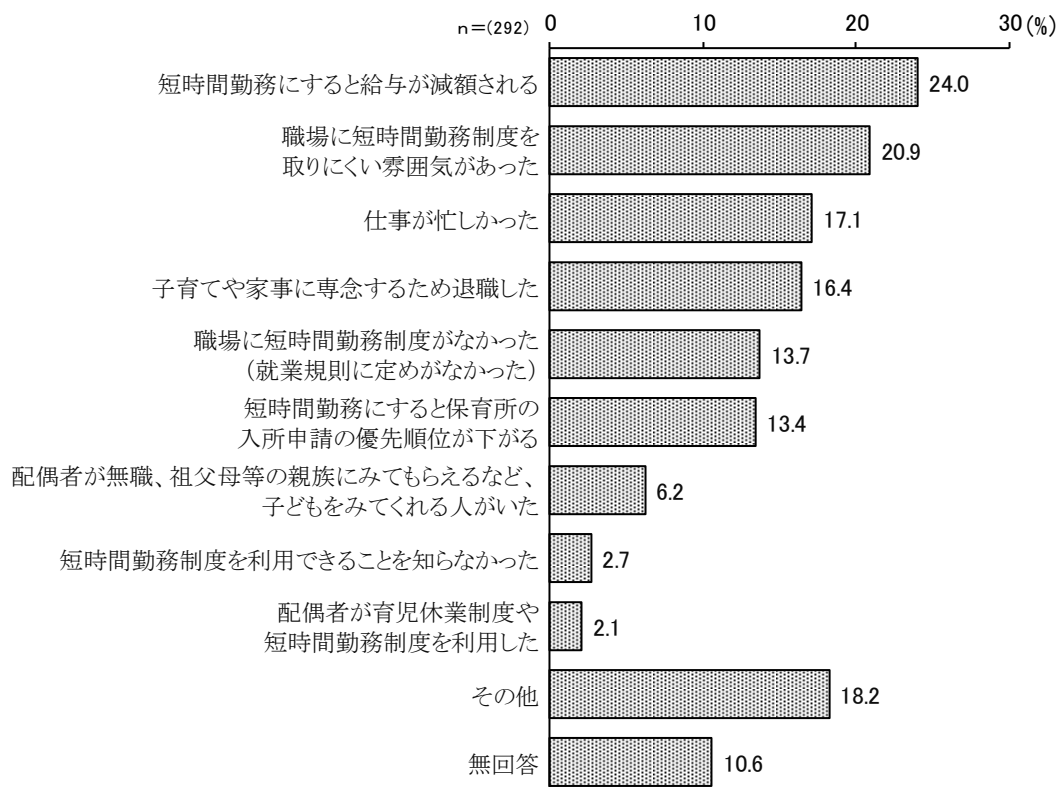
「10時間未満」が39.4%で最も高く、次いで「30～40時間未満」が36.1%となっている。



第2章 調査結果の詳細
1. 就学前児童保護者調査

③利用していない理由

「短時間勤務にすると給与が減額される」が24.0%で最も高くなっている。

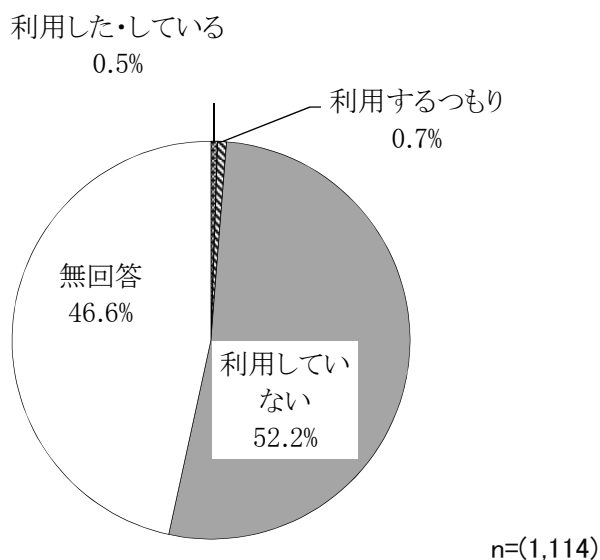


(11) 父親の短時間勤務制度の利用状況

問29 宛名のお子さんについて、父母のいずれかもしくは双方が短時間勤務制度を利用しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、利用していない方は当てはまる理由を7つまで数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

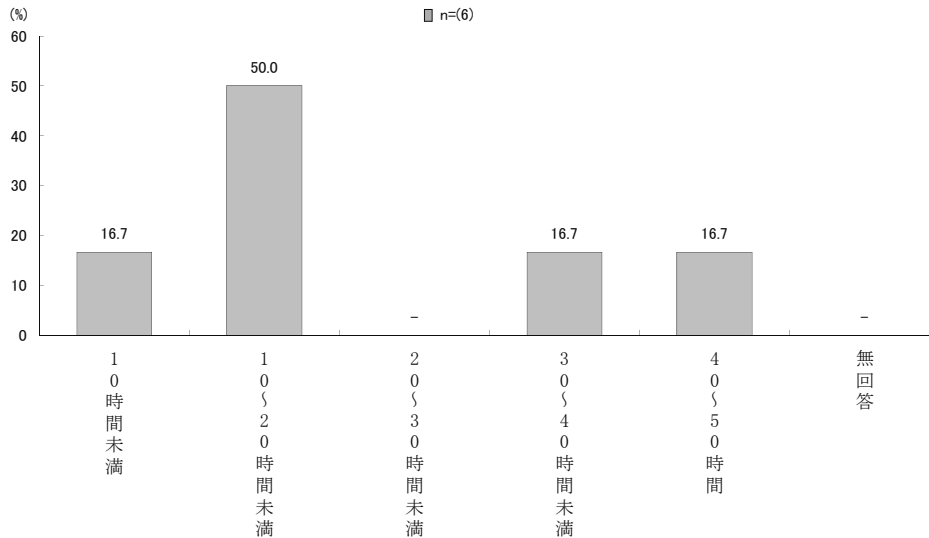
①利用状況

「利用していない」が52.2%となっている。



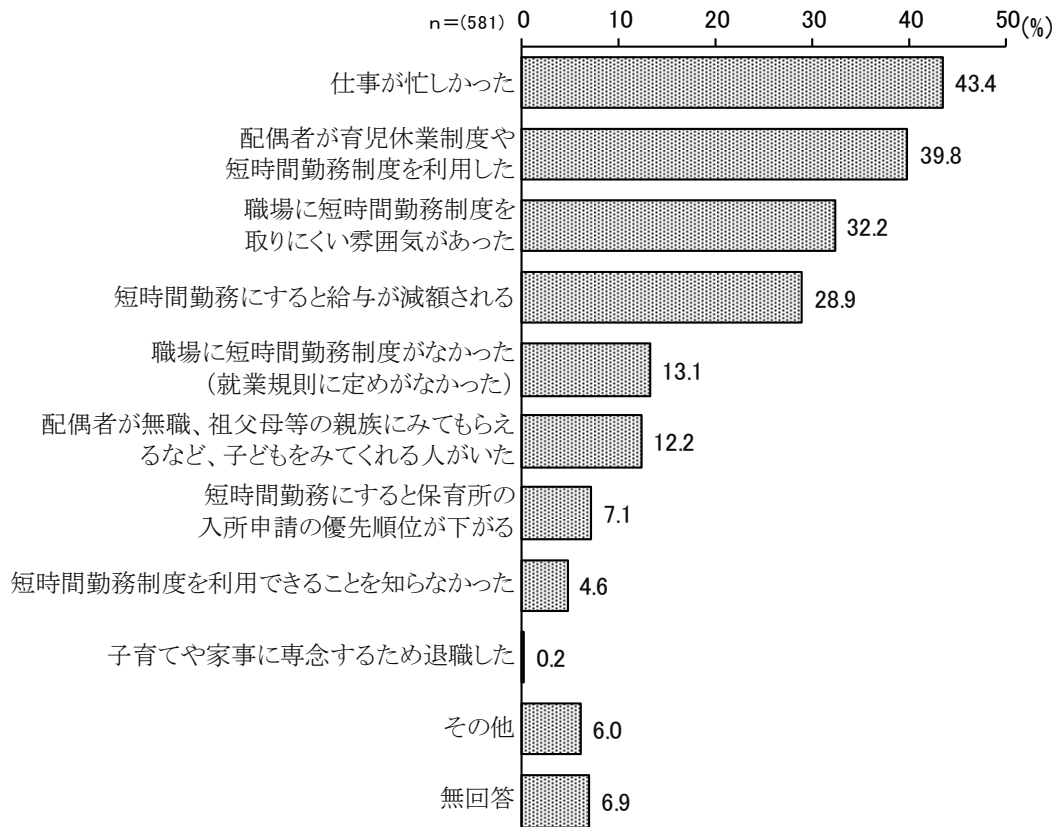
② 1週当たりの勤務時間

「10～20時間未満」が50.0%となっている。



③利用していない理由

「仕事が忙しかった」が43.4%で最も高く、次いで「配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した」が39.8%、「職場に短時間勤務制度を利用しにくい雰囲気があった」が32.2%などとなっている。

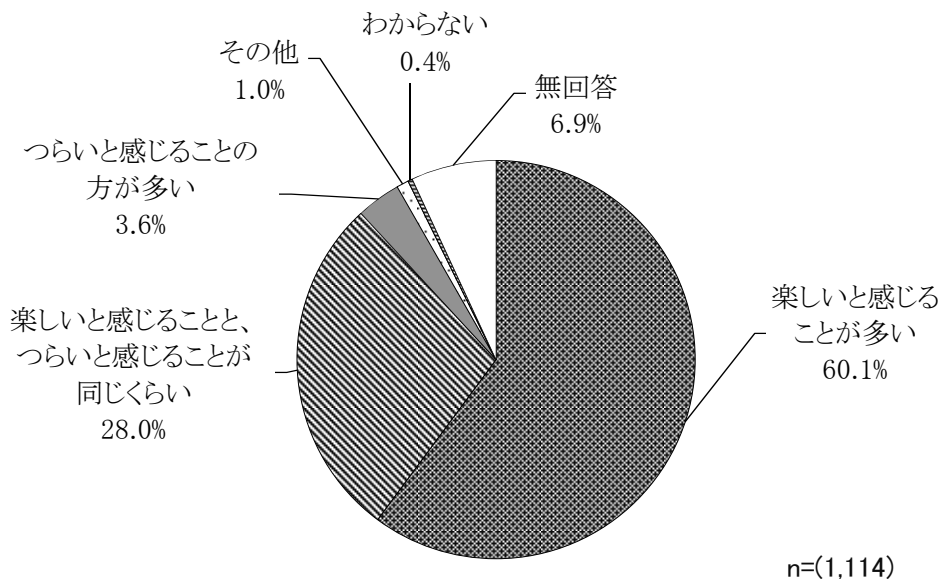


1.1. 子育て全般について

(1) 子育てについて感じる事

問30 あなたは、自分にとって子育てを楽しいと感じることが多いと思いますか。それともつらいと感じることが多いと思いますか。もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

「楽しいと感じることが多い」が60.1%で最も高くなっている。

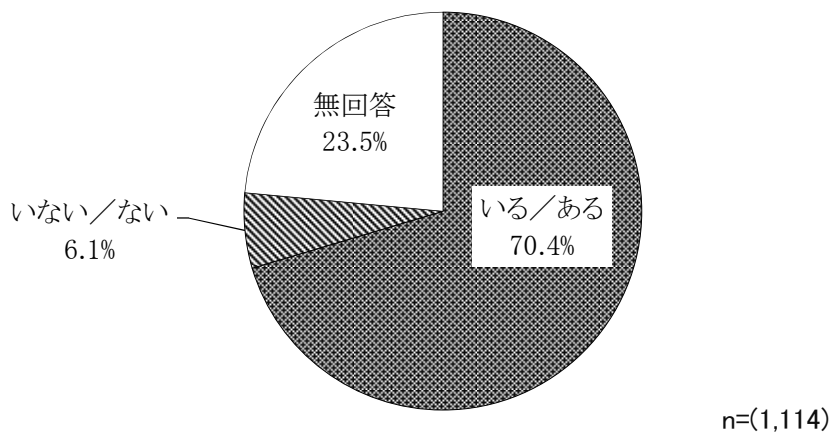


(2) 子育てをする上で、気軽に相談できる人や場所

問31 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人や相談できる場所がありますか。「1. いる／ある」と回答した方は、当てはまる記号すべてに○をつけてください。いない又はない場合は「2. いない／ない」に○をつけてください。

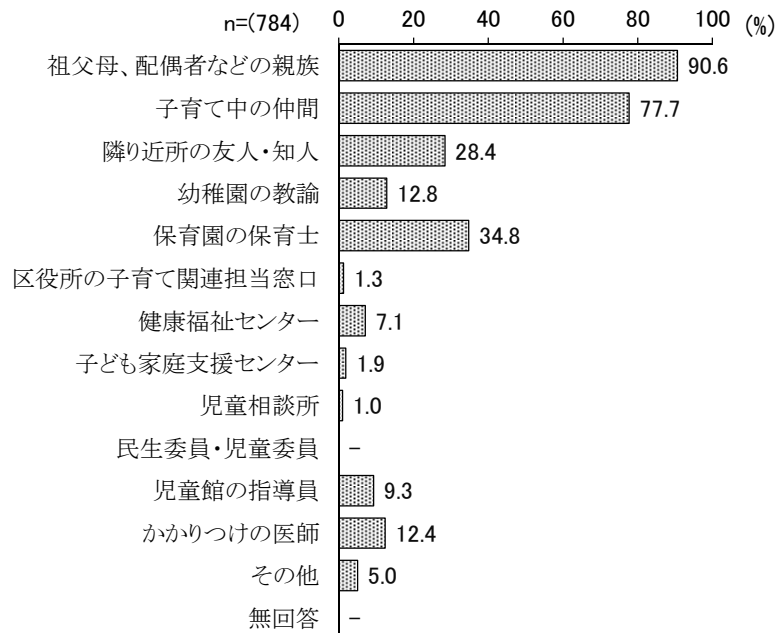
①相談先の有無

「いる／ある」が70.4%となっている。



②相談先

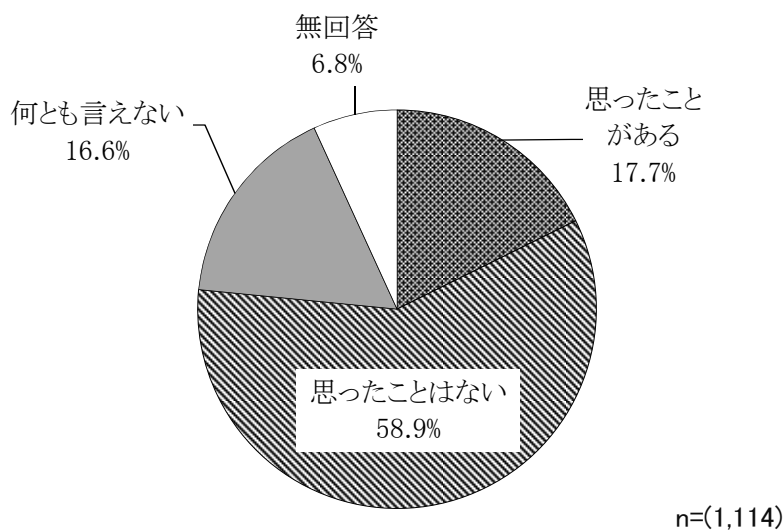
「祖父母、配偶者などの親族」が90.6%と最も高く、次いで「子育て中の仲間」77.7%、「保育園の保育士」が34.8%となっている。



(3) 子どもへの虐待に関する意識

問32 あなたは、子どもを虐待しているのではないかと思うことがありますか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

「思ったことがある」が17.7%、「思ったことはない」が58.9%、「何とも言えない」が16.6%となっている。

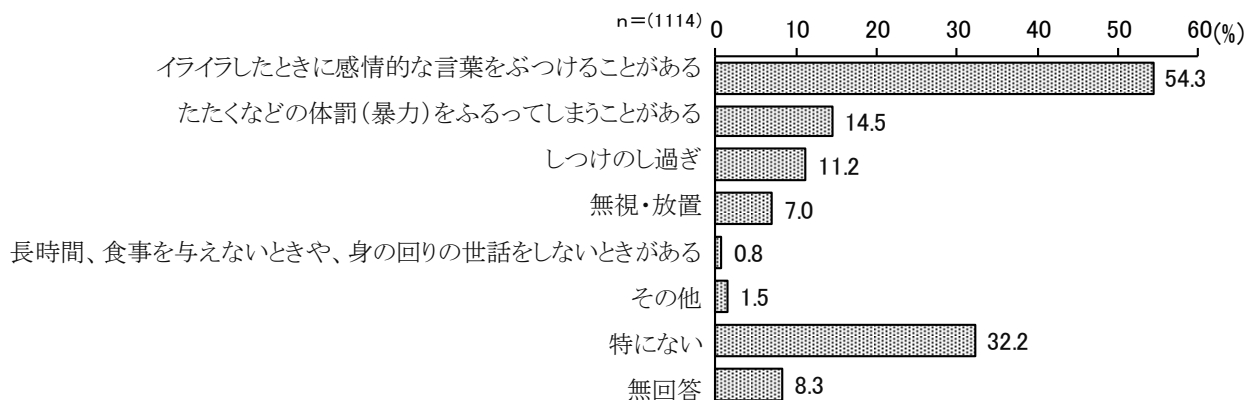


第2章 調査結果の詳細
1. 就学前児童保護者調査

(4) 子どもに対して無意識のうちに行っているかもしれないこと

問33 日頃、子どもに対して無意識のうちに行っているのではないかと思うことはありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

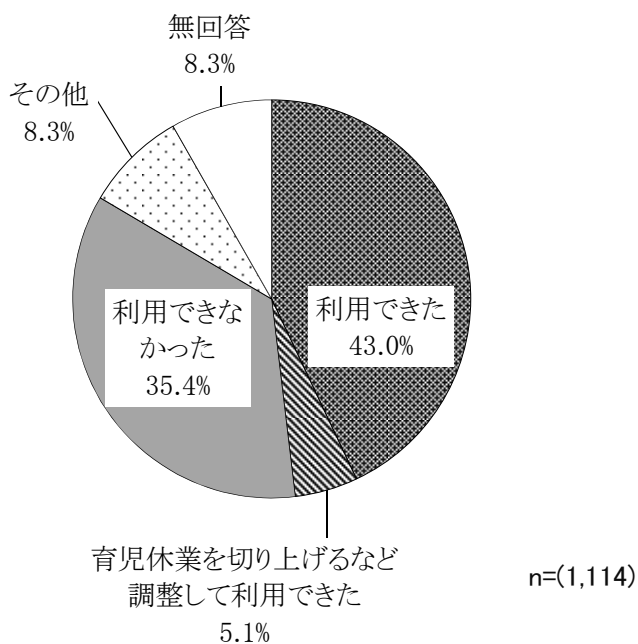
「イライラしたときに感情的な言葉をぶつけることがある」が54.3%で最も高くなっている。



(5) 希望どおりの子育て支援サービスの利用

問34 あなたは、希望した時期に、希望した子育て支援サービスを利用することができましたか。もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

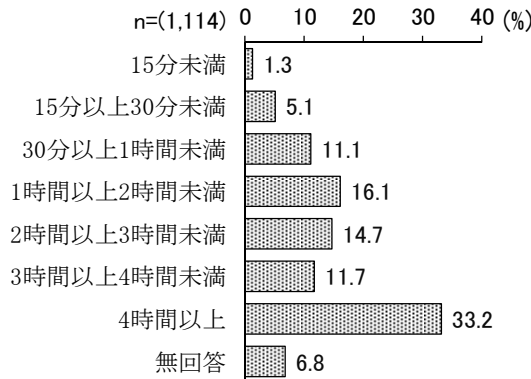
「利用できた」が43.0%、「育児休業を切り上げるなど調整して利用できた」が5.1%、「利用できなかった」が35.4%となっている。



(6) 子どもと接する時間

問35 平日にお子さんと一緒に何かをしたり、相手をしている時間は、平均するとだいたいどれくらいになりますか。もっとも近い番号1つに○をつけてください。

「4時間以上」が33.2%、「1時間以上2時間未満」が16.1%、「2時間以上3時間未満」が14.7%となっている。

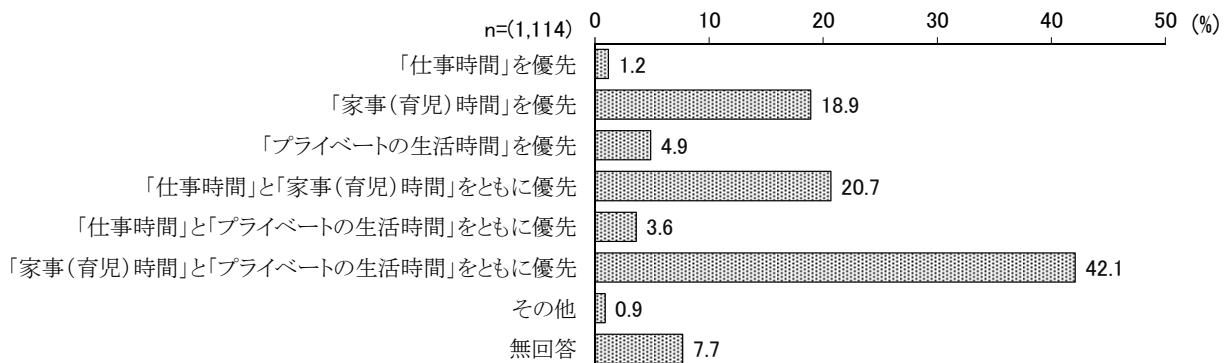


(7) 仕事、家庭、プライベートの優先度

問36 あなたの生活の中で、「仕事時間」と「家事（育児）時間」「プライベートの生活時間」の優先度についてうかがいます。(1)「希望」と(2)「現実」について、もっとも当てはまるものを回答欄の中からそれぞれ1つ選んで○をつけてください。
※現在、仕事をしていない方は、今後のお考えをお答えください。

①希望

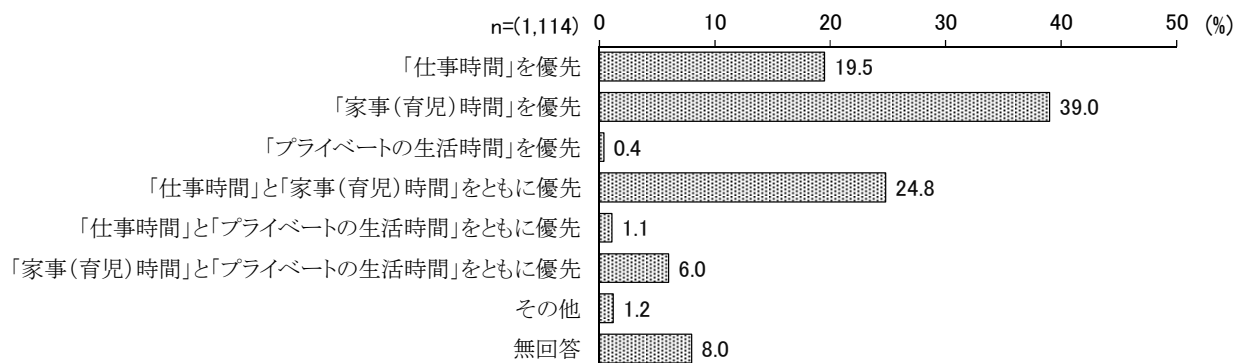
『家事（育児）時間』と『プライベートの生活時間』をともに優先が42.1%で最も高く、次いで『仕事時間』と『家事（育児）時間』をともに優先が20.7%、『家事（育児）時間』を優先が18.9%となっている。



第2章 調査結果の詳細
1. 就学前児童保護者調査

②現実

『家事（育児）時間』を優先が39.0%で最も高く、次いで『仕事時間』と『家事（育児）時間』をともに優先が24.8%、『仕事時間』を優先が19.5%となっている。

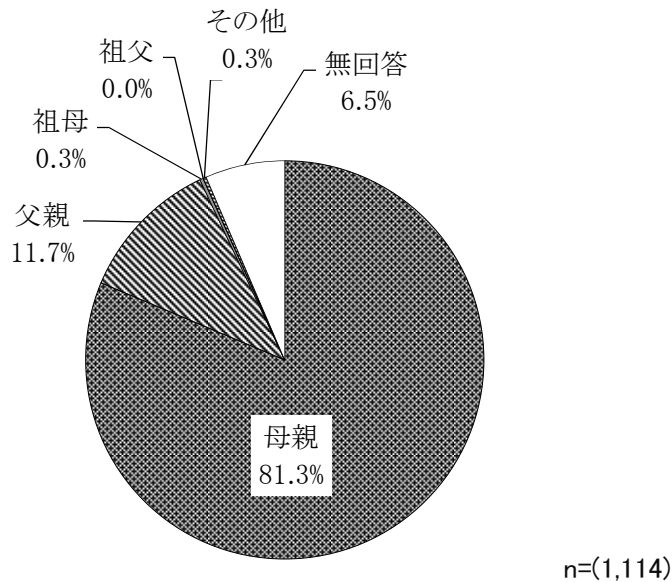


12. 調査票の回答者について

(1) 回答者の続柄

問37 この調査票にご記入いただいた方はどなたですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。(宛名のお子さんからみた関係を答えてください。)

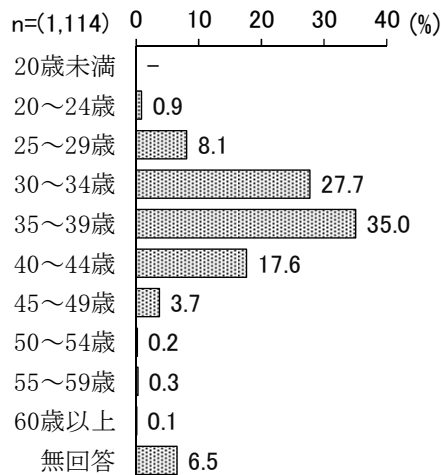
「母親」が81.3%で最も高くなっている。



(2) 回答者の年代

問38 この調査票をご記入いただいた方の年代について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

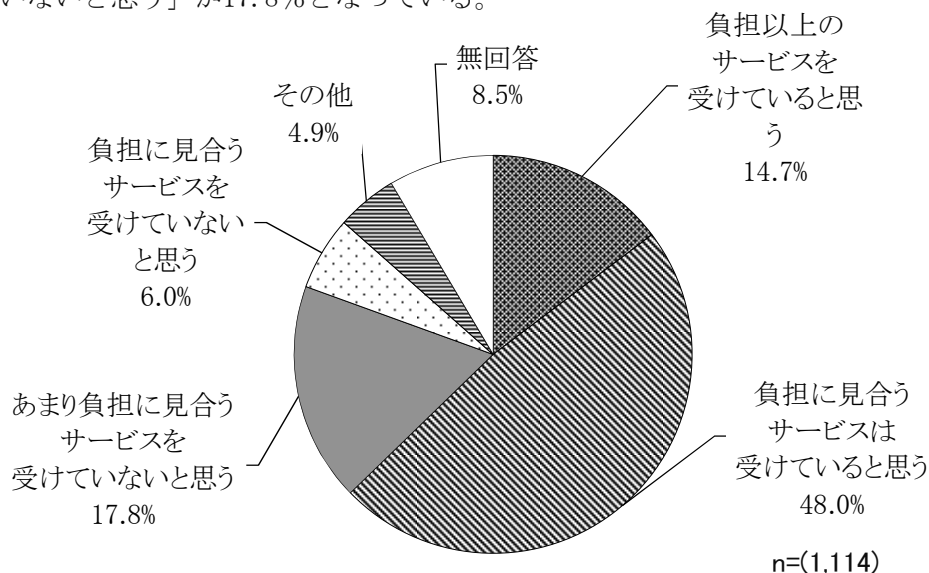
「35～39歳」が35.0%で最も高く、次いで「30～34歳」が27.7%となっている。



(3) 教育・保育事業への負担感

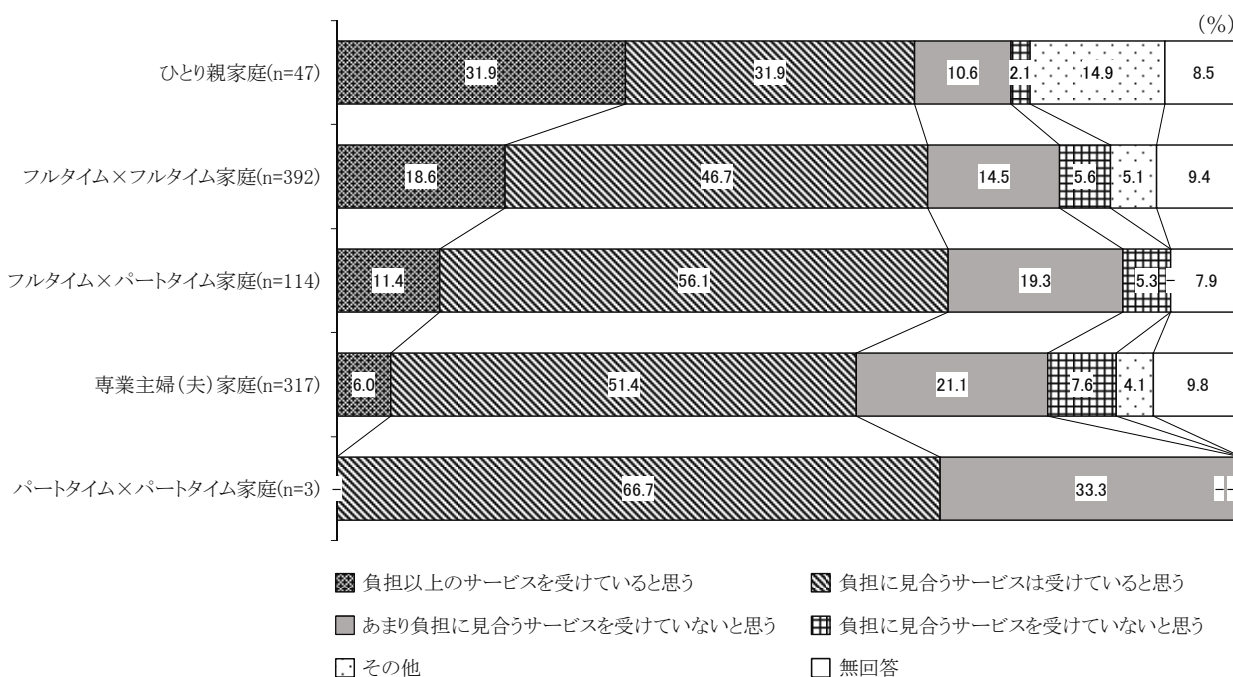
問39 教育・保育事業への負担感についてうかがいます。あなたは、教育・保育事業に要する保育料などの料金負担に見合うサービスを受けていると思いますか。もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

「負担に見合うサービスは受けていると思う」が48.0%で最も高く、次いで「あまり負担に見合うサービスを受けていないと思う」が17.8%となっている。



【家庭類型別】

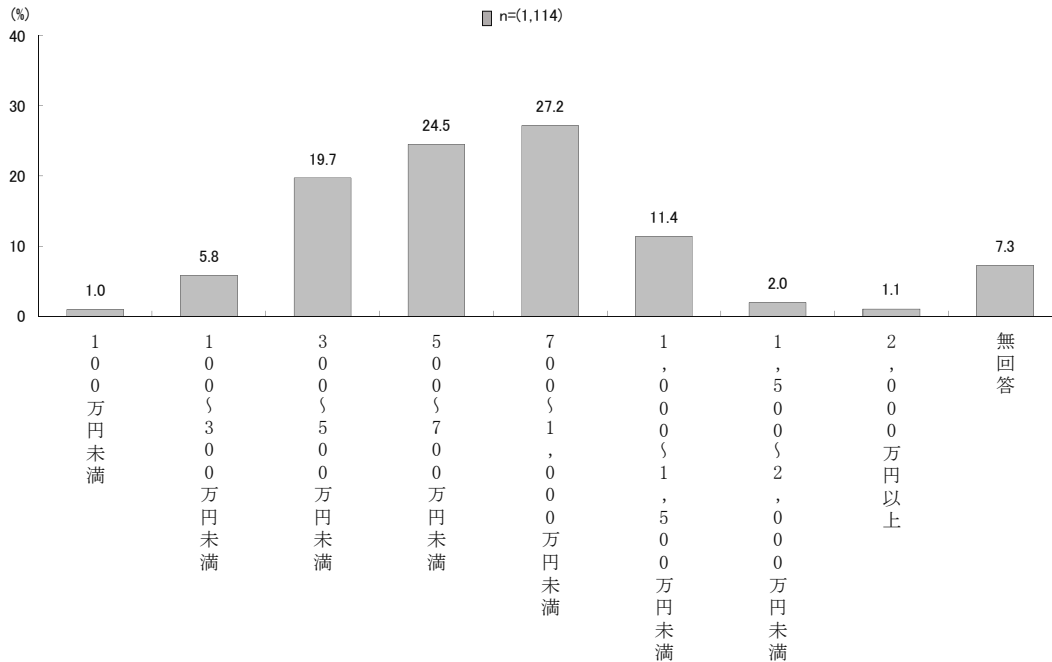
家庭類型別にみると、「負担以上のサービスを受けていると思う」は、ひとり親家庭で31.9%と他に比べて高くなっている。一方、「あまり負担に見合うサービスを受けていないと思う」はパートタイム×パートタイム家庭で33.3%と他に比べて高くなっている。



(4) 世帯収入

問40 世帯収入についてうかがいます。昨年（平成29年）の年間の世帯の総収入はどのくらいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください（生計を一つにする世帯の収入でお答えください）。

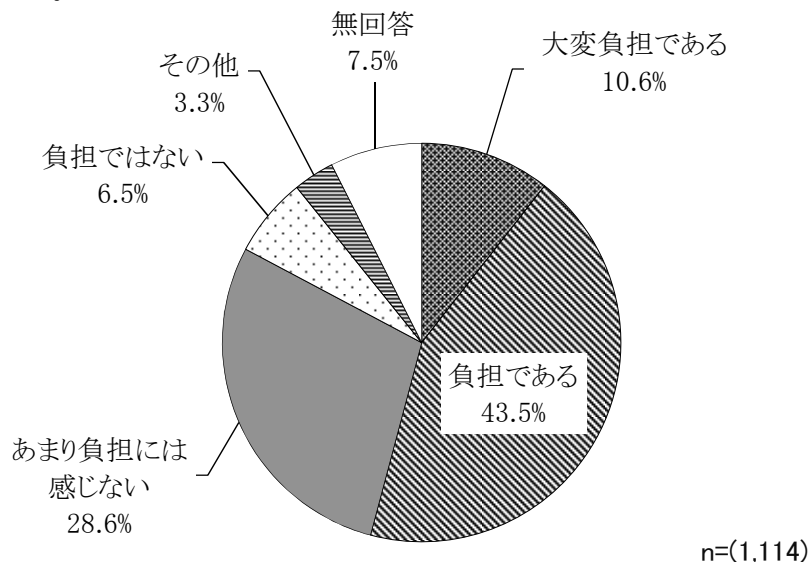
「700～1,000万円未満」が27.2%で最も高く、次いで「500～700万円未満」が24.5%、「300～500万円未満」が19.7%となっている。



(5) 世帯収入に対する教育・保育事業への支出の負担感

問41 世帯収入に対して教育・保育事業への支出の負担感はどのくらいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「負担である」が43.5%で最も高く、次いで「あまり負担には感じない」が28.6%、「大変負担である」が10.6%となっている。

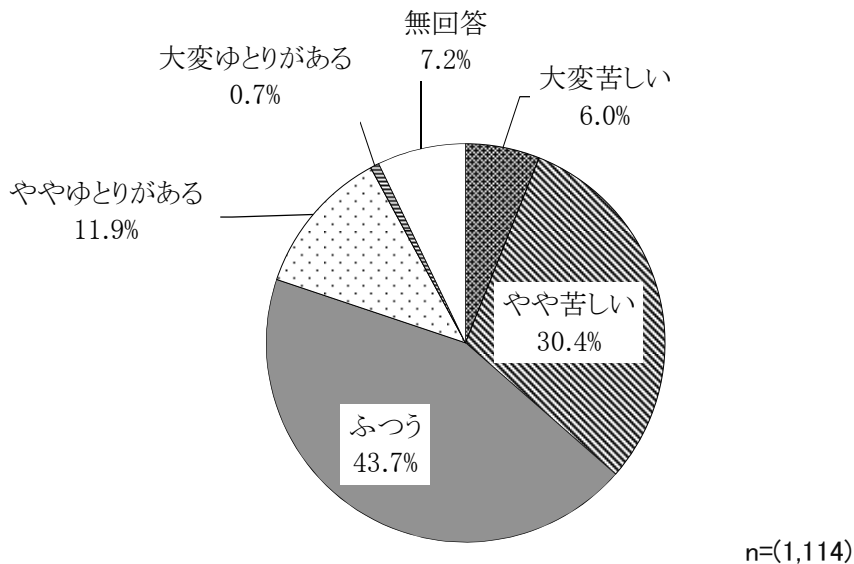


第2章 調査結果の詳細
1. 就学前児童保護者調査

(6) 現在の暮らし向き

問42 あなたは、現在の暮らし向きをどう感じていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

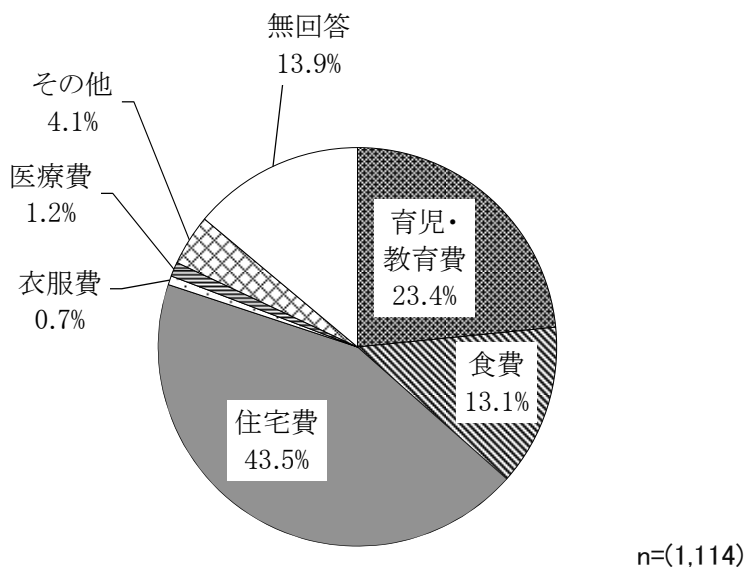
「ふつう」が43.7%で最も高く、次いで「やや苦しい」が30.4%、「ややゆとりがある」が11.9%となっている。



(7) 生活の中で負担に感じる費用

問43 あなたが生活の中で負担に感じる費用に当てはまる番号1つに○をつけてください。

「住宅費」が43.5%で最も高く、次いで「育児・教育費」が23.4%、「食費」が13.1%となっている。



(8) 自由意見

問44 最後に教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

子育て全般に関する記述式意見を類型化して整理した。409人から合計433件の回答があり、次のとおりとなっている。

| | |
|-----------------------------|------|
| 1. 子育て全般に関する意見 | 87件 |
| 2. 情報提供・相談の場所や機会の提供に関する意見 | 26件 |
| 3. 保育サービスの充実に関する意見 | 79件 |
| 4. 保育園への要望等 | 31件 |
| 5. 幼稚園への要望等 | 5件 |
| 6. 労働環境の整備促進に関する意見 | 11件 |
| 7. 保健医療サービスの充実に関する意見 | 17件 |
| 8. 負担の軽減・不公平感等に関する意見 | 52件 |
| 9. 公園など遊び場の整備・機能向上に関する意見 | 24件 |
| 10. 子ども連れのための施設の整備・充実に関する意見 | 58件 |
| 11. 子どもの安全に関する意見 | 6件 |
| 12. その他の意見 | 37件 |
| 合 計 | 433件 |

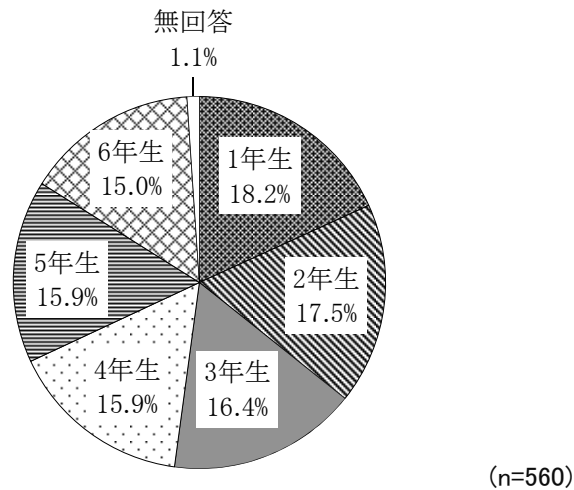
2. 小学生児童保護者調査

1. 子どもと家族の状況

(1) 子どもの学年

問1 宛名のお子さんの生年月をご記入ください（口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字）。

学年別の人数は「1年生」が18.2%で最も高くなっている。

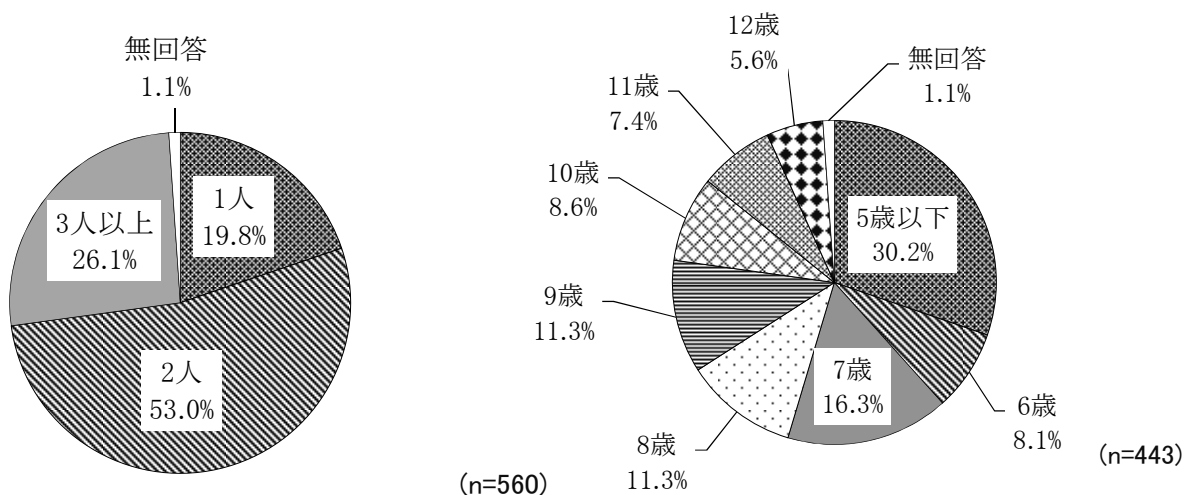


(2) きょうだいの人数と末子の年齢

問2 宛名のお子さんを含め、お子さんは何人いますか。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください（口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字）。

きょうだいの人数は「2人」が53.0%で最も高くなっている。

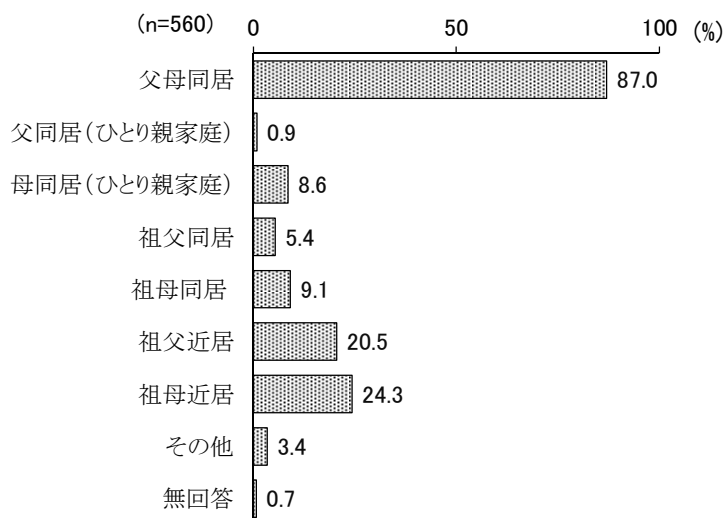
末子の年齢は「5歳以下」が30.2%で最も高くなっている。



(3) 同居・近居の状況

問3 宛名のお子さんとの同居・近居（おおむね30分以内程度に行き来できる範囲）の状況についてお答えください。続柄は宛名のお子さんからみた関係です。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

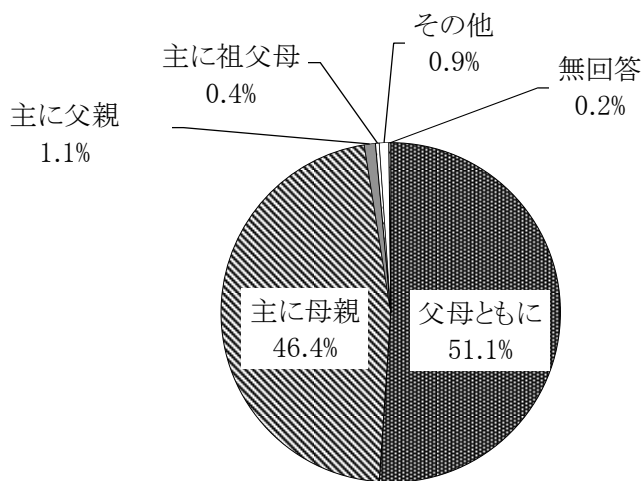
「父母同居」が87.0%で最も高くなっている。



(4) 子育てを主に行っている人

問4 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

「父母ともに」が51.1%で最も高く、次いで「主に母親」が46.4%となっている。

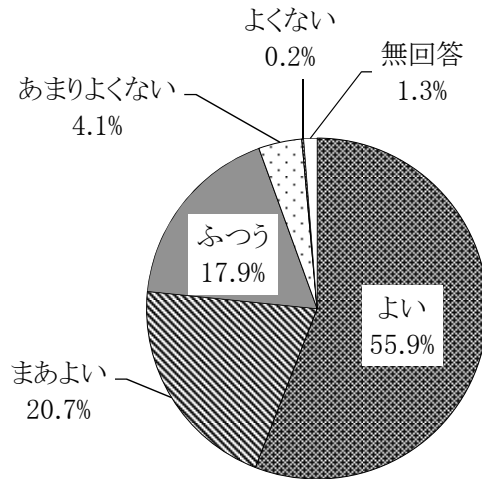


(n=560)

(5) 子育てを主に行っている人の健康状態

問4-1 主に宛名のお子さんの子育てを行っている方の健康状態について、もっとも近いものはどれですか。当てはまる番号1つに○をつけてください(問4で「1. 父母ともに」もしくは「4. 主に祖父母」と答えた方は一日の中で宛名のお子さんと一緒にいらっしゃる時間が長い方の健康状態をお答えください)。

「よい」が55.9%で最も高くなっている。

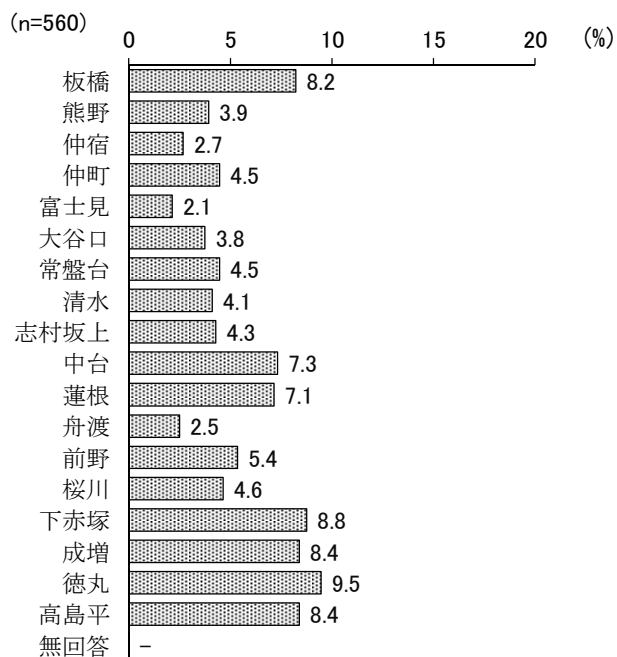


(n=560)

(6) 居住地区

問5 お住まいの地区(地域センターの管轄)として当てはまる番号1つに○をつけてください。お住まいの地区がわからない場合は、同封の「地域センター管轄一覧」でご確認ください。

「徳丸」が9.5%、「下赤塚」が8.8%、「成増」と「高島平」が8.4%などとなっている。

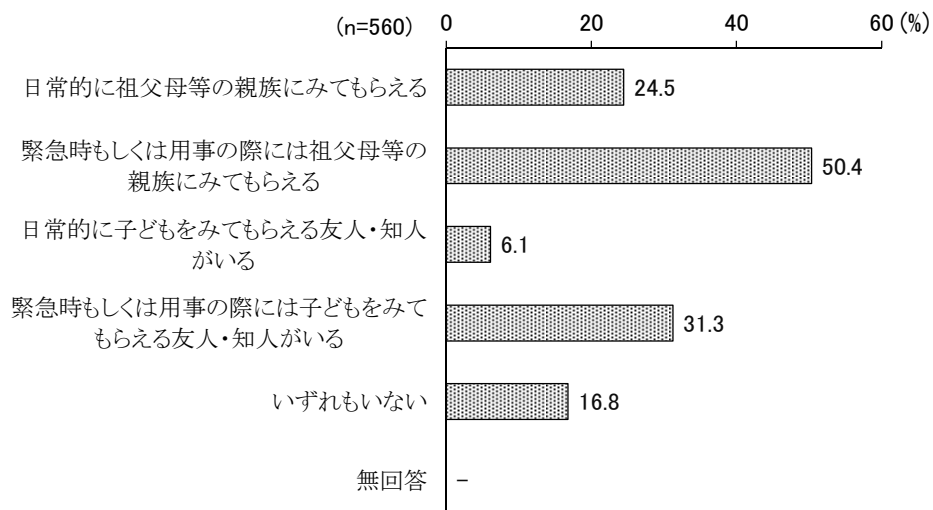


第2章 調査結果の詳細
2. 小学生児童保護者調査

(7) 日頃、子どもをみてもらえる親族や友人・知人

問6 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が50.4%で最も高くなっている。一方、「いずれもない」は16.8%である。



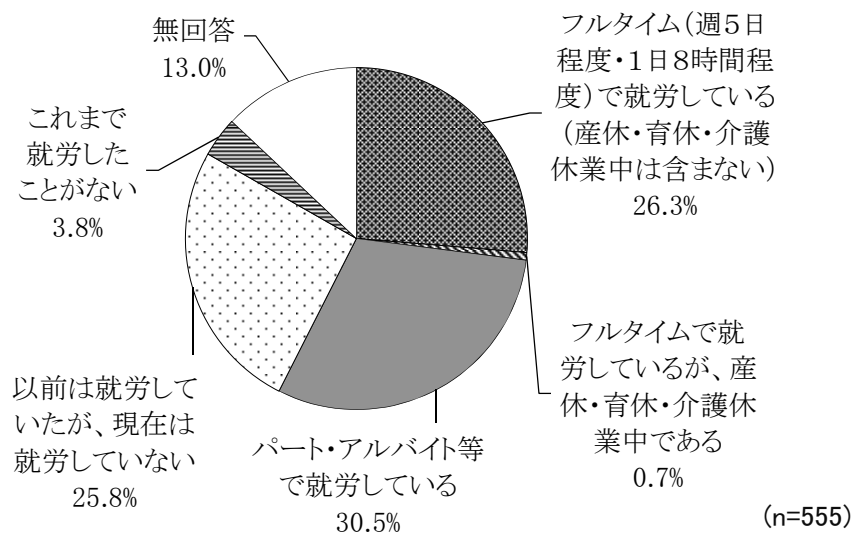
2. 保護者の就労状況

(1) 母親の就労状況

問7 現在の就労状況（自営業や家族従事者を含む）をうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけ、該当する口内には数字を24時間制でご記入ください。「1. フルタイム就労で就労している」または「3. パート・アルバイト等で就労している」に○をつけた方は家を出る時間と帰宅時間の当てはまる番号1つにも○をつけてください。

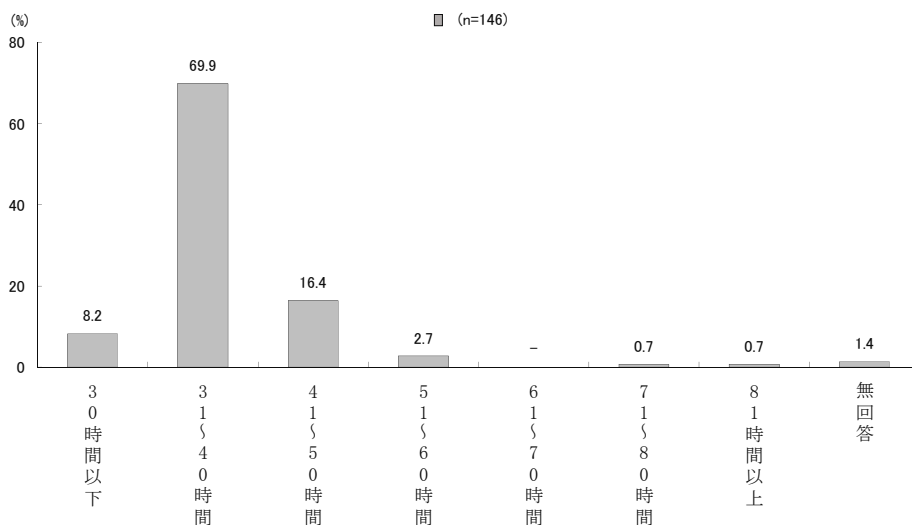
① 就労状況

「パート・アルバイト等で就労している」が30.5%で最も高く、次いで「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）で就労している。（産休・育休・介護休業中は含まない）」が26.3%となっている。



② 【フルタイム】1週当たりの就労時間

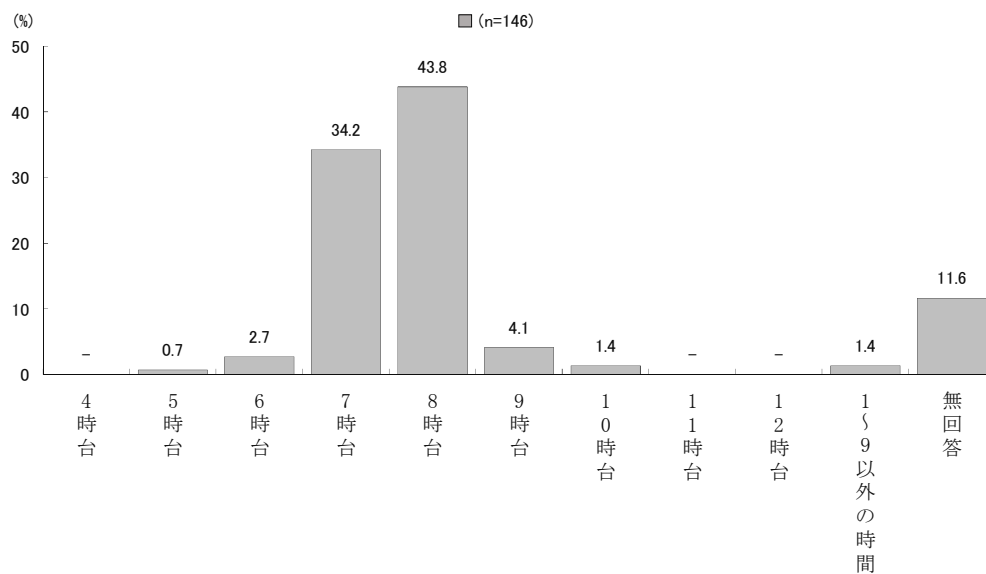
「31~40時間」が69.9%で最も高くなっている。



第2章 調査結果の詳細
2. 小学生児童保護者調査

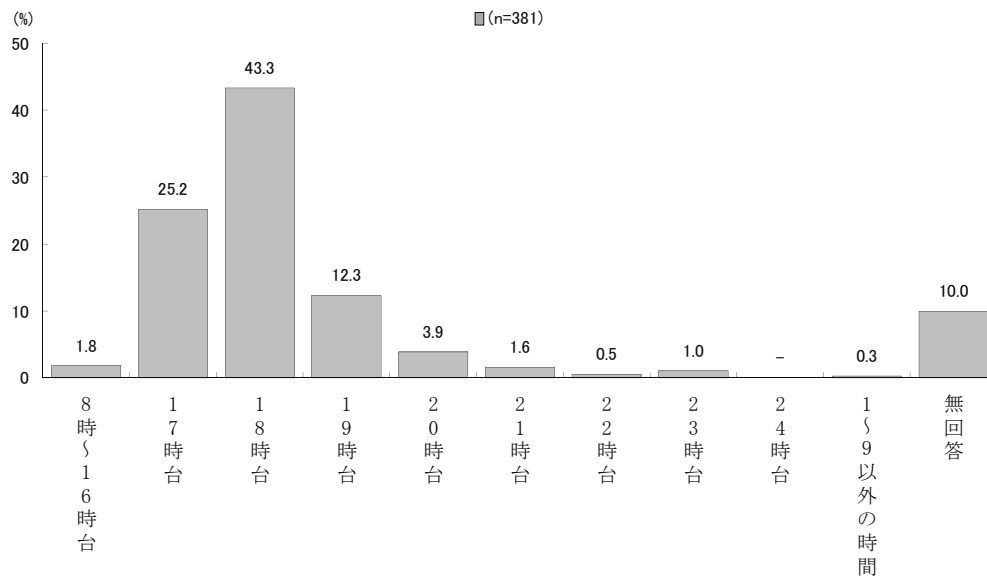
③ 【フルタイム】出勤時間

「8時台」が43.8%で最も高くなっている。



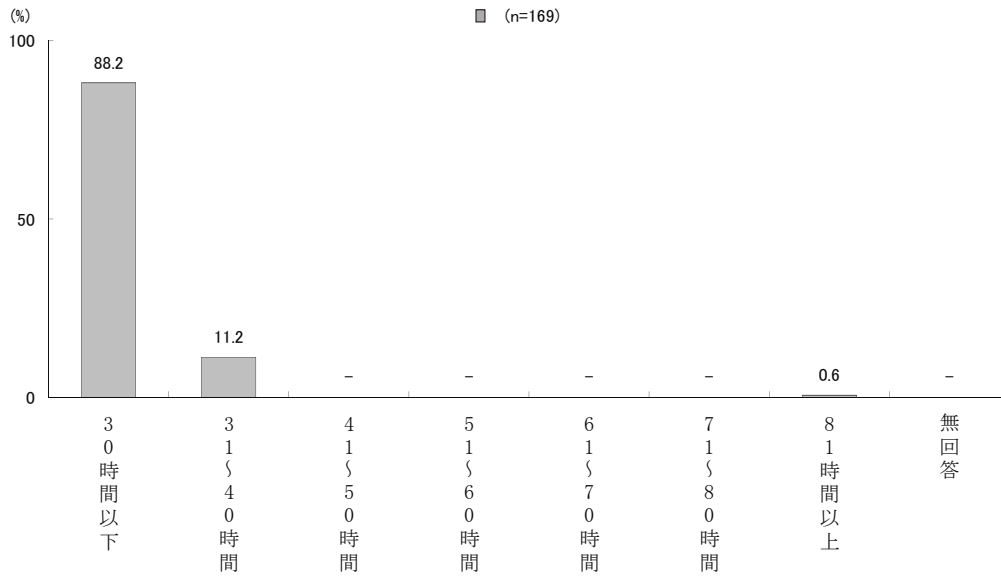
④ 【フルタイム】帰宅時間

「18時台」が43.3%で最も高くなっている。



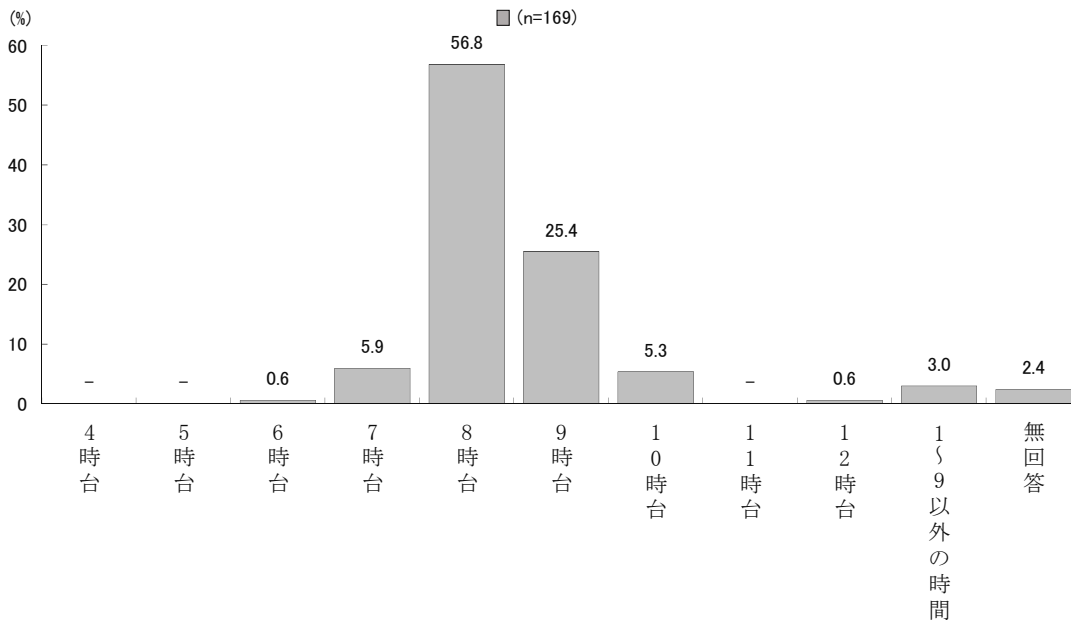
⑤ 【パートタイム、アルバイト】1週当たりの就労時間

「30時間以下」が88.2%で最も高くなっている。



⑥ 【パートタイム、アルバイト】出勤時間

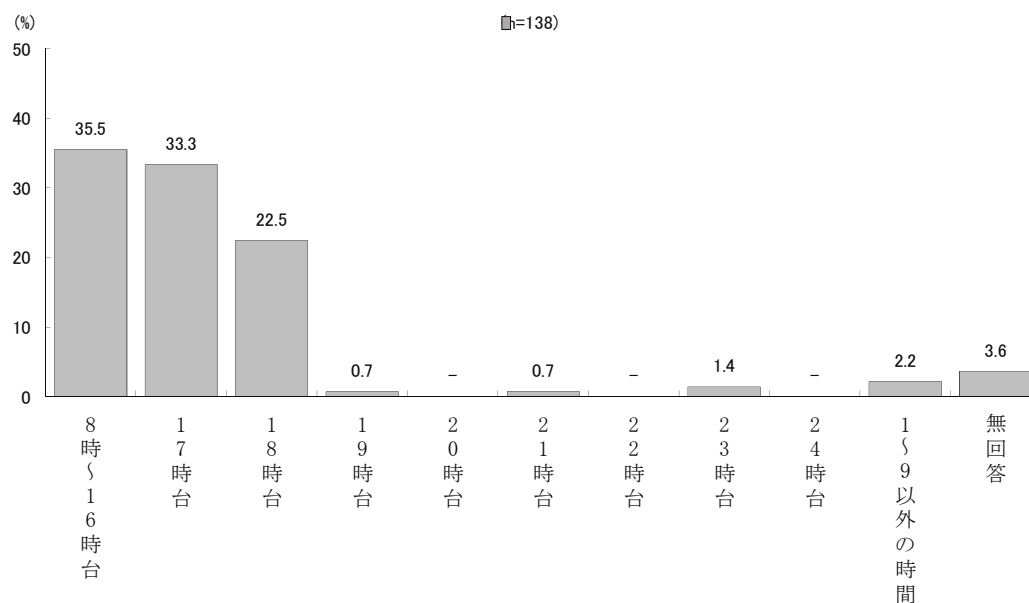
「8時台」が56.8%で最も高くなっている。



第2章 調査結果の詳細
2. 小学生児童保護者調査

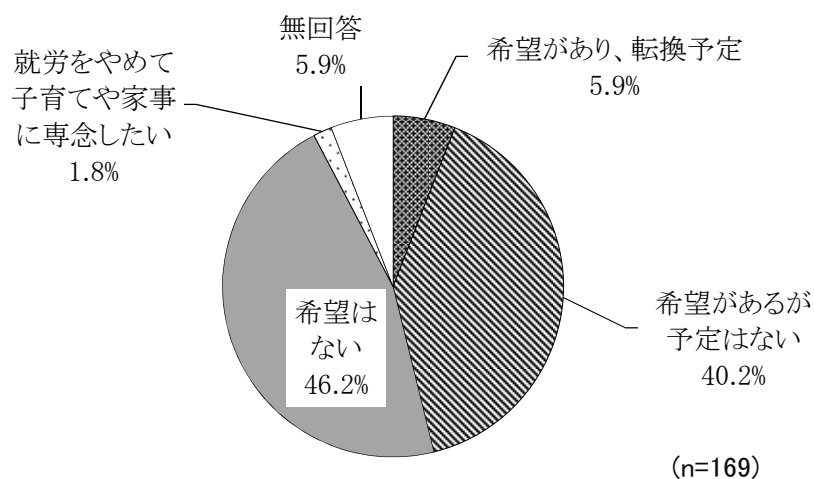
⑦ 【パートタイム、アルバイト】帰宅時間

「8時～16時台」が35.5%で最も高くなっている。



⑧ 【パートタイム、アルバイト】フルタイムへの転換希望

「希望はない」が46.2%で最も高く、次いで「希望はあるが予定はない」が40.2%となっている。

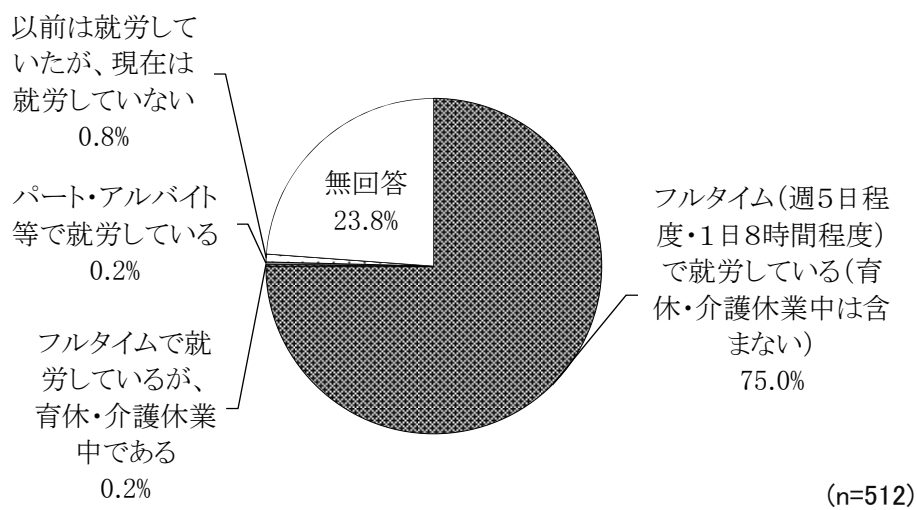


(2) 父親の就労状況

問7 現在の就労状況（自営業や家族従事者を含む）をうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけ、該当する口内には数字を24時間制でご記入ください。「1. フルタイム就労で就労している」または「3. パート・アルバイト等で就労している」に○をつけた方は家を出る時間と帰宅時間の当てはまる番号1つにも○をつけてください。

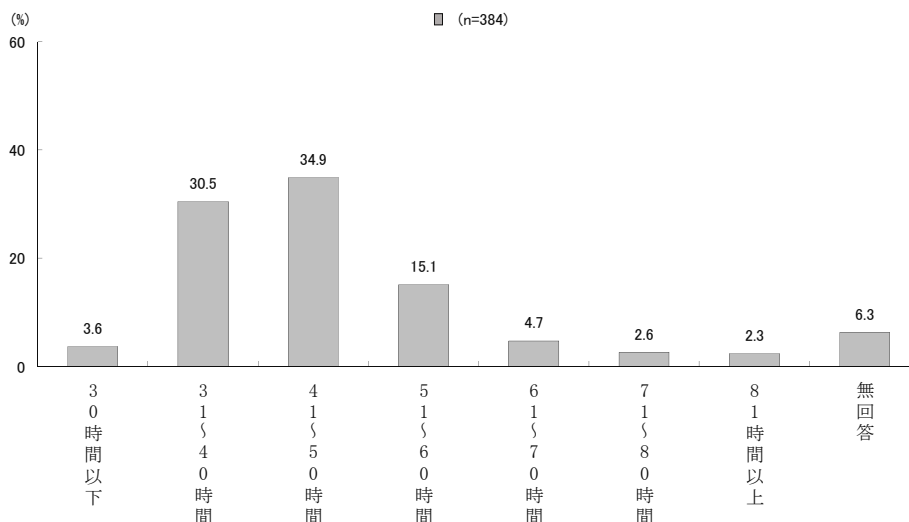
① 就労状況

「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）で就労している。（育休・介護休業中は含まない）」が75.0%で最も高くなっている。



② 【フルタイム】1週当たりの就労時間

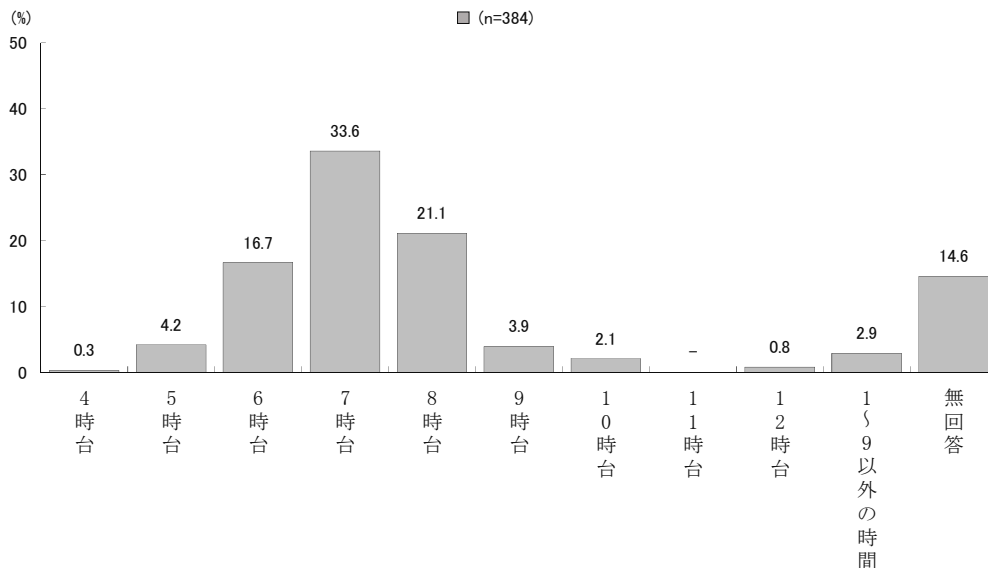
「41～50時間」が34.9%で最も高く、次いで「31～40時間」が30.5%、「51～60時間」が15.1%となっている。



第2章 調査結果の詳細
2. 小学生児童保護者調査

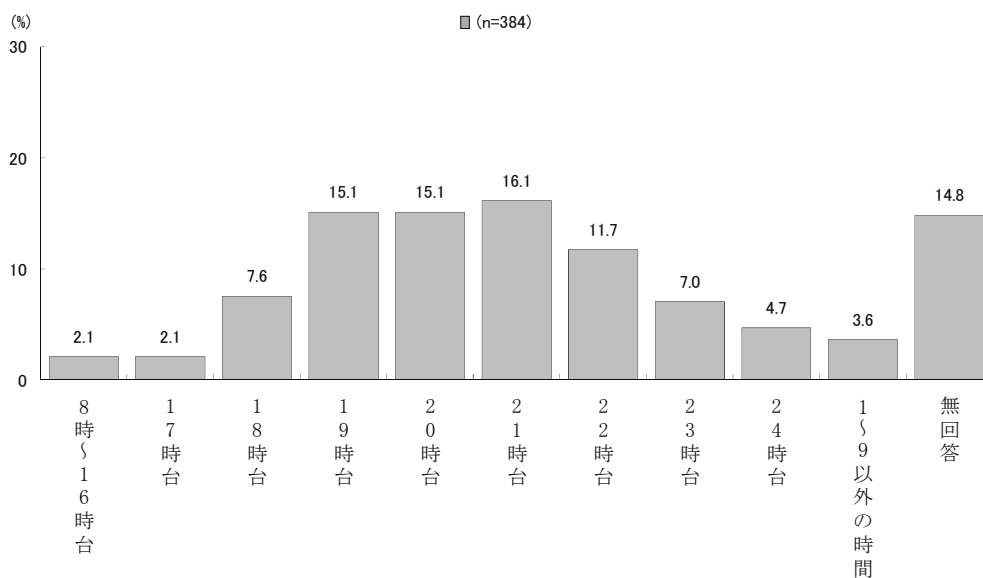
③ 【フルタイム】出勤時間

「7時台」が33.6%で最も高くなっている。



④ 【フルタイム】帰宅時間

「21時台」が16.1%で最も高くなっている。



⑤ 【パートタイム、アルバイト】出勤時間

父親がパート・アルバイト等で働いていると答えた方は1件で、その出勤時間は「10時台」となっている。

⑥ 【パートタイム、アルバイト】帰宅時間

父親がパート・アルバイト等で働いていると答えた方は1件で、その帰宅時間は「8時～16時台」となっている。

⑦ 【パートタイム、アルバイト】1週当たりの就労時間

父親がパート・アルバイト等で働いていると答えた方は1件で、その就労時間は「30時間以下」となっている。

⑧ 【パートタイム、アルバイト】フルタイムへの転換希望

父親がパート・アルバイト等で働いていると答えた方は1件で、「希望はない」となっている。

(3) 家庭類型

同居・近居の状況(問3)と、母親・父親の就労状況(問7)の回答から、家庭の形態を以下のような6つの区分に分類した。

A ひとり親家庭

母子家庭もしくは父子家庭

B フルタイム×フルタイム家庭

母親と父親がともにフルタイム(産休・育休・介護休業中も含む)で就労している家庭

C フルタイム×パートタイム家庭

どちらか一方の親がフルタイム(産休・育休・介護休業中も含む)で就労し、もう一方の親がパート・アルバイト等で就労している家庭

D 専業主婦(夫)家庭

どちらか一方の親が就労し、もう一方の親が就労していない家庭

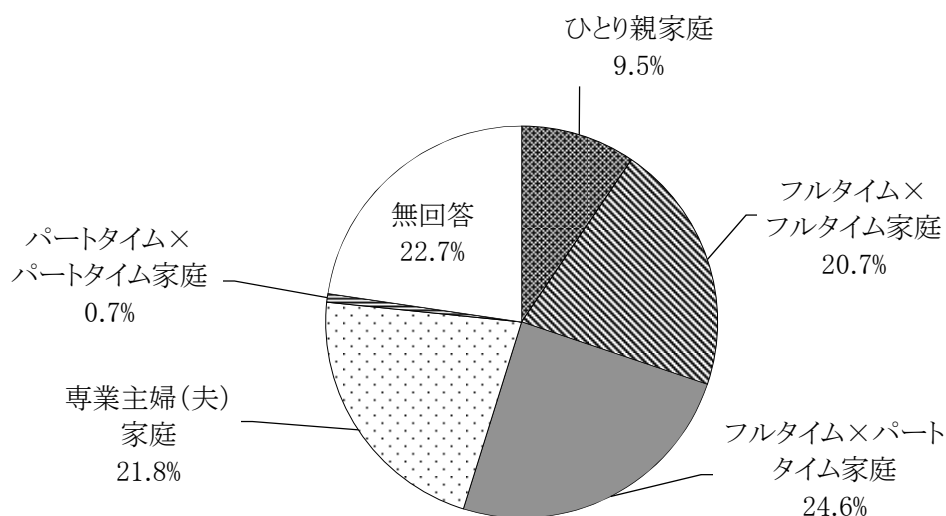
E パートタイム×パートタイム家庭

母親と父親がともにパート・アルバイト等で就労している家庭

F 無業×無業家庭

母親と父親がともに就労していない家庭

「フルタイム×パートタイム家庭」が24.6%で最も高く、「専業主婦(夫)家庭」が21.8%、「フルタイム×フルタイム家庭」が20.7%、「ひとり親家庭」が9.5%となっている。



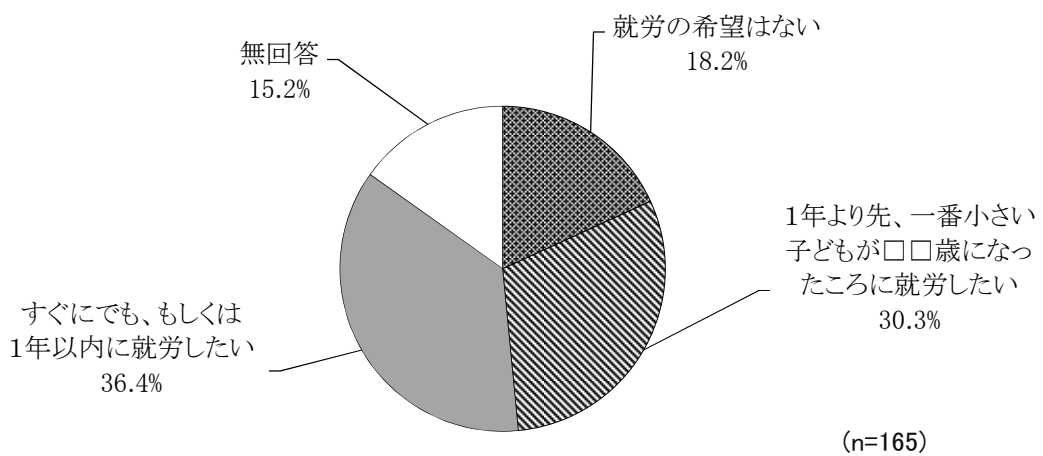
(n=560)

(4) 未就労の保護者の就労希望

問7-1 問7の(1)または(2)で「4. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「5. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。今後、就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号に○をつけ該当する口内には数字をご記入ください(数字は一枠に一字)。

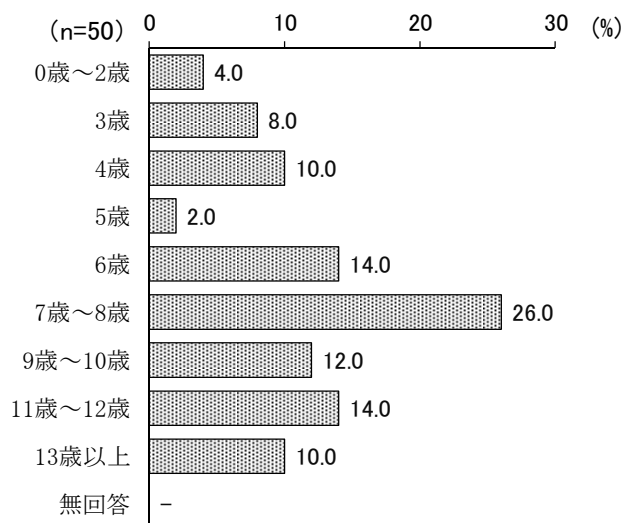
① 就労希望

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が36.4%で最も高く、「1年より先、一番小さい子どもが□□歳になったところに就労したい」が30.3%、「就労の希望はない」が18.2%となっている。



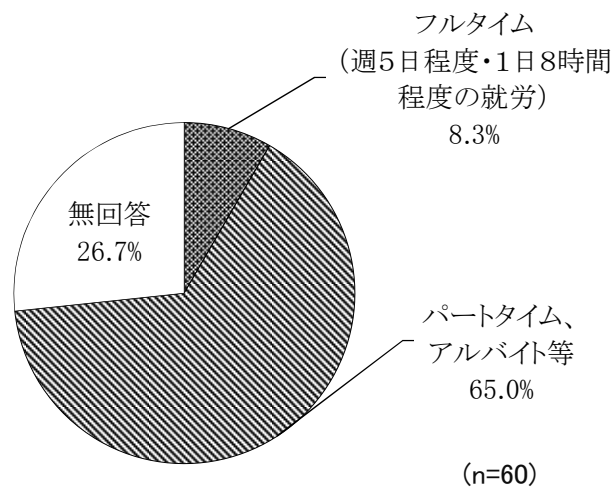
② 末子の年齢による就労意向

「7～8歳」が26.0%で最も高く、次いで「6歳」「11～12歳」が14.0%となっている。



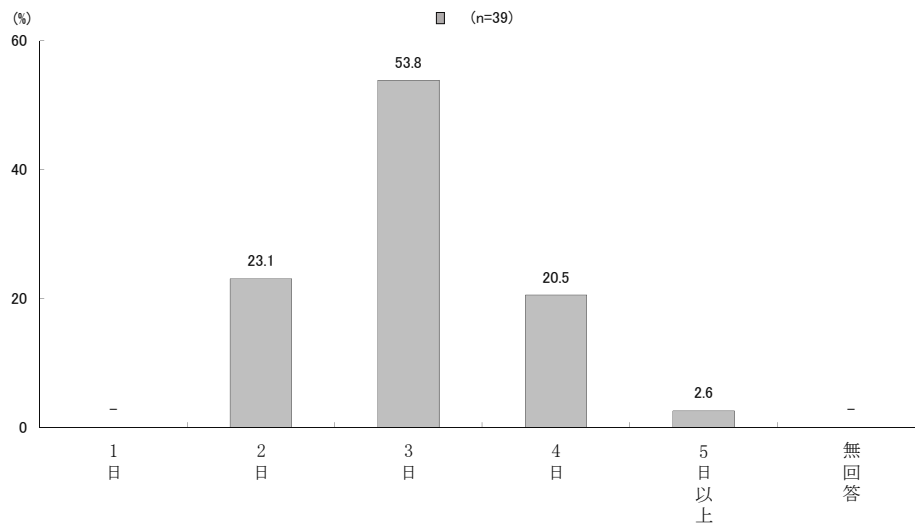
③ 希望する就労形態

「パートタイム・アルバイト等」が65.0%で最も高くなっている。



④ 1週あたりの希望就労日数

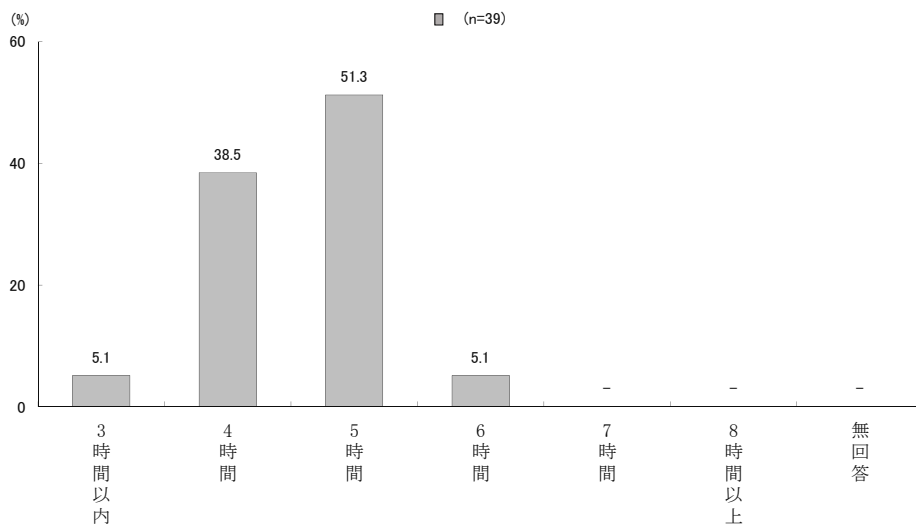
「3日」が53.8%で最も高く、次いで「2日」が23.1%となっている。



第2章 調査結果の詳細
2. 小学生児童保護者調査

⑤ 希望就労時間

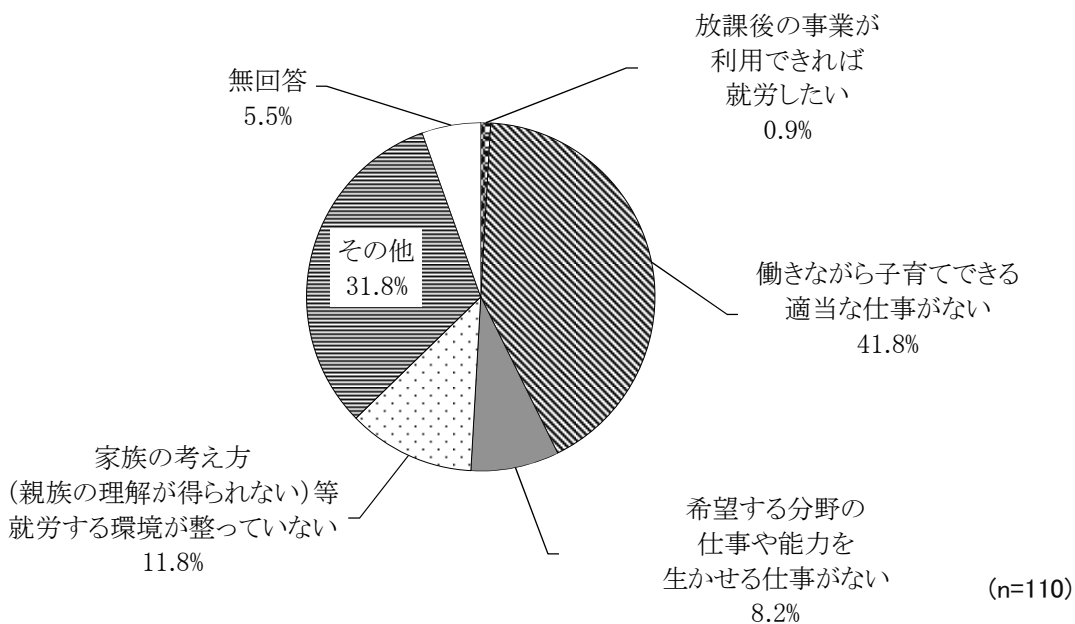
「5時間」が51.3%で最も高くなっている。



(5) 就労希望がありながら、現在働いていない理由

問7-2 問7-1で「2. 1年より先に就労したい」、「3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選ばれた方にうかがいます。就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。もっとも近いものの番号を1つだけ選んで○をつけてください。

「働きながら子育てできる適当な仕事がない」が41.8%で最も高くなっている。

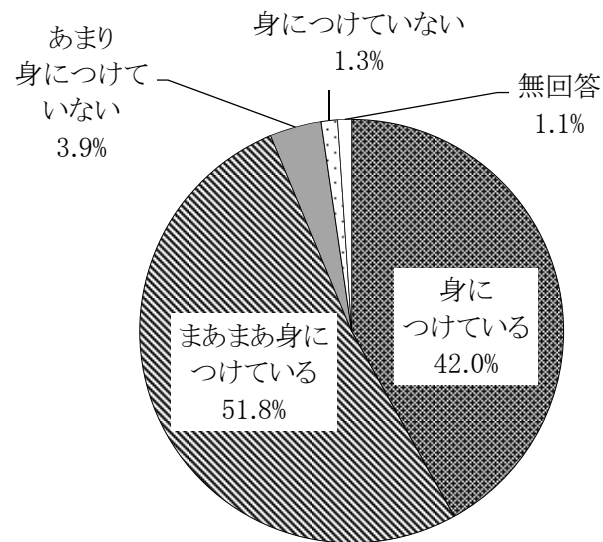


3. 子どもの生活習慣

(1) 子どもの基本的な生活習慣の習得度

問8 宛名のお子さんは、基本的な生活習慣を身につけていると思いますか。当てはまる番号
1つに○をつけてください。

「まあまあ身につけている」が51.8%で最も高く、次いで「身につけている」が42.0%となっている。

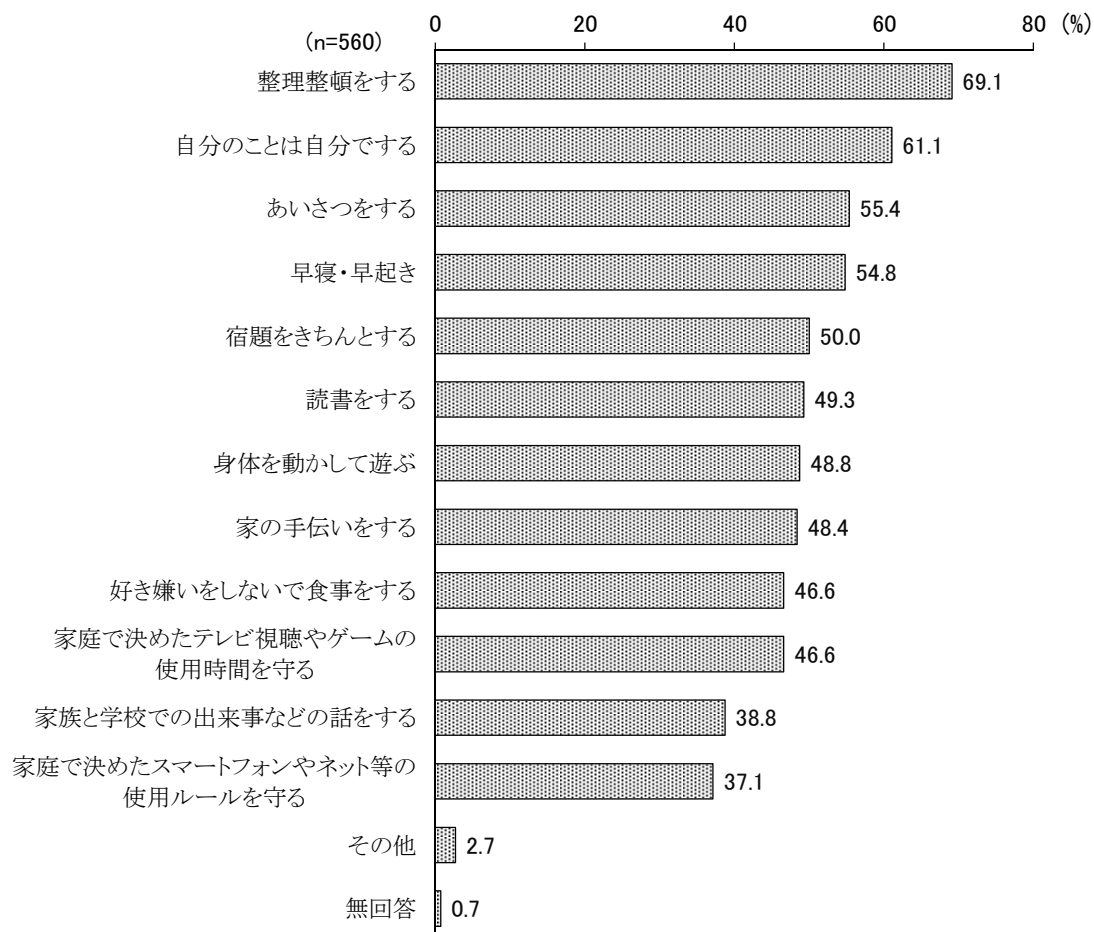


(n=560)

(2) 子どもに身につけてほしい生活習慣

問9 宛名のお子さんに身につけてほしい生活習慣は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

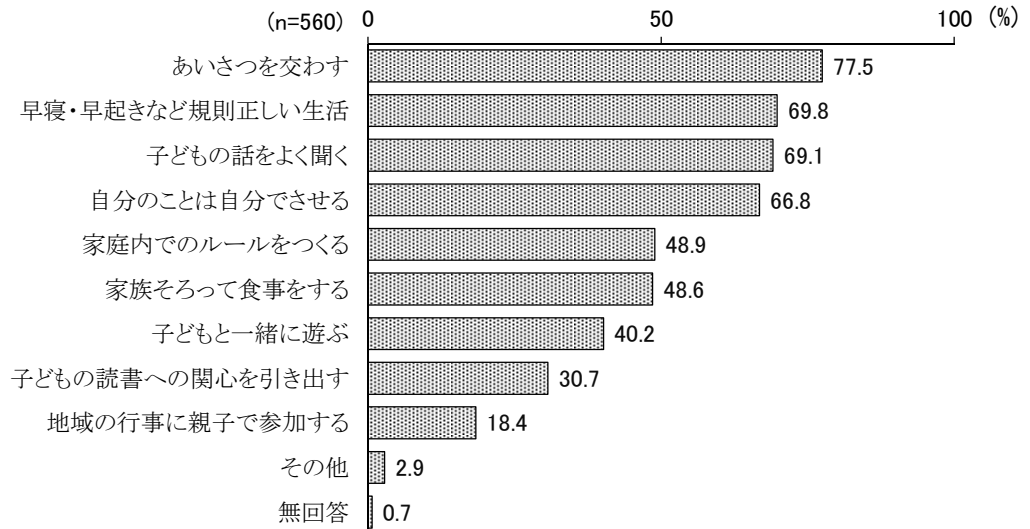
「整理整頓をする」が69.1%で最も高く、次いで「自分のことは自分でする」が61.1%となっている。



(3) 日頃、心がけていること

問10 宛名のお子さんが基本的な生活習慣を身につけるうえで、日頃、心がけていることは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「あいさつを交わす」が77.5%で最も高く、次いで「早寝・早起きなど規則正しい生活」が69.8%、「子どもの話をよく聞く」が69.1%、「自分のことは自分でさせる」が66.8%などとなっている。

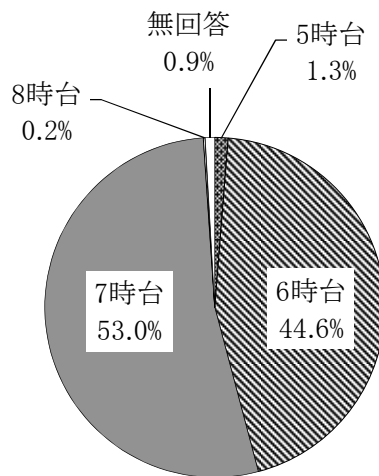


(4) 起床・夕食・就寝時間

問11 宛名のお子さんの(1)起床時間・(2)夕食時間・(3)就寝時間にそれぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

① 起床時間

「7時台」が53.0%で最も高くなっている。

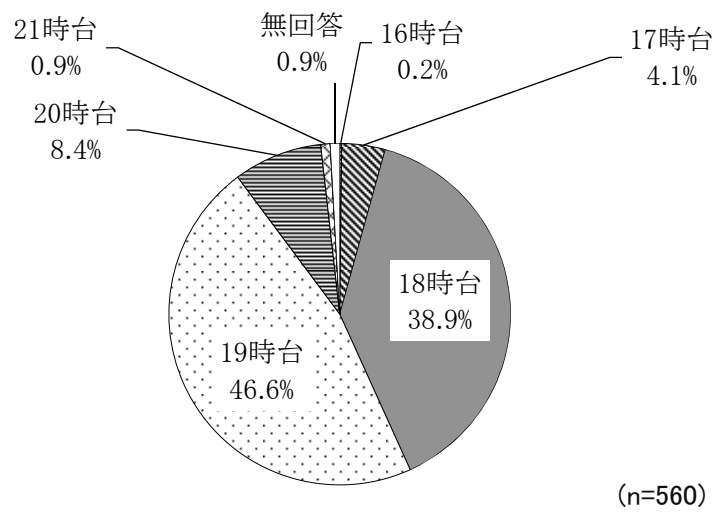


(n=560)

第2章 調査結果の詳細
2. 小学生児童保護者調査

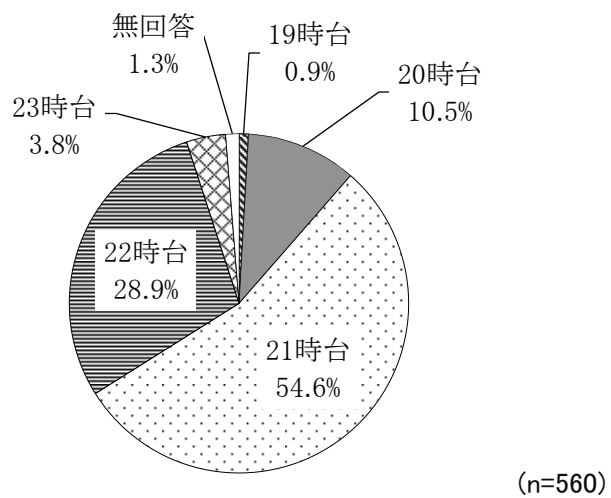
② 夕食時間

「19時台」が46.6%で最も高くなっている。



③ 就寝時間

「21時台」が54.6%で最も高くなっている。

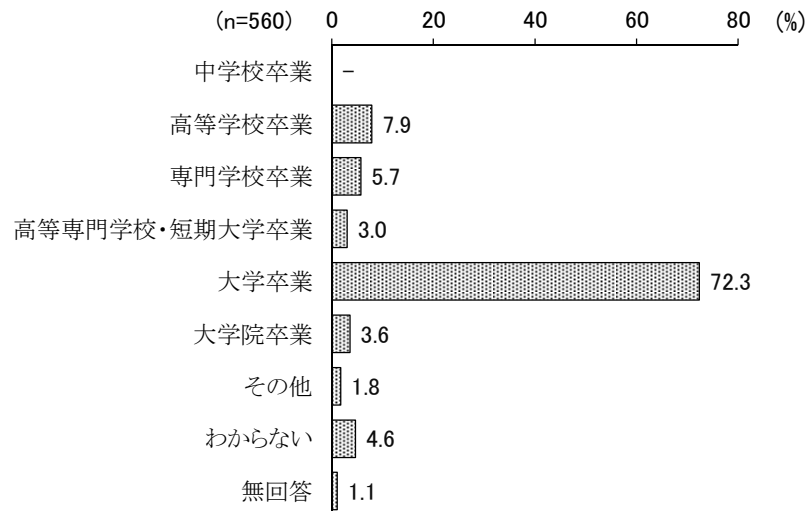


4. 子どもの進学希望

(1) 子どもの進学先についての希望

問12 宛名のお子さんについて、希望としてどの段階の学校まで進学してほしいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

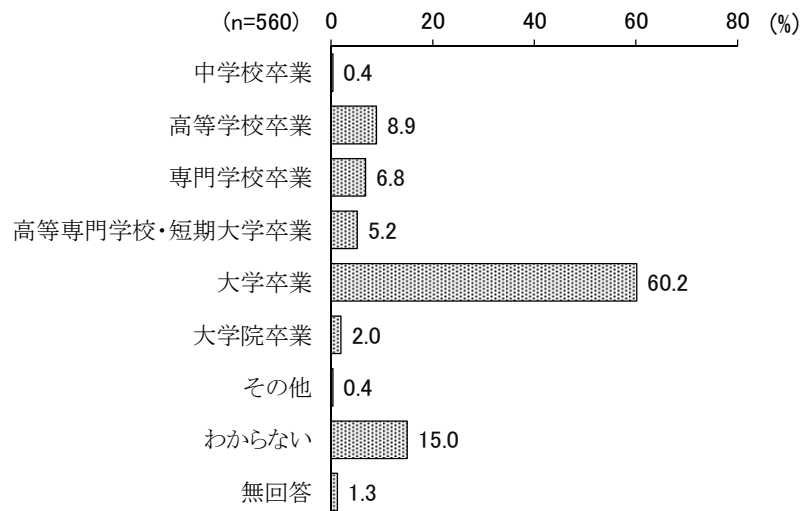
「大学卒業」が72.3%で最も高くなっている。



(2) 子どもの現実的な進学先

問13 宛名のお子さんについて、現実的にはどの段階までの進学になると思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「大学卒業」が60.2%で最も高くなっている。

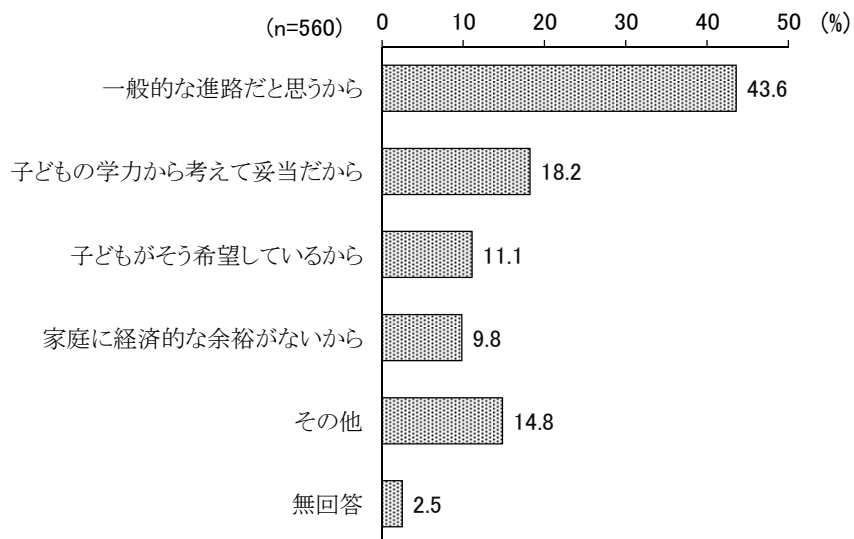


第2章 調査結果の詳細
2. 小学生児童保護者調査

(3) 子どもの現実的な進学先を選んだ理由

問14 問13の回答を選んだ理由は何ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「一般的な進路だと思うから」が43.6%で最も高くなっている。一方、「家庭に経済的な余裕がないから」が、9.8%となっている。



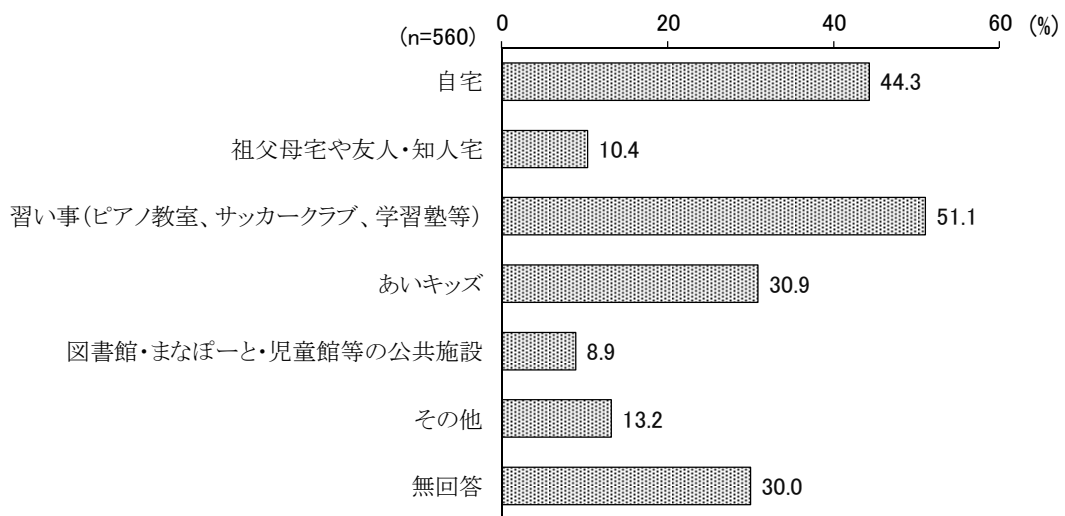
5. 子どもの休日や放課後の過ごし方

(1) 子どもの放課後の過ごし方

問15 宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「あいキッズ」の場合には、利用を希望する時間も数字でご記入ください。時間は必ず24時間制（例：17時）でご記入ください（数字は一桁に一字）。

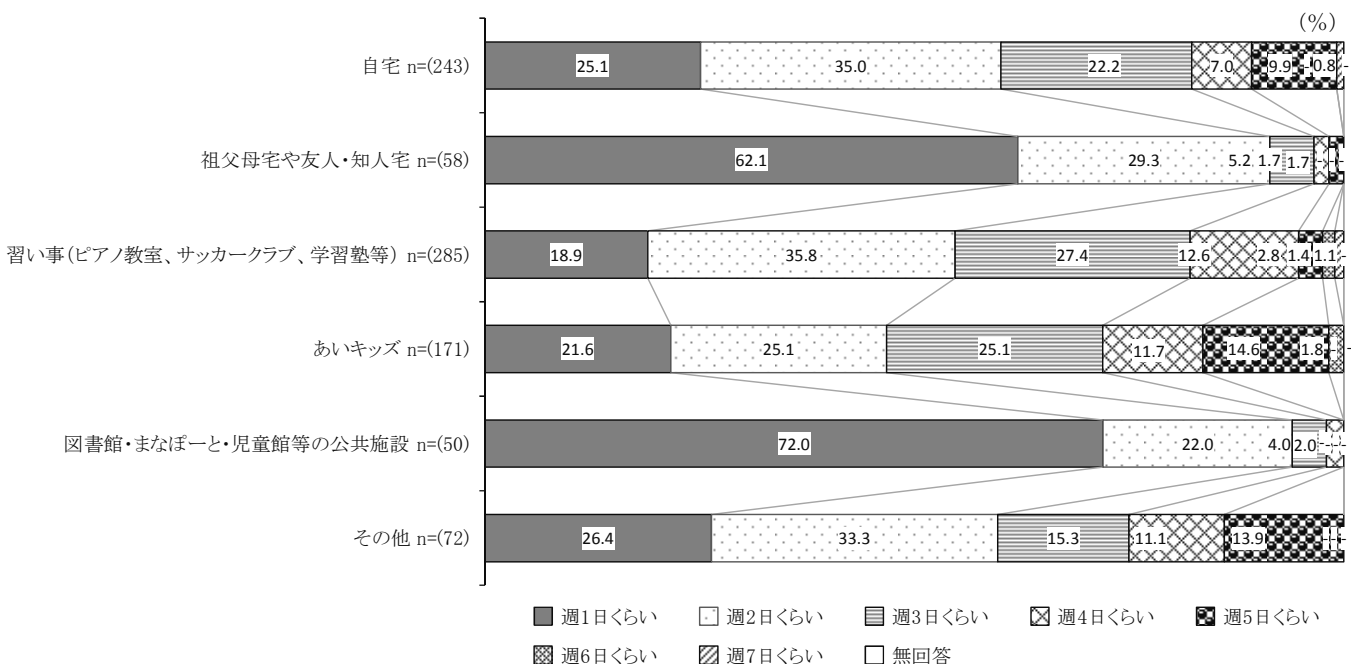
① 過ごさせたい場所

「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等）」が51.1%で最も高く、次いで「自宅」が44.3%となっている。



② 場所別希望利用日数

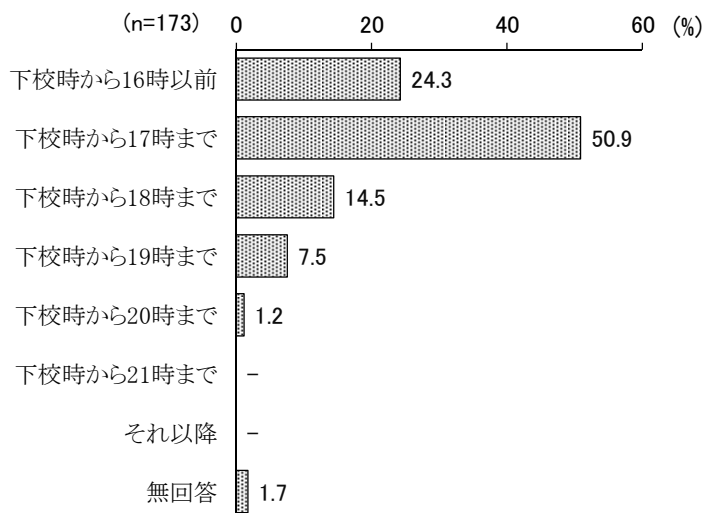
「週1日くらい」は図書館・まなぼと・児童館等の公共施設で72.0%と最も高く、「週5日くらい」はあいキッズで14.6%と最も高くなっている。



第2章 調査結果の詳細
2. 小学生児童保護者調査

③ あいキッズの利用希望時間

「17時まで」が50.9%で最も高くなっている。

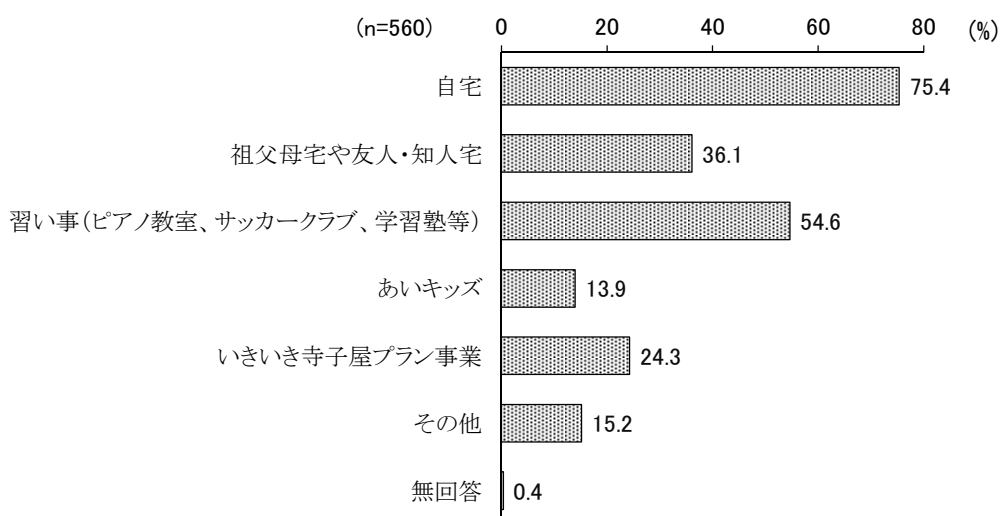


(2) 子どもの休日の過ごし方

問16 宛名のお子さんの小学校入学以降、土曜日と日曜・祝日や夏休みなどの長期の休暇期間中に、どのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

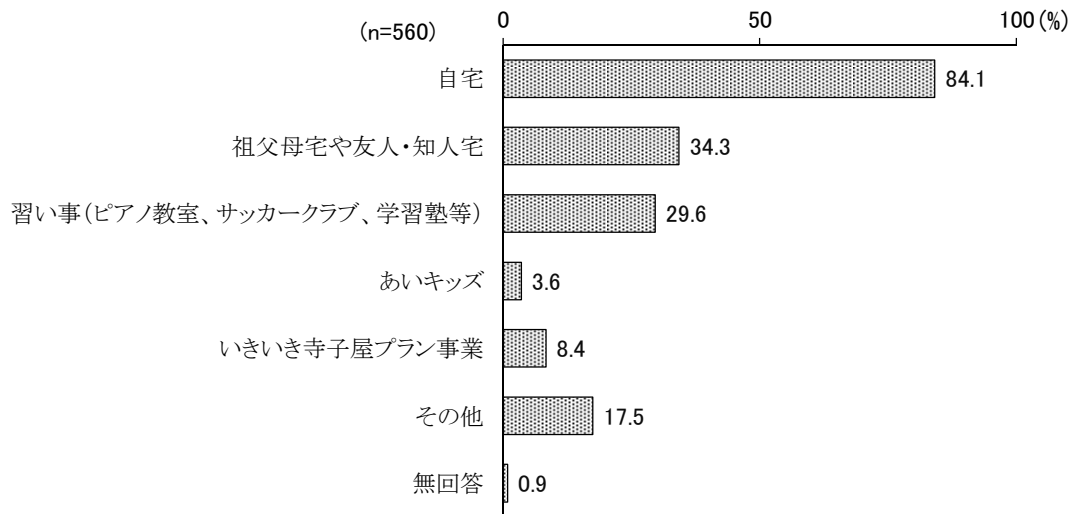
① 土曜日に過ごさせたい場所

「自宅」が75.4%で最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等）」54.6%となっている。



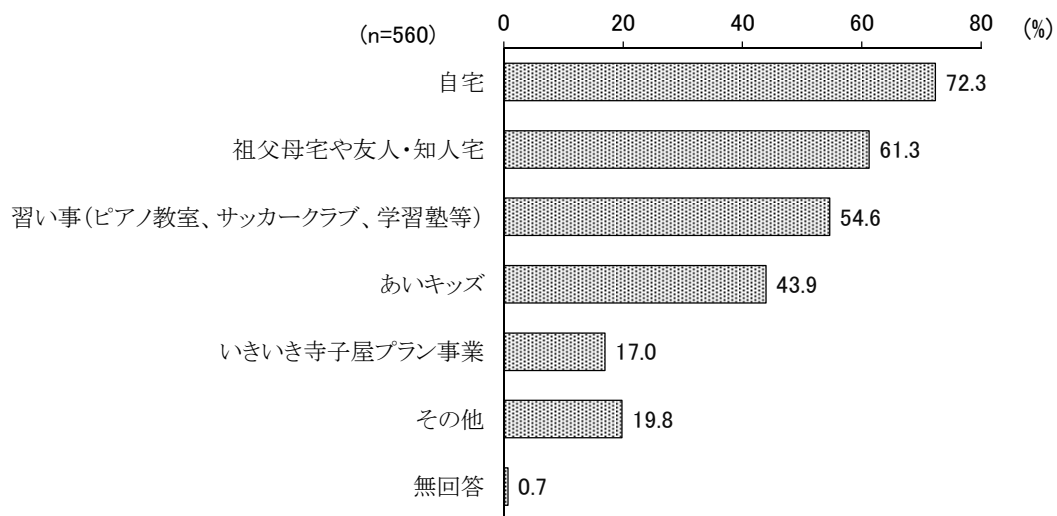
② 日曜・祝日に過ごさせたい場所

「自宅」が84.1%で最も高くなっている。



③ 長期の休暇期間中

「自宅」が72.3%で最も高く、次いで「祖父母宅や友人・知人宅」が61.3%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等）」が54.6%となっている。



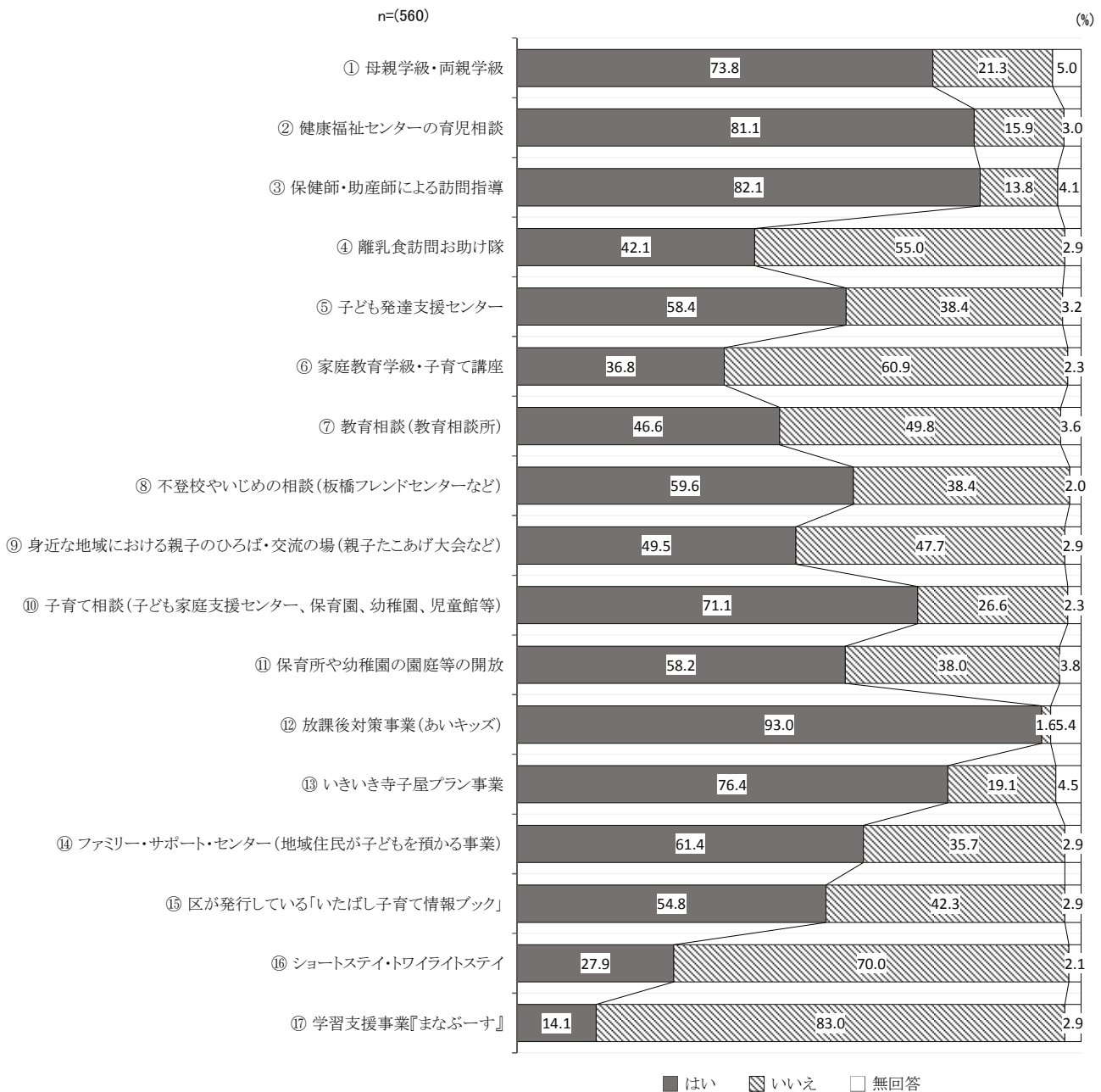
6. 子育て支援サービスの認知度・利用度・満足度

(1) 子育て支援サービスの認知度・利用度

問17 子育て支援サービスの「認知度」「利用度」についてうかがいます。下記のサービスを知っていたり、これまでに利用したことはありますか。また、今後利用したいと思いますか。サービスごとにA～Cのそれぞれについて「はい」、「いいえ」のどちらかに○をつけてください。

① 認知度

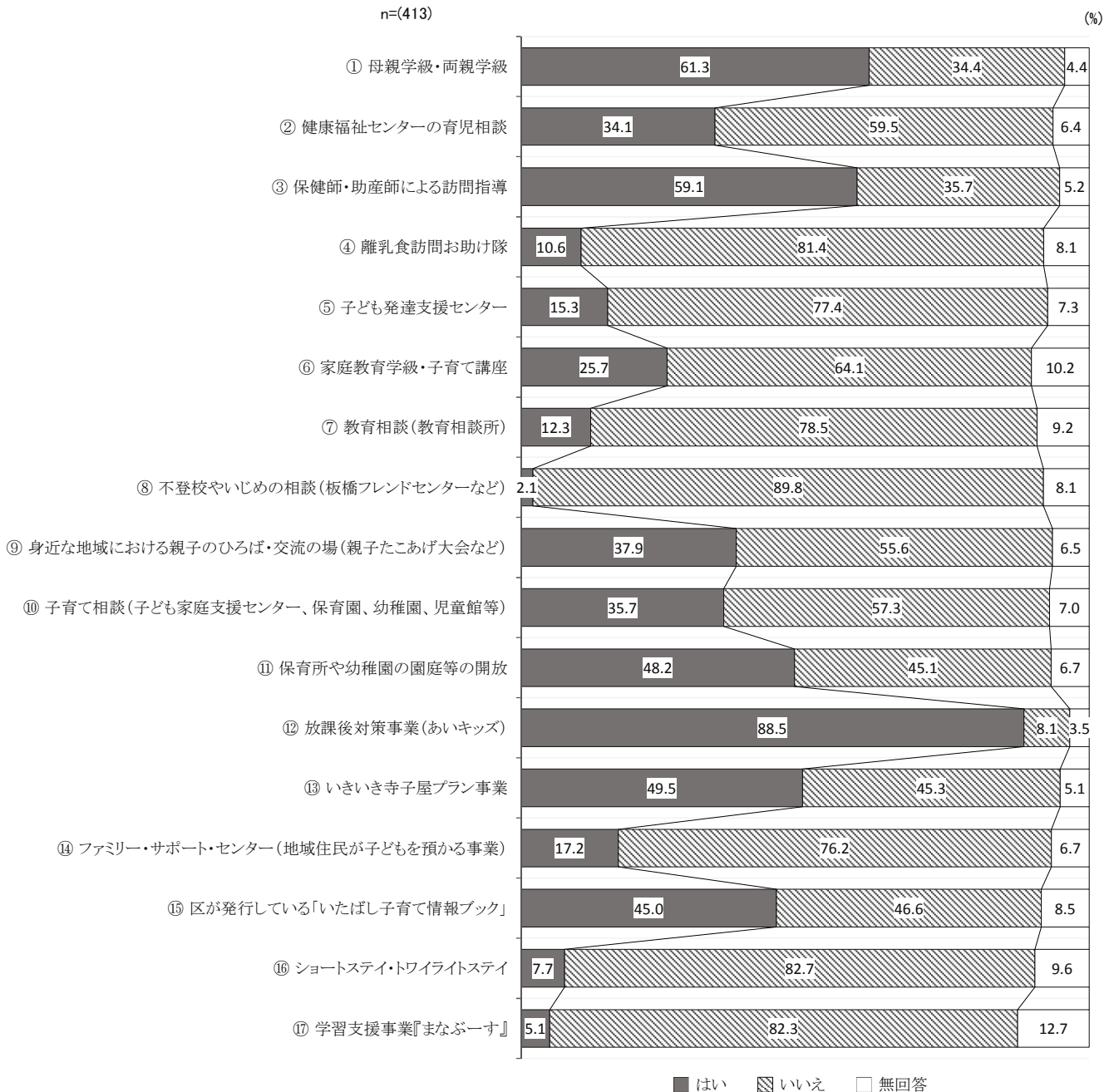
「はい」は放課後対策事業（あいキッズ）で93.0%と最も高く、次いで、保健師・助産師による訪問指導で82.1%、健康福祉センターの育児相談で81.1%となっている。
一方、学習支援事業『まなぶーす』では14.1%と低くなっている。



② 利用経験の有無

各子育て支援サービスを知っている人に、利用したことがあるかをたずねたところ、「はい」は放課後対策事業（あいキッズ）で88.5%と最も高く、次いで母親学級・両親学級で61.3%、保健師・助産師による訪問指導で59.1%となっている。

一方、不登校やいじめの相談（板橋フレンドセンターなど）で2.1%、学習支援事業『まなぶーす』で5.1%、ショートステイ・トワイライトステイでは、7.7%と低くなっている。

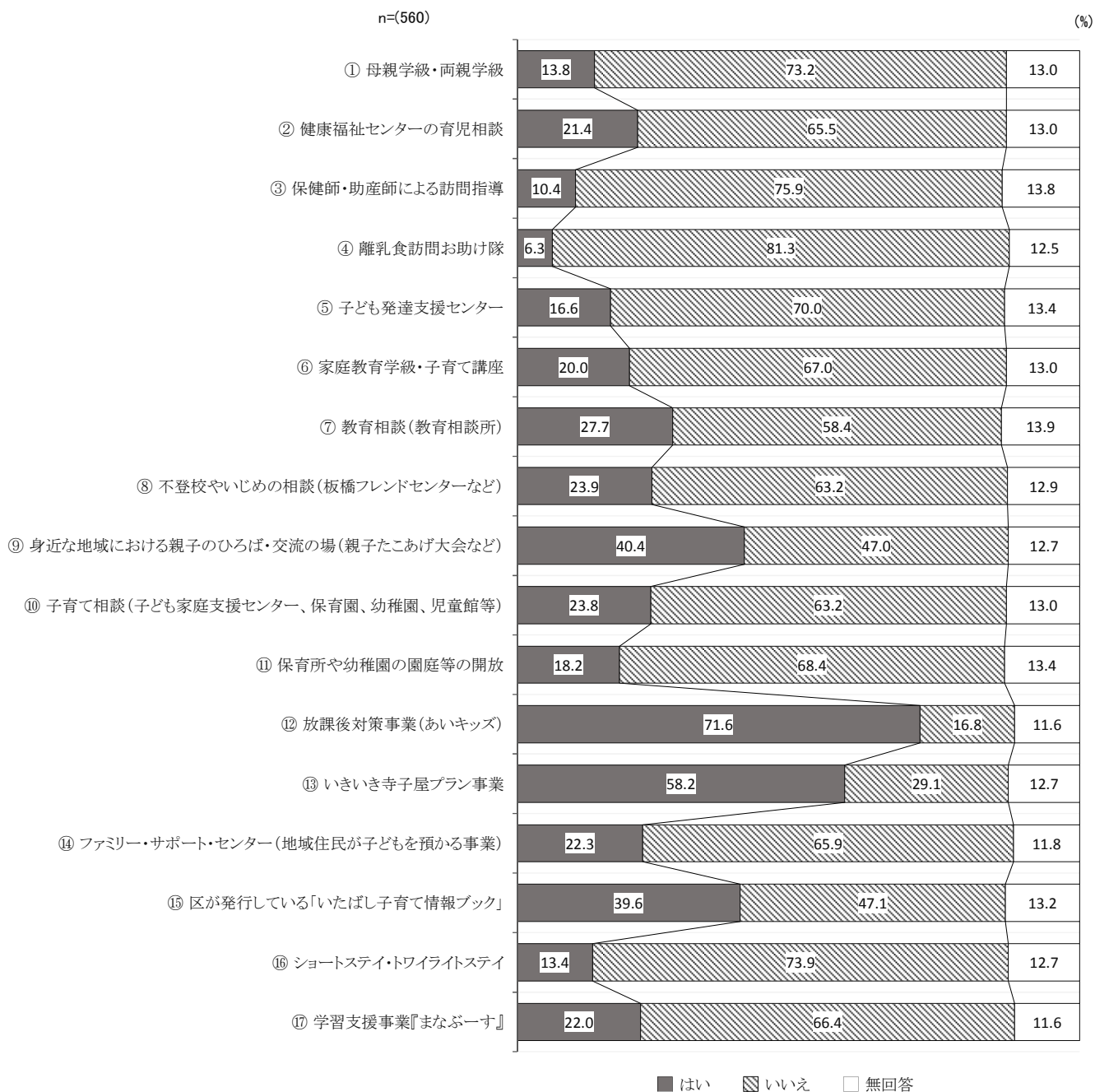


第2章 調査結果の詳細

2. 小学生児童保護者調査

③ 今後の利用希望

「はい」は放課後対策事業（あいキッズ）で71.6%と最も高く、次いでいきいき寺子屋プラン事業で58.2%、身近な地域における親子のひろば・交流の場（親子たこあげ大会など）で40.4%となっている。



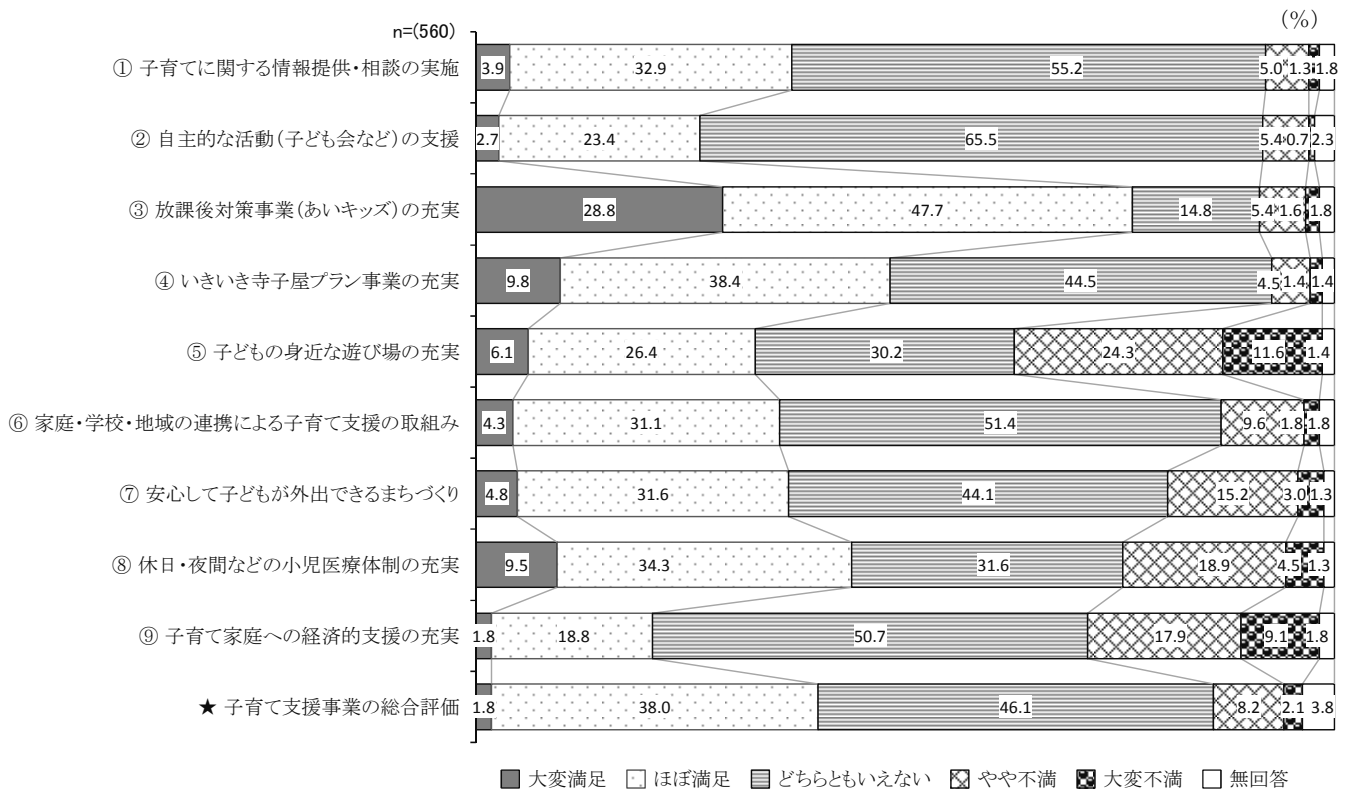
(2) 子育て支援サービスの満足度

問18 板橋区の子育て支援事業の「満足度」をおたずねします。下記の各項目について、それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

事業別に満足度をみると、「大変満足」は放課後対策事業（あいキッズ）の充実で28.8%と他に比べて高く、「大変満足」と「ほぼ満足」を合わせた割合では放課後対策事業（あいキッズ）の充実で76.5%、いきいき寺子屋プラン事業の充実で48.2%と高くなっている。

一方、「大変不満」は子どもの身近な遊び場の充実で11.6%と他に比べて高く、「大変不満」と「やや不満」を合わせた割合でも子どもの身近な遊び場の充実は35.9%と高くなっている。

子育て支援事業の総合評価は、「大変満足」と「ほぼ満足」を合わせた割合が39.8%となっている。一方、「やや不満」と「大変不満」を合わせた割合は10.3%となっている。

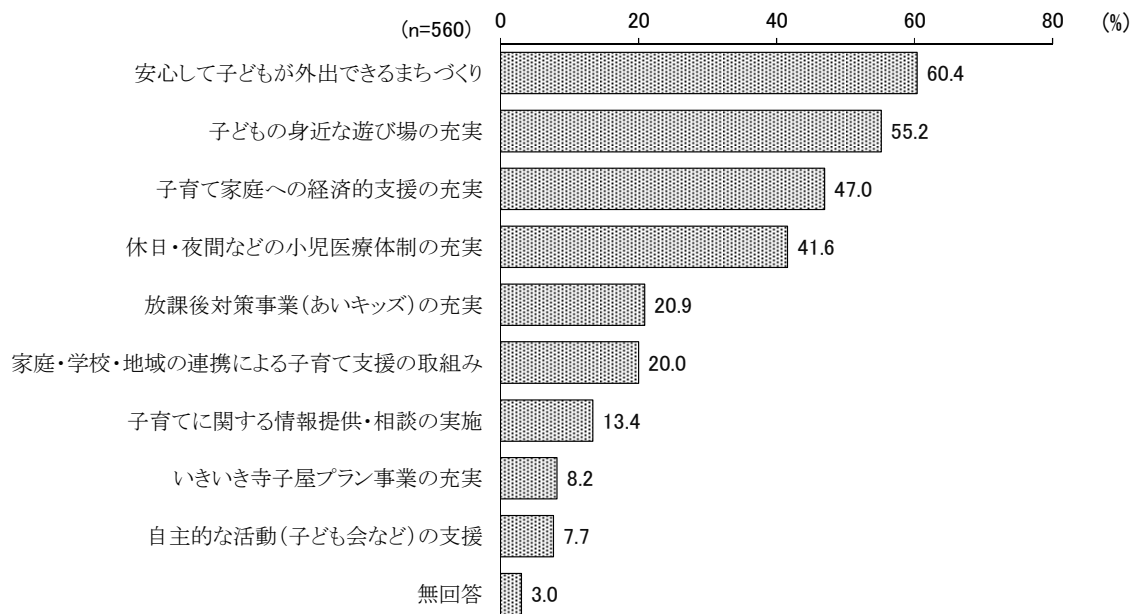


第2章 調査結果の詳細
2. 小学生児童保護者調査

(3) 重点的に取り組むべき事業

問18-1 上記の①～⑨のうち、今後、特に重点的に取り組むべきものは何と思われますか。
3つまで選んで番号をご記入ください。

「安心して子どもが外出できるまちづくり」が60.4%で最も高く、次いで「子どもの身近な遊び場の充実」が55.2%、「子育て家庭への経済的支援の充実」が47.0%、「休日・夜間などの小児医療体制の充実」が41.6%などとなっている。

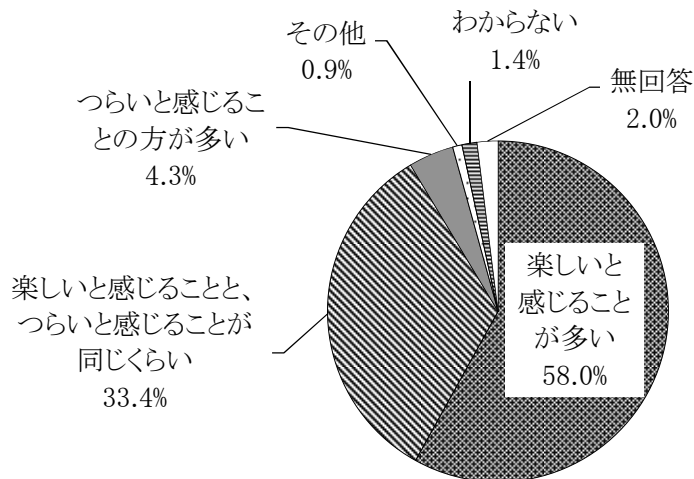


7. 子育て全般について

(1) 子育てについて感じる事

問19 あなたは、自分にとって子育てを楽しんでいると感じることが多いと思いますか。それともつらいと感じることが多いと思いますか。もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

「楽しいと感じることが多い」が58.0%で最も高くなっている。



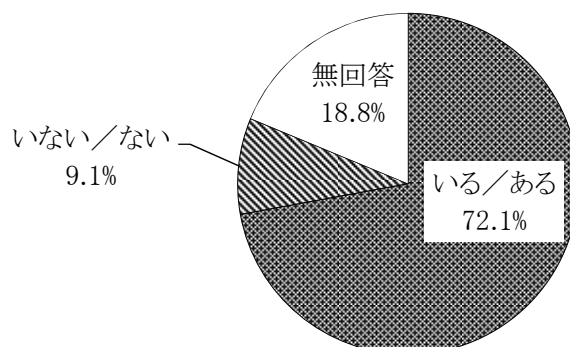
(n=560)

(2) 子育てをするうえで、気軽に相談できる人や場所

問20 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をするうえで、気軽に相談できる人や相談できる場所はありますか。「1. いる／ある」と回答した方は、当てはまる記号すべてに○をつけてください。「いない／ない」場合は「2. いない／ない」に○をつけてください。

① 相談先の有無

「いる／ある」が72.1%となっている。

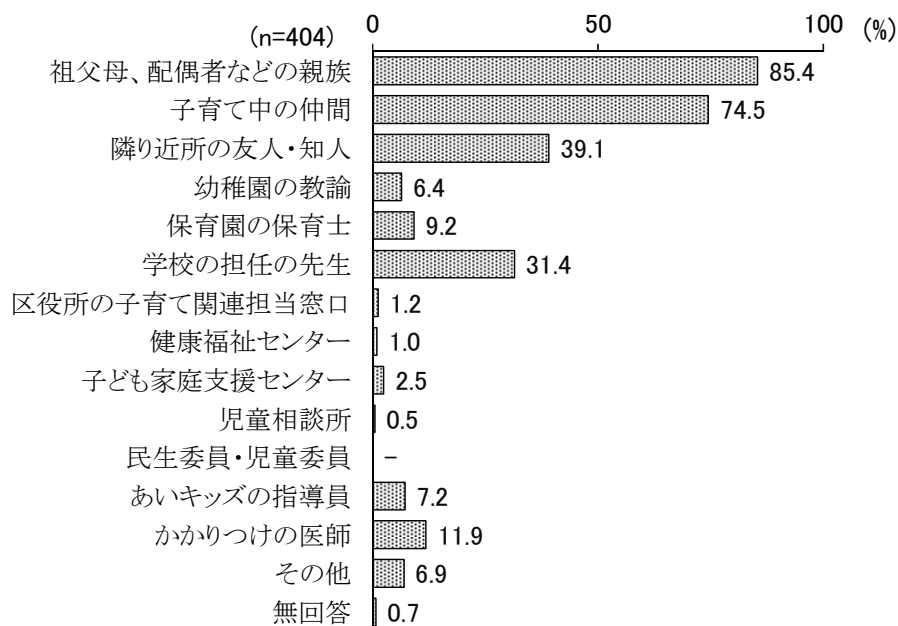


(n=560)

第2章 調査結果の詳細
2. 小学生児童保護者調査

② 相談先

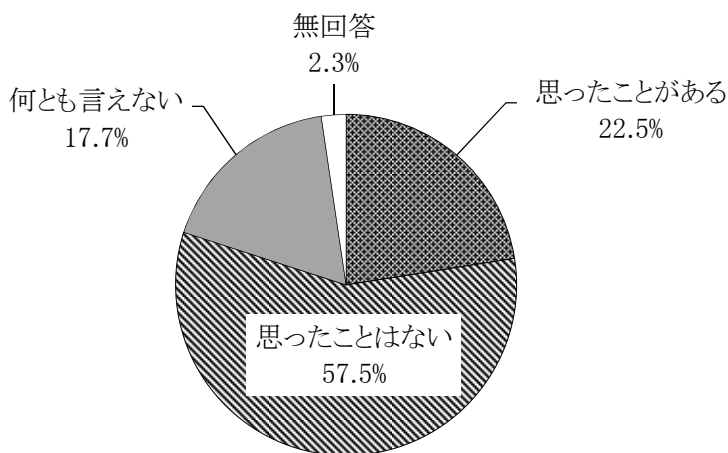
「祖父母、配偶者などの親族」が85.4%で最も高く、次いで「子育て中の仲間」が74.5%となっている。



(3) 子どもへの虐待に関する意識

問21 あなたは、子どもを虐待しているのではないかと思いますか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

「思ったことがある」が22.5%、「思ったことはない」が57.5%、「何とも言えない」が17.7%となっている。

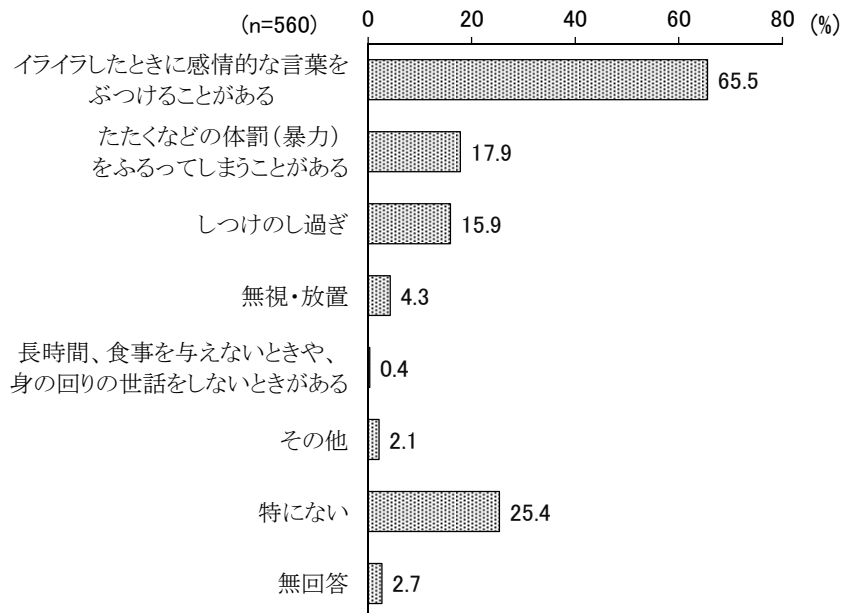


(n=560)

(4) 子どもに対して無意識のうちに行っているかもしれないこと

問22 日頃、子どもに対して無意識のうちに行っているのではないかと思うことはありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

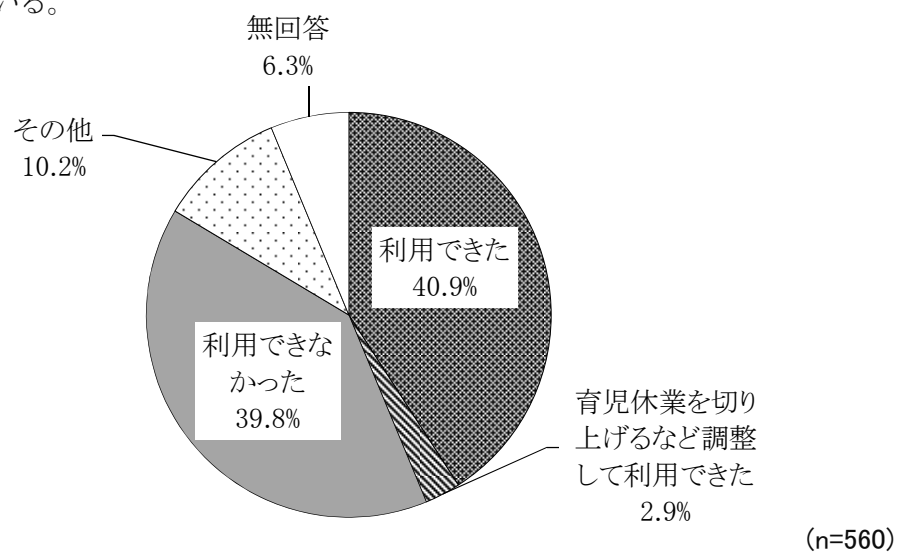
「イライラしたときに感情的な言葉をぶつけることがある」が65.5%で最も高くなっている。



(5) 希望どおりの子育て支援サービスの利用

問23 あなたは、希望した時期に、希望した子育て支援サービスを利用することができましたか。もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

「利用できた」が40.9%、「育児休業を切り上げるなど調整して利用できた」が2.9%、「利用できなかった」が39.8%となっている。

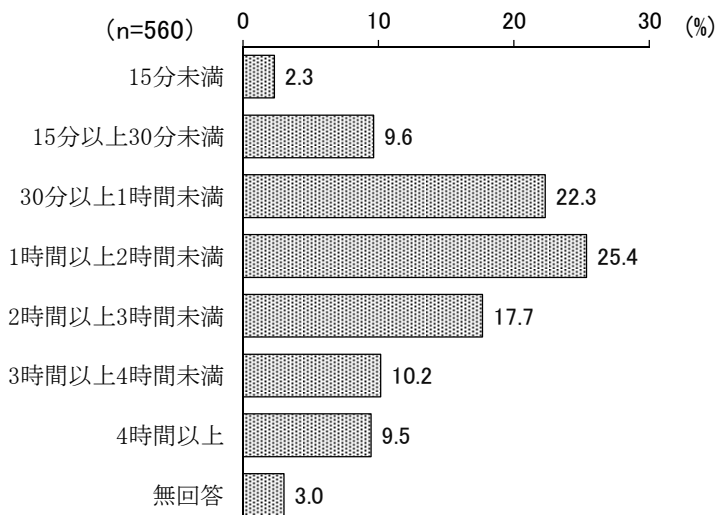


第2章 調査結果の詳細
2. 小学生児童保護者調査

(6) 子どもと接する時間

問24 平日にお子さんと一緒に何かをしたり、相手をしている時間は、平均するとだいたいどれくらいになりますか。もっとも近い番号1つに○をつけてください。

「1時間以上2時間未満」が25.4%で最も高くなっている。



(7) 仕事、家庭、プライベートの優先度

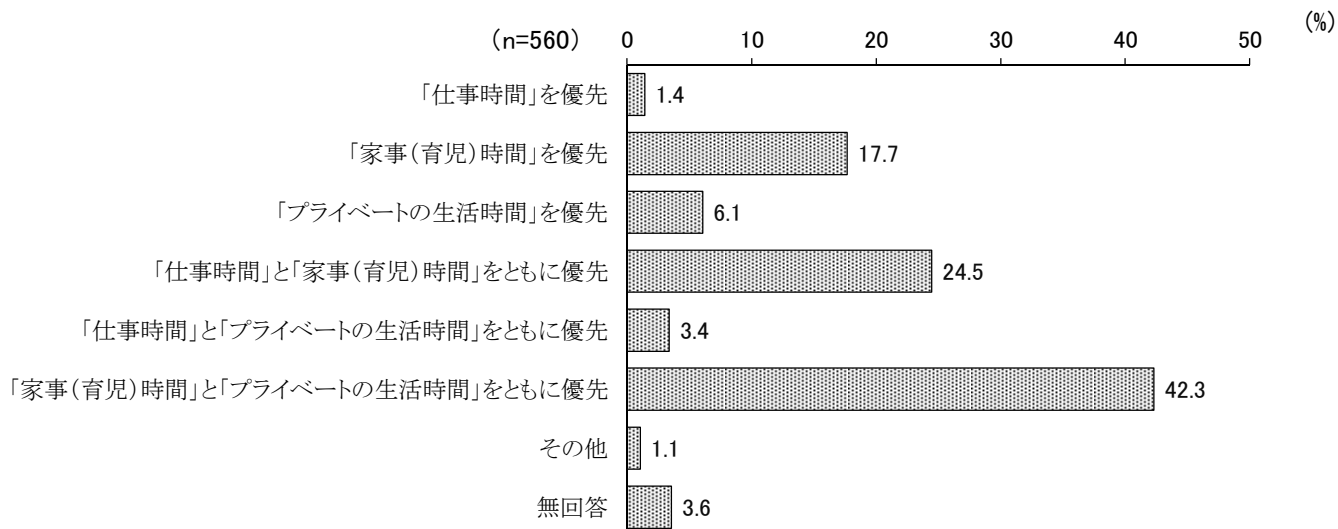
問25 あなたの生活の中で、「仕事時間」と「家事（育児）時間」「プライベートの生活時間」の優先度についてうかがいます。

(1)「希望」と(2)「現実」について、もっとも当てはまるものを回答欄の中からそれぞれ1つ選んで○をつけてください。

※現在、仕事をしていない方は、今後のお考えをお答えください。

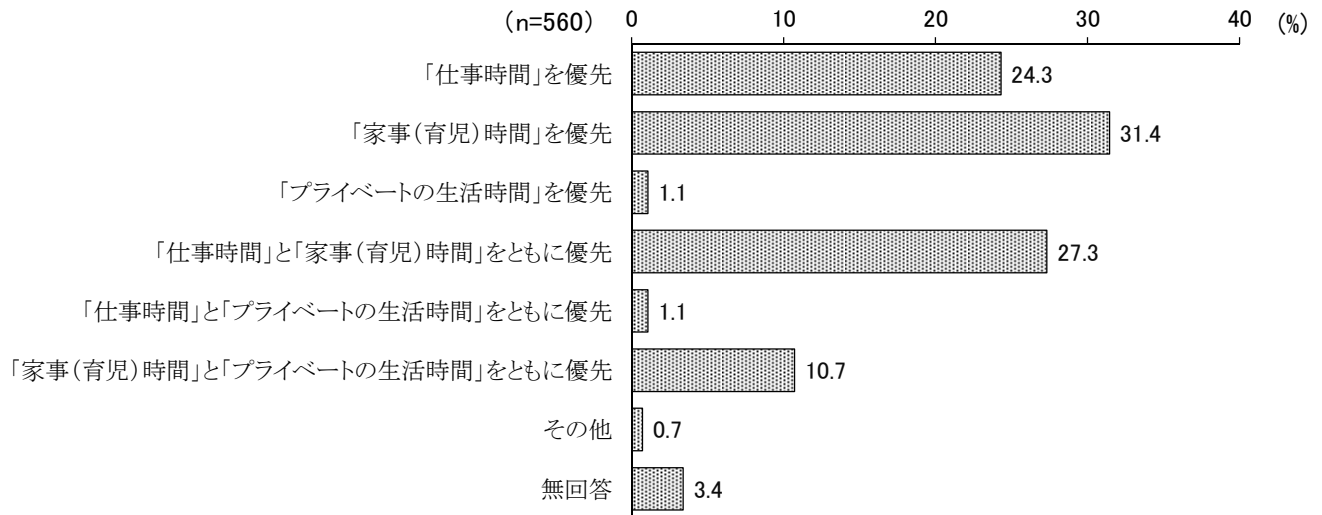
① 希望

『家事（育児）時間』と『プライベートの生活時間』をともに優先」が42.3%で最も高く、次いで『仕事時間』と『家事（育児）時間』をともに優先」が24.5%となっている。



② 現実

『家事（育児）時間』を優先」が31.4%で最も高く、次いで『仕事時間』と『家事（育児）時間』をともに優先」が27.3%、『仕事時間』を優先」が24.3%となっている。

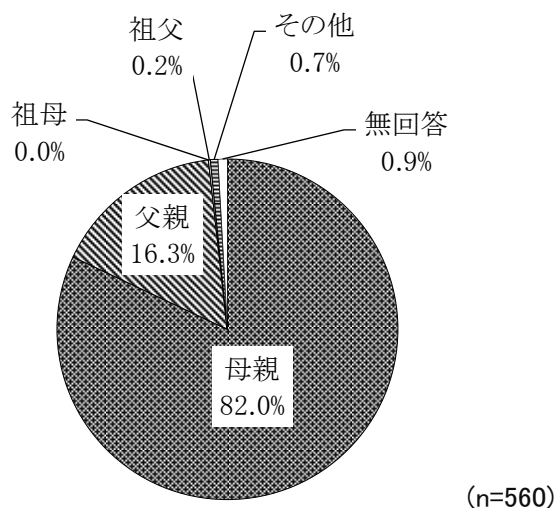


8. 調査票の回答者について

(1) 回答者の続柄

問26 この調査票にご記入いただいた方はどなたですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。(宛名のお子さんからみた関係を答えてください)。

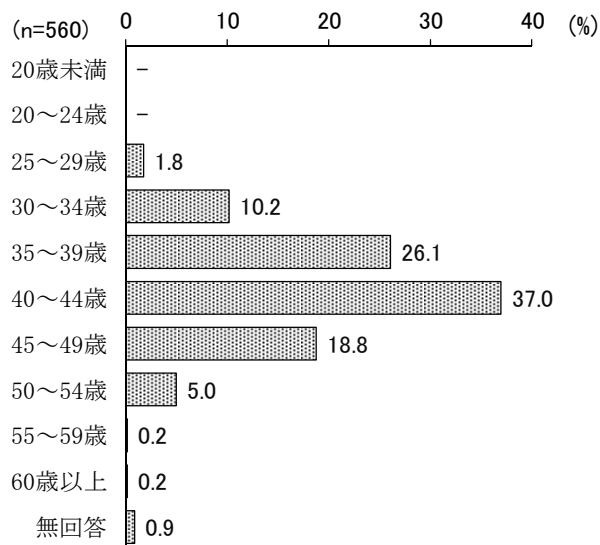
「母親」が82.0%で最も高くなっている。



(2) 回答者の年代

問27 この調査票をご記入いただいた方の年代について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

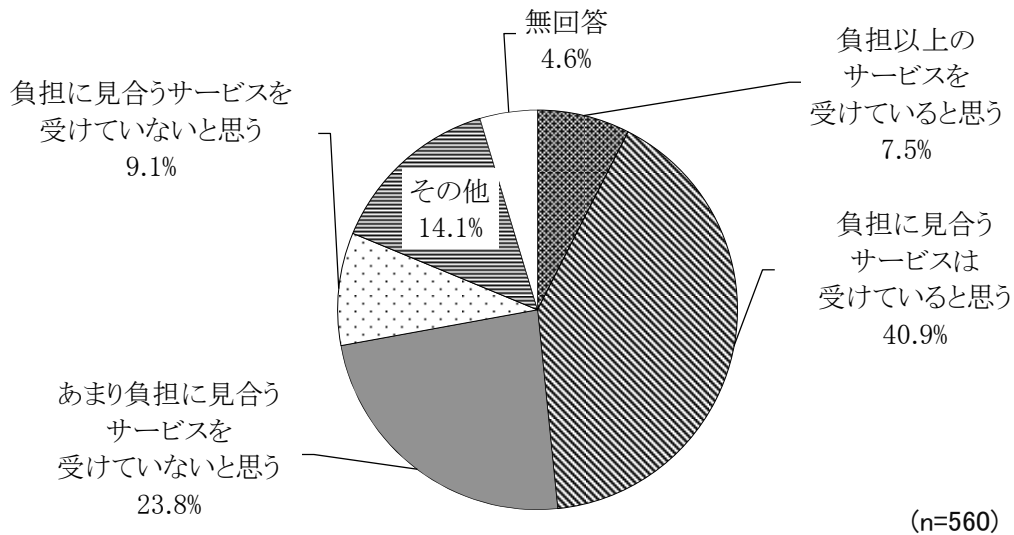
「40～44歳」が37.0%で最も高く、次いで「35～39歳」が26.1%、「45～49歳」が18.8%となっている。



(3) 子育て支援サービスへの負担感

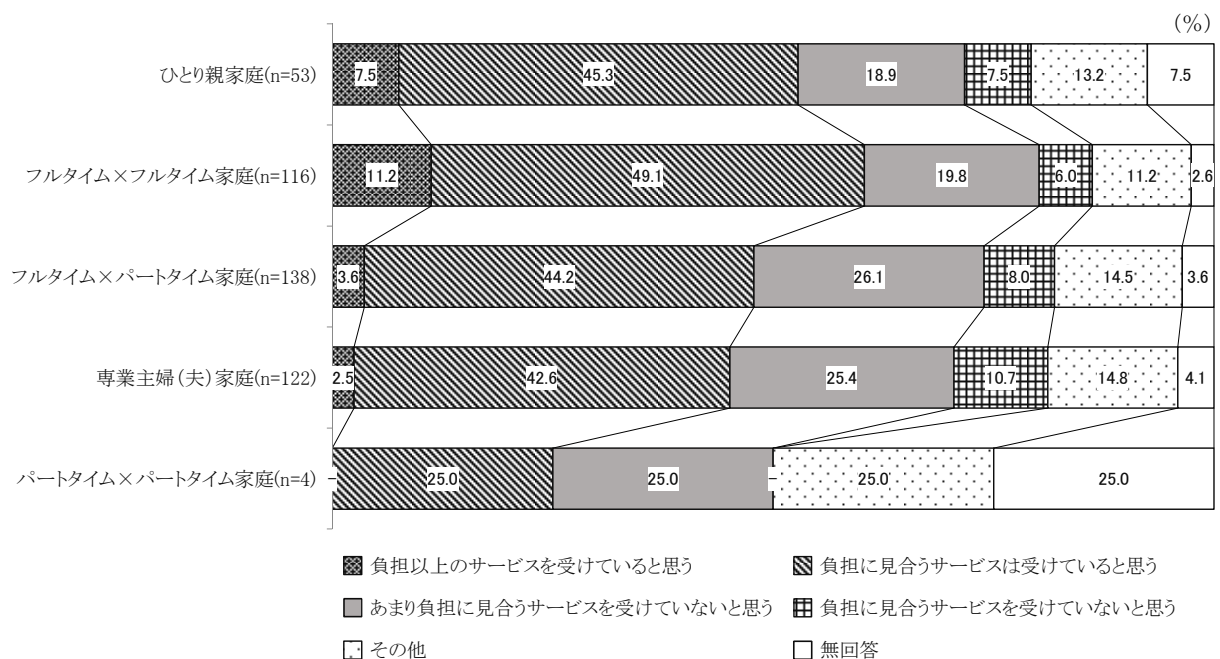
問28 子育て支援サービスへの負担感についてうかがいます。あなたは、子育て支援サービスに要する利用料などの料金負担に見合うサービスを受けていると思いますか。もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

「負担に見合うサービスは受けていると思う」が40.9%で最も高く、次いで「あまり負担に見合うサービスを受けていないと思う」が23.8%となっている。



【家庭類型別】

「負担以上のサービスを受けていると思う」はフルタイム×フルタイム家庭で11.2%と他に比べて高くなっている。一方、「負担に見合うサービスを受けていないと思う」は、専業主婦(夫)家庭で10.7%と他に比べて高くなっている。

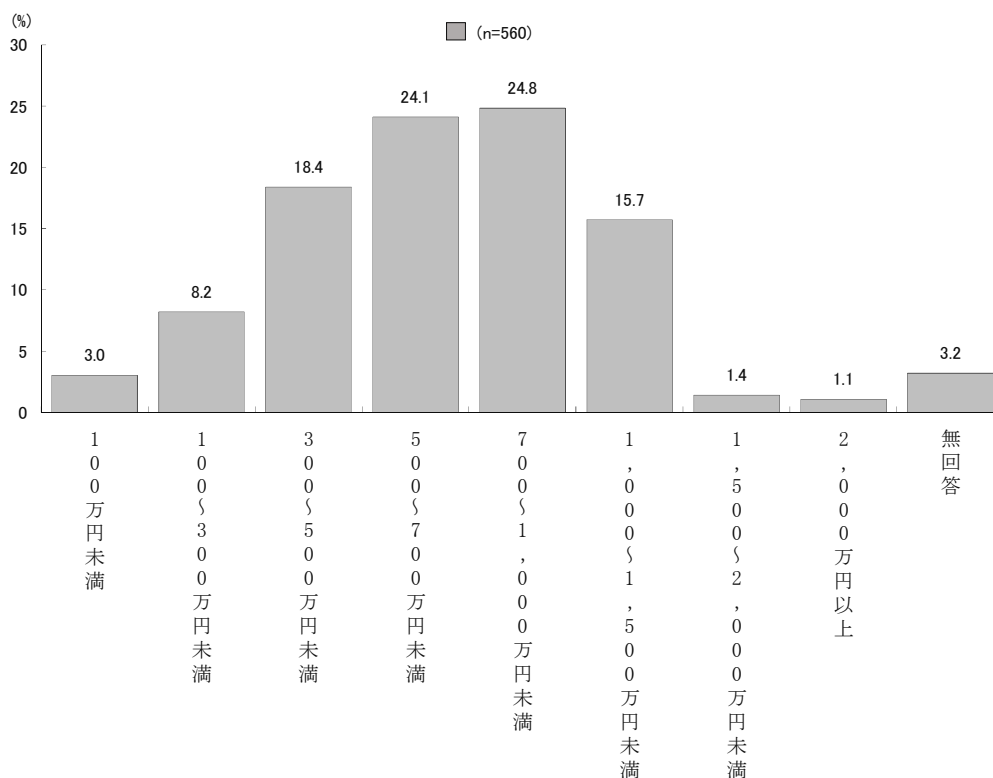


第2章 調査結果の詳細
2. 小学生児童保護者調査

(4) 世帯収入

問29 世帯収入についてうかがいます。昨年（平成29年）の年間の世帯の総収入はどのくらいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。（生計を一つにする世帯の収入でお答えください。）

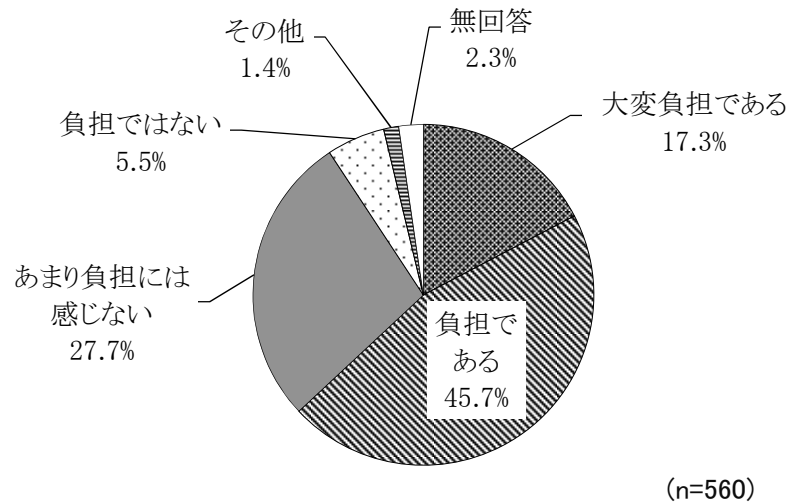
「700～1,000万円未満」が24.8%で最も高く、次いで「500～700万円未満」が24.1%、「300～500万円未満」が18.4%となっている。



(5) 世帯収入に対する教育・保育事業への支出の負担感

問30 世帯収入に対して教育・保育事業への支出の負担感はどのくらいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

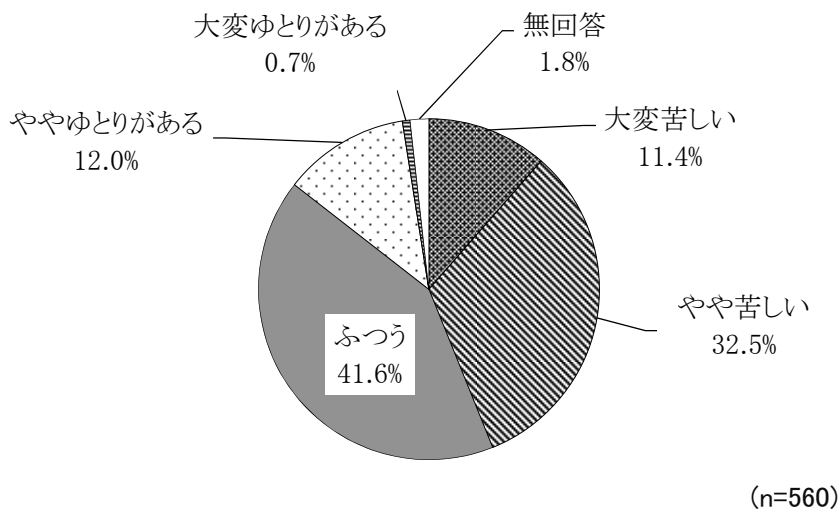
「負担である」が45.7%で最も高く、次いで「あまり負担には感じない」が27.7%、「大変負担である」が17.3%となっている。



(6) 現在の暮らし向き

問31 あなたは、現在の暮らし向きをどう感じていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「ふつう」が41.6%で最も高く、次いで「やや苦しい」が32.5%、「ややゆとりがある」が12.0%となっている。

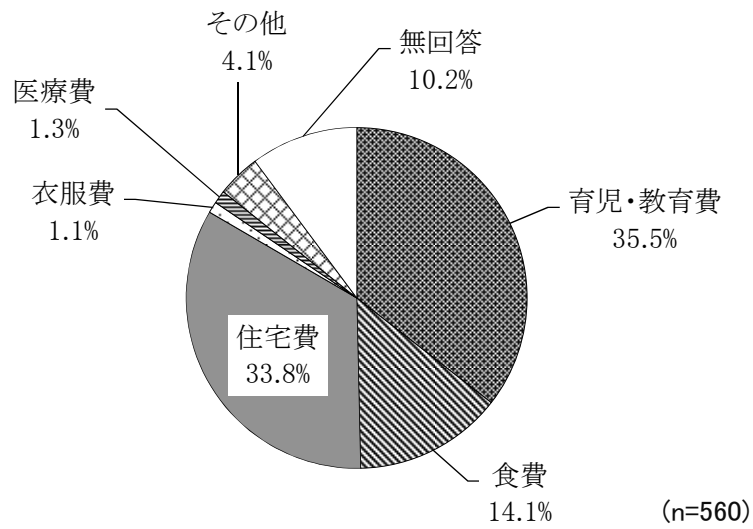


第2章 調査結果の詳細
2. 小学生児童保護者調査

(7) 生活の中で負担に感じる費用

問32 あなたが生活の中で負担に感じる費用に当てはまる番号1つに○をつけてください。

「育児・教育費」が35.5%で最も高く、次いで「住宅費」が33.8%となっている。



(8) 自由意見

問33 最後に、子育て支援サービスの充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

子育て全般に関する記述式意見を類型化して整理した。181人から合計198件の回答があり、次のとおりとなっている。

| | |
|---------------------------|------|
| 1. 子育て全般に関する意見 | 19件 |
| 2. 情報提供・相談の場所や機会の提供に関する意見 | 14件 |
| 3. 保育サービスの充実に関する意見 | 7件 |
| 4. 学校への要望等 | 13件 |
| 5. あいキッズに関する意見 | 17件 |
| 6. 保健医療サービスの充実に関する意見 | 2件 |
| 7. 負担の軽減・不公平感等に関する意見 | 36件 |
| 8. 公園など遊び場の整備・機能向上に関する意見 | 37件 |
| 9. 子どものための施設の整備・充実に関する意見 | 31件 |
| 10. 子どもの安全に関する意見 | 8件 |
| 11. その他の意見 | 14件 |
| 合 計 | 198件 |

板橋区子ども・子育て支援に関するニーズ調査報告書

企画・実施 板橋区子ども家庭部子ども政策課
〒173-8501 板橋区板橋二丁目66番1号
TEL 03-3579-2471 FAX 03-3579-2487
kk-shomu@city.itabashi.tokyo.jp

集計・分析 株式会社都市計画21
〒103-0013 中央区日本橋人形町一丁目6番10号
TEL 03-5623-6371 FAX 03-5623-6672

平成30年8月発行

刊行物番号 30-52